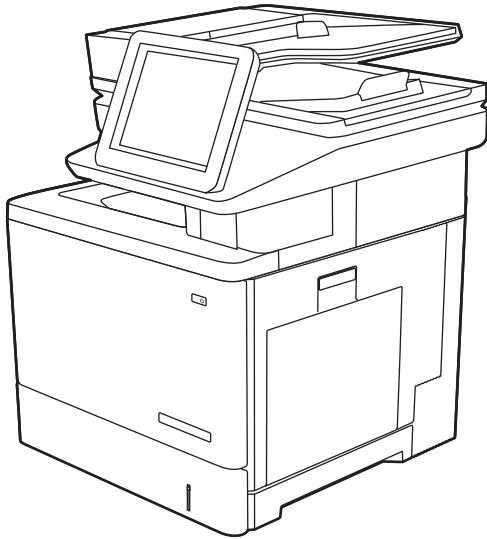




HP Color LaserJet Enterprise MFP M578

ユーザーガイド



www.hp.com/videos/LaserJet
www.hp.com/support/colorljM578MFP



HP Color LaserJet Enterprise M578

ユーザーガイド

著作権およびライセンス

© Copyright 2020 HP Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 1, 10/2020

商標について

Adobe®、Adobe Photoshop®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

macOS は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

AirPrint は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

目次

1 プリンタの概要	1
警告アイコン	2
感電の危険性	3
プリンタ図	4
プリンタ前面図	4
プリンタ背面図	5
インタフェースポート	6
コントロールパネル	6
タッチスクリーン コントロールパネルの使用方法	8
プリンタの仕様	9
技術仕様	10
サポートされているオペレーティング システム	13
モバイル印刷ソリューション	15
プリンタの寸法	16
電力消費、電気仕様、および稼働音	18
動作環境範囲	18
プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール	19
2 給紙トレイ	21
トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット	22
はじめに	22
トレイ 1 の用紙の向き	23
代替レターヘッドモードの使用	25
プリンタのコントロールパネル メニューを使用して代替レターヘッドモ ードを有効化	25
トレイ 2、3、4、5 に用紙をセット	26
はじめに	26
トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き	28
代替レターヘッドモードの使用	29
プリンタのコントロールパネル メニューを使用して代替レターヘッドモ ードを有効化	29

封筒のセットと印刷	30
はじめに	30
封筒の印刷	30
封筒の向き	30
ラベルのセットと印刷	31
はじめに	31
ラベル紙の手差し	31
コンビニエンスステイブラの使用 (c, z モデル)	33

3 サプライ品、アクセサリ、部品 35

サプライ品、アクセサリ、部品の注文	36
注文	36
サプライ品およびアクセサリ	36
カスタマセルフリペア部品	38
トナーカートリッジの交換	40
はじめに	40
トナーカートリッジ情報	40
カートリッジの取り外しと交換	41
トナー回収ユニットの交換	44
はじめに	44
トナー回収ユニットの取り外しと交換	44
ステイプルカートリッジの交換 (c, z モデル)	47
はじめに	47
ステイプルカートリッジの取り外しと交換	47

4 印刷 49

印刷タスク (Windows)	50
印刷する方法 (Windows)	50
自動両面印刷 (Windows の場合)	51
手動両面印刷 (Windows)	51
1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)	52
用紙タイプの選択 (Windows)	52
補足的な印刷タスク	53
印刷タスク (macOS)	54
印刷方法 (macOS)	54
自動両面印刷 (macOS)	54
手動両面印刷 (macOS)	54
1 枚の用紙に複数ページを印刷する (macOS)	55
用紙タイプを選択する (macOS)	55

補足的な印刷タスク	55
プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	57
はじめに	57
保存ジョブの作成 (Windows の場合)	57
保存ジョブの作成 (macOS)	58
保存ジョブの印刷	59
保存したジョブの削除	59
プリンタに保存されているジョブを削除	59
ジョブ保存の制限を変更	59
ジョブアカウントの目的でプリンタに送信される情報	60
モバイル印刷ソリューション	61
はじめに	61
Wi-Fi、Wi-Fi Direct 印刷、NFC、および BLE 印刷	61
HP ePrint (電子メール使用)	62
AirPrint	63
Android 内蔵印刷	63
USB フラッシュドライブからの印刷	64
はじめに	64
USB ポートを有効化して印刷	64
USB からの文書の印刷	65
高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する	66
高速 USB ポートを有効化して印刷する	66

5 コピー

コピーする	68
両面コピーする	70
コピー機能のその他のオプション	72
補足的なコピー タスク	75

6 スキャン

[スキャンして電子メールで送信] のセットアップ	78
はじめに	78
作業を開始する前に	78
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス	79
手順 2 : [ネットワーク ID] 設定の設定	79
手順 3: [スキャンして電子メールで送信] 機能を設定	80
方法 1: [電子メールセットアップウィザード] を使用した基本的な設定	80
方法 2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定	84
手順 4 : クイックセットの設定 (オプション)	89

手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための [スキャンして電子メールで送信] のセットアップ (オプション)	90
はじめに	90
Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メールサーバ (SMTP) の設定	90
[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ	94
はじめに	94
作業を開始する前に	94
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバへのアクセス	94
手順 2 : [スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ	95
方法 1: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信ウィザード] の使用 ...	95
方法 2: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信セットアップ] の使用	96
手順 1 : 設定の開始	96
手順 2 : スキャン データをネットワーク フォルダに送信する設定の構成	96
手順 3 : 設定の完了	105
[スキャンして SharePoint® に保存] のセットアップ	106
はじめに	106
作業を開始する前に	106
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス	106
手順 2: [スキャンして SharePoint® に保存] の有効化および [スキャンして SharePoint に保存] クイック セットの作成	106
クイック セットのスキャン設定および [スキャンして SharePoint® に保存] のオプション	108
[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ	111
はじめに	111
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバへのアクセス	111
手順 2 : [スキャンして USB ドライブに保存] の有効化	111
手順 3 : クイック セットの設定 (オプション)	112
[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのスキャン設定	113
[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのファイル設定	113
スキャンして電子メールで送信	115
はじめに	115
スキャンして電子メールで送信	115
スキャンしてジョブ保存	118
はじめに	118
スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する	118
プリンタのジョブ保存からの印刷	120
スキャン データをネットワーク フォルダに送信	121

はじめに	121
スキャンデータをネットワーク フォルダに送信	121
スキャンして SharePoint デバイスに保存する	124
はじめに	124
スキャンして SharePoint デバイスに保存する	124
スキャンして USB ドライブに保存	126
はじめに	126
スキャンして USB ドライブに保存	126
スキャン時のその他のオプション	128
HP JetAdvantage ビジネス ソリューション	131
補足的なスキャンタスク	132
7 ファックス	133
ファックスのセットアップ	134
はじめに	134
プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ	134
ファックス設定の変更	135
ファックスダイアル設定	135
全般的なファックス送信設定	136
ファックス受信設定	137
ファックスの送信	139
補足的なファックスタスク	141
8 プリンタの管理	143
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定	144
はじめに	144
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法	145
HP 内蔵 Web サーバーの機能	145
情報 タブ	146
一般 タブ	146
コピー/印刷 タブ	147
スキャン/デジタル送信 タブ	148
ファクスタブ	149
サプライ品 タブ	150
トラブルシューティング タブ	150
セキュリティ タブ	151
HP Web サービス タブ	151
[ネットワーク] タブ	152
その他のリンクのリスト	154

IP ネットワークの設定	155
プリンタ共有の免責条項	155
ネットワーク設定の表示または変更	155
ネットワーク上でのプリンタ名の変更	155
コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する	156
コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する	156
リンク速度と二重通信設定	157
プリンタのセキュリティ機能	159
はじめに	159
セキュリティ ステートメント	159
HP 内蔵 Web サーバを使用してシステム パスワードを設定または変更する	159
IP セキュリティ	160
フォーマットのロック	160
暗号化サポート：HP ハイパフォーマンスセキュアハードディスク	160
省エネ設定	161
はじめに	161
スリープタイマをセットし、1W 以下の電力を使用するようプリンタを設定します。 ..	161
スリープスケジュールの設定	161
HP Web Jetadmin	163
ソフトウェアおよびファームウェアの更新	164
9 問題の解決	165
カスタマ サポート	167
コントロールパネルのヘルプシステム	168
出荷時の設定に戻す	169
はじめに	169
方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す	169
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプ リンタのみ)	169
「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタ のコントロールパネルに表示される	170
「非常にわずか」の設定の変更	170
ファックス機能付きのプリンタの場合	171
サプライ品の注文	171
給紙されない、または給紙ミスが発生する	172
はじめに	172
用紙がピックアップされない	172
複数枚の用紙がピックアップされる	174
文書フィードで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる	178

紙詰まりの解消	179
はじめに	179
紙詰まりの場所	179
自動ナビゲーションによる紙詰まり解消	180
紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する	180
文書フィーダの紙詰まりの解消	180
13.B2.D1 トレイ 1 での紙詰まり	183
13.B2.D2 トレイ 2 での紙詰まり	185
13.A3、13.A4、13.A5 トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 での紙詰まり	190
13.B の右のドアおよびフューザ部分での紙詰まり	194
13.E1 排紙ピンでの紙詰まり	199
13.8 ステイプル詰まり	200
印刷品質の問題を解決する	202
はじめに	202
印刷品質のトラブルシューティング	202
プリンターのファームウェアをアップデートする	202
別のソフトウェア プログラムからの印刷	202
印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認	203
プリンタでの用紙タイプ設定の確認	203
用紙タイプ設定の変更 (Windows)	203
用紙タイプ設定の確認 (macOS)	203
トナー カートリッジ ステータスの確認	203
クリーニング ページの印刷	204
トナー カートリッジを目視で検査します。	204
用紙および印刷環境の確認	205
手順 1：HP 仕様を満たす用紙の使用	205
手順 2：環境の確認	205
手順 3：各トレイ位置の設定	206
別のプリント ドライバで試行	206
カラー品質のトラブルシューティング	207
プリンタを校正してカラーを調整	207
画像の不具合のトラブルシューティング	207
コピーのイメージ品質を向上させる	217
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	217
スキャナの校正	218
用紙設定を確認する	219
用紙選択オプションを確認します。	219
イメージ調整設定を確認する	219
テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する	220

最小マージン コピー	220
スキャンのイメージ品質を向上させる	221
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	221
解像度設定を確認する	222
イメージ調整設定を確認する	223
テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する	224
出力品質設定を確認する	224
ファックスのイメージ品質を向上させる	225
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	225
送信ファックスの解像度設定を確認する	226
イメージ調整設定を確認する	227
テキストまたは画像のファックス品質を最適化する	227
エラー修正設定を確認する	228
用紙の大きさに合わせる設定を確認する	228
異なるファックス機に送信する	228
送信側のファックス機を確認する	228
有線ネットワークに関する問題の解決	229
はじめに	229
物理接続が不適切である	229
コンピュータ側で、誤ったIPアドレスを使用している	230
コンピュータがプリンタと通信できない	230
プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある	230
新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある	231
コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性 がある	231
プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある	231
ワイヤレスネットワークに関する問題の解決	232
はじめに	232
ワイヤレス接続チェックリスト	232
ワイヤレス設定が完了しても印刷されない	233
印刷されない(コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールさ れている場合)	233
ワイヤレスルーターまたはプリンタの移動後、ワイヤレス接続が上手くいかない	234
ワイヤレス プリンタにコンピュータを追加接続できない	234
VPN に接続すると、ワイヤレス製品の通信が切断される	234
対象のネットワークが、ワイヤレス ネットワーク リストに表示されていない	234
ワイヤレス ネットワークが機能していない	234
ワイヤレス ネットワークの干渉の軽減	235
ファックスに関する問題を解決する	236

ファックスの問題を解決するためのチェックリスト	236
どのような種類の電話回線を使用していますか？	236
サージ保護装置を使用していますか？	236
電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？	237
電話回線に割り込み通話機能はありますか？	237
ファックスアクセサリのステータスの確認	237
一般的なファックスの問題	238
ファックスを送信できない	238
プリンタのコントロールパネルに[メモリ不足です]というステータスメッセージが表示される	238
写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される	238
停止ボタンをタッチしてファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された	238
ファックスアドレス帳ボタンが表示されない	239
HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない	239
オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される	239
受信者ボックスに名前と番号が混在している	239
1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される	239
ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる	239
ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる	239

索引	241
----------	-----

1 プリンタの概要

- [警告アイコン](#)
- [感電の危険性](#)
- [プリンタ図](#)
- [プリンタの仕様](#)
- [プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

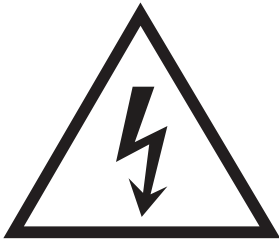
最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

警告アイコン

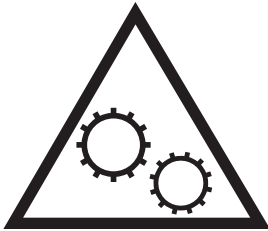
警告アイコンの定義： 次の警告アイコンがHP 製品に記載されている場合があります。該当する場合は、適切な注意をしてください。



注意: 感電



注意: 表面が高温



注意: 可動部品に近づかない



注意: 近くに尖った部分がある

感電の危険性

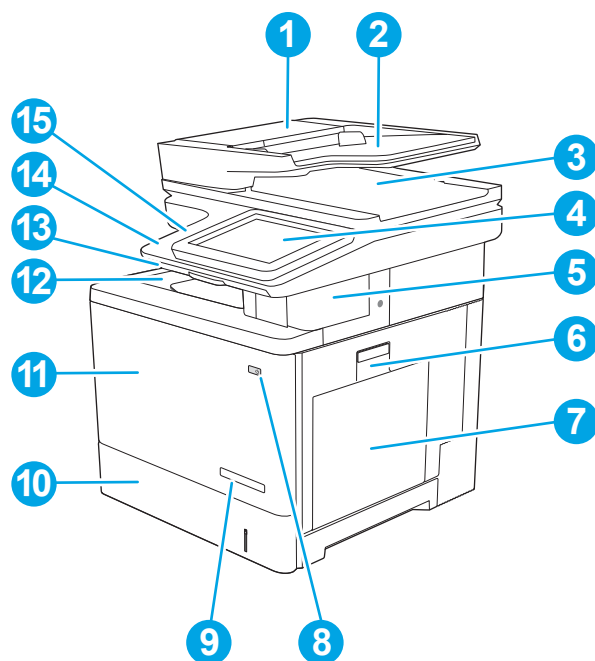
火災や感電によるけがの危険性を減らすため、この製品を使用するときは、必ず安全に関する基本的な注意事項に従ってください。

- ユーザーガイドに記載されているすべての手順を読んで理解してください。
- プリンタ上に記載されたすべての警告および指示に従ってください。
- 製品を電源に接続するときは、接地済みの電源コンセントのみを使用してください。コンセントが接地済みであるかどうか不明な場合は、資格のある技術者に確認してください。
- プリンタのソケットのいずれかの接点に触れないようにしてください。破損したコードはすぐに交換してください。
- クリーニングする前に、製品を電源コンセントから抜いてください。
- この製品を、水の近くや濡れた手で設置または使用しないでください。
- プリンタを水平で安定した面にしっかりと取り付けてください。
- 電源コードを踏んだり、引っかかったりしない安全な場所に製品を設置してください。

プリンタ図

- [プリンタ前面図](#)
- [プリンタ背面図](#)
- [インタフェースポート](#)
- [コントロールパネル](#)

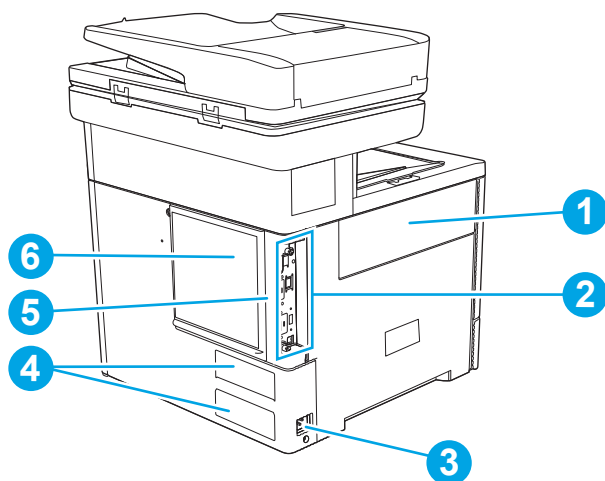
プリンタ前面図



1	文書フィーダカバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
2	文書フィーダの給紙トレイ
3	文書フィーダの排紙ピン
	注記: 文書フィーダから長い用紙をセットする場合、用紙止めを排紙ピンの右側位置まで広げます。
4	カラータッチスクリーンディスプレイ付きコントロールパネル(上方に傾けて見やすく表示可能)
5	コンビニエンスステイブラ(c, zモデルのみ)
6	右のドア(フューザを操作したり紙詰まりの解消時に開く)
7	トレイ1
8	オン/オフボタン
9	モデル名
10	トレイ2
11	正面ドア(トナーカートリッジへのアクセス)
12	標準排紙ピン
13	物理キーボード(cおよびzモデルのみ)。キーボードは、まっすぐに抜いて取り外します。

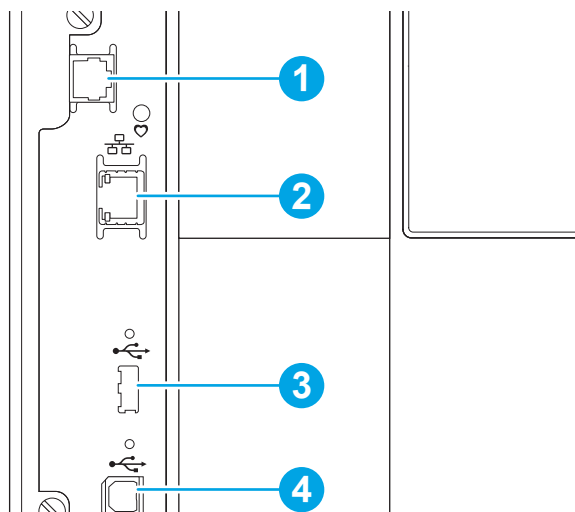
-
- 14 イージーアクセス USB ポート (コントロールパネル側)
- USB フラッシュ ドライブ を挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタ ファームウェアをアップグレードすることができます。
- 注記：** 管理者がポートを有効にしておく必要があります。
-
- 15 ハードウェア統合ポケット (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)
-

プリンタ背面図



-
- 1 トナー回収ユニットドア
-
- 2 フォーマッタ (インタフェースポートを収容)
-
- 3 電源接続
-
- 4 シリアル番号および製品番号ラベル
-
- 5 ケーブル式セキュリティロック用スロット (プリンタの後部カバー上)
-
- 6 フォーマッタカバー
-

インタフェースポート



- 1 ファックスポート (f, c, z モデルのみ。dn モデルではポートはカバー付き)
- 2 ローカルエリアネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワークポート
- 3 外部 USB デバイス接続用 USB ポート (カバー付きの場合あり)

注記： イージーアクセス USB で印刷を行うには、コントロールパネルの近くにある USB ポートを使用してください。

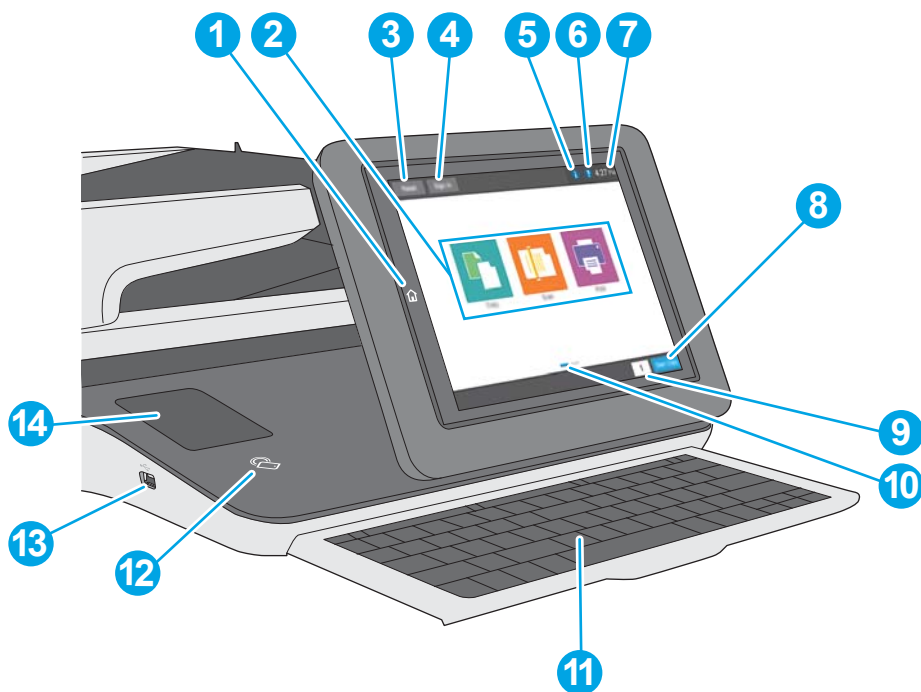
- 4 高速 USB 2.0 印刷ポート


コントロールパネル

ホーム画面からプリンタの各機能にアクセスしたり、現在のプリンタのステータスを確認したりできます。

[ホーム] ボタンを選択すれば、いつでもホーム画面に戻ることができます。

 **注記：** ホーム画面に表示される機能は、プリンタの構成によって異なる場合があります。

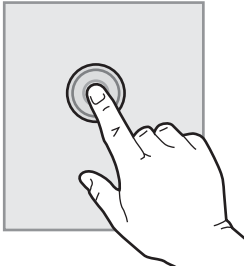
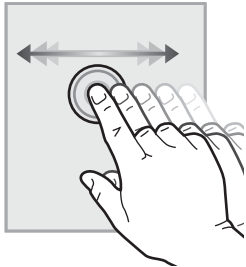
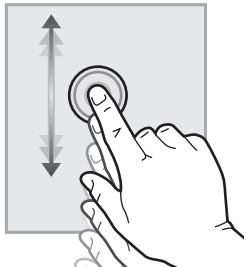


1	ホーム  ボタン	ホーム ボタンにタッチすると、いつでもプリンタのホーム画面に戻ることができます。
2	アプリケーション領域	アプリケーションを開くには、いずれかのアイコンにタッチします。その他のアプリケーションにアクセスするには、画面を横方向にスワイプします。 注記: 使用できるアプリケーションは、プリンタによって異なります。管理者は、表示するアプリケーションと表示順序を設定できます。
3	リセット ボタン	[リセット] ボタンにタッチすると、変更のクリア、一時停止状態の解除、非表示のエラーの表示、デフォルト設定の復元(言語およびキーボードレイアウトを含む)が実行されます。
4	サインイン または サインアウト ボタン	保護された機能を利用するには、サインイン ボタンにタッチします。 プリンタからログオフするには、サインアウト ボタンにタッチします。プリンタのすべてのオプションが既定の設定に戻ります。 注記: このボタンは、管理者が、機能へのアクセスに許可が必要になるようプリンタを設定した場合にのみ表示されます。


5	情報 ⓘ ボタン	<p>複数の種類のプリンタ情報を確認できる画面にアクセスするには、情報ボタンにタッチします。次の情報については、画面の下部にあるボタンにタッチします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示言語：この画面から言語設定を変更します。 ● スリープモード：この画面からスリープモードに移行できます。 ● Wi-Fi Direct：Wi-fi を使用して、電話、タブレット、またはその他のデバイスをプリンタに直接接続する方法に関する情報を表示します。 ● ワイヤレス：この画面を使用して、ワイヤレス接続設定を変更します (c, z モデル。dn および f モデルについては、オプションのワイヤレス アクセサリが取り付けられている場合のみ)。 ● イーサネット：この画面を使用して、イーサネットの接続設定を表示および変更します。 ● HP Web サービス：HP Web サービス (ePrint) を使用して、プリンタに接続して印刷するための情報を確認します。 ● ファックス番号：プリンタのファックス番号を表示します (f, c および z モデル。dn モデルについては、オプションのファックス アクセサリが取り付けられている場合のみ)。
6	ヘルプ ⓘ ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプシステムが表示されます。
7	現在の時刻	現在の時刻が表示されます。
8	コピー開始 ボタン	コピー ジョブを開始するには、 コピー開始 ボタンにタッチします。
9	部数フィールド	[部数] フィールドには、プリンタに設定されたコピー部数が表示されます。
10	ホーム画面ページのインジケータ	ホーム画面には複数のページが含まれています。このアイコンは、ページ数と現在のページがアクティブになっているかを示します。ページ間をスクロールするには、画面を横方向にスワイプします。
11	キーボード (c および z モデルのみ)	<p>このプリンタは物理キーボードを搭載しています。キーは、プリンタのタッチスクリーンの仮想キーボードがマッピングされているのと同じ方法で、使用する言語にマッピングされています。仮想キーボードのキーボード配列が変更された場合、物理キーボードは新しい設定に合わせて再度マッピングされます。</p> <p>注記：一部の地域では、キーを別の言語にカスタマイズする粘着式キーボードオーバーレイがプリンタに付属します。</p>
12	近距離無線通信アイコン (c および z モデルのみ)	このアイコンは、プリンタが統合 HP 近距離無線通信 (NFC) および Wi-Fi Direct を搭載していることを示します。
13	イーザーアクセス USB ポート	<p>USB フラッシュ ドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタ ファームウェアをアップグレードすることができます。</p> <p>注記：管理者がポートを有効にしておく必要があります。</p>
14	ハードウェア統合ポート	アクセサリおよびサードパーティ製デバイスを接続します。

タッチスクリーン コントロールパネルの使用方法

プリンタのタッチスクリーン コントロールパネルを使用するには、次の操作を行います。

操作	説明	例
タッチ 	画面の項目にタッチすると、項目が選択されるか、メニューが開きます。また、メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。	設定 アイコンにタッチして 設定 アプリを開きます。
スワイプ 	画面を横方向にスクロールするには、画面にタッチし、水平方向に指を動かします。	設定 アプリが表示されるまでスワイプします。
スクロール 	画面を縦方向にスクロールするには、画面にタッチし、垂直方向に指を動かします。メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。	設定 アプリをスクロールします。

プリンタの仕様

 **重要**：以下の仕様は発表時のもので、変更される可能性があります。現時点の情報については、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

- [技術仕様](#)
- [サポートされているオペレーティングシステム](#)
- [モバイル印刷ソリューション](#)
- [プリンタの寸法](#)
- [電力消費、電気仕様、および稼働音](#)
- [動作環境範囲](#)

技術仕様

モデル名	製品番号
M578dn	7ZU85A
M578f	7ZU86A
M578c	7ZU87A
M578z	7ZU88A

表 1-1 用紙処理仕様

用紙処理機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	✓	✓	✓	✓
トレイ 2 (550 枚の給紙トレイ)	✓	✓	✓	✓
550 枚 x 1 段用紙フィーダ	オプション	オプション	オプション	オプション
注記: 1 x 550 枚用紙フィーダを 3 台まで装着できます。				
プリンタ スタンド	オプション	オプション	オプション	オプション
自動両面印刷	✓	✓	✓	✓

表 1-2 接続仕様

接続機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	✓	✓	✓	✓
高速 USB 2.0	✓	✓	✓	✓
コンピュータを介さない印刷用およびファームウェアのアップグレード用のかんたん接続 USB ポート	✓	✓	✓	✓
アクセサリやサードパーティ製デバイスを接続するためのハードウェア統合ポケット	✓	✓	✓	✓
HP 内部 USB ポート	オプション	オプション	オプション	オプション

表 1-2 接続仕様 (続き)

接続機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
HP Jetdirect LAN Accessory	オプション	オプション	オプション	オプション
モバイル デバイスから印刷するための HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless Accessory	オプション	オプション	オプション	オプション

注記: ハードウェア統合ポケットまたはホストの背面の USB ポートを使用して接続されています。
HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless アクセサリには、HP 内蔵 USB ポート アクセサリが必要です。

表 1-3 印刷仕様

印刷機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
印刷速度は A4 サイズの用紙で 56ppm、レター サイズの用紙で 40ppm	✓	✓	✓	✓
イーजीアクセス USB 印刷 (コンピュータは不要)	✓	✓	✓	✓
プリンタ メモリにジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	✓	✓	✓	✓

表 1-4 コピーおよびスキャン仕様

コピーおよびスキャン機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
<p>注記: コピーおよびスキャン速度は変更される場合があります。最新の情報については、以下を参照してください。 www.hp.com/support/colorljM578MFP</p>				
コピー速度は A4 で 38 枚/分 (ppm)、レター サイズの用紙で 40 枚/分 (ppm)	✓	✓	✓	✓
100 ページ対応の文書フィーダ (シングルパス両面コピーおよびスキャン対応のデュアルヘッドスキャン機能装備)	✓	✓	✓	✓

表 1-4 コピーおよびスキャン仕様 (続き)

コピーおよびスキャン機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
<p>注記：コピーおよびスキャン速度は変更される場合があります。最新の情報については、以下を参照してください。 www.hp.com/support/colorljM578MFP</p>				
超音波マルチフィード検出等の HP EveryPage テクノロジー	✓	✓	✓	✓
内蔵された光学式文字認識 (OCR) により、印刷されたページを、コンピュータ上で編集または検索可能なテキストに変換	✓	✓	✓	✓
SMART ラベル機能は、用紙の端を検出して、自動的にページのトリミングを実行	✓	✓	✓	✓
最低 100 文字のテキストを有するページの向きを自動設定	✓	✓	✓	✓
自動トーン調整により、各ページの明暗、明るさ調整や背景除去が実現	✓	✓	✓	✓

表 1-5 デジタル送信仕様

デジタル送信機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
文書を電子メール、USB、およびネットワーク上の共有フォルダに送信	✓	✓	✓	✓
SharePoint® に文書を送信	✓	✓	✓	✓

表 1-6 その他の仕様

機能	M578dn	M578f	M578c	M578z
1.75GB ベース メモリ	✓	✓	✓	✓
注記: ベース メモリは、DIMM メモリ モジュールを追加することで 3.8GB まで拡張できます。				
500GB ハード ディスク ドライブ	✓	✓	✓	✓
セキュリティ: プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	✓	✓	✓	✓
カラー タッチスクリーンのコントロールパネル	✓	✓	✓	✓
ステイブラ	利用不可	✓	✓	✓
ファックス	オプション	✓	✓	✓

サポートされているオペレーティング システム

Linux: Linux に関する詳細とプリンタ ドライバについては、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください。

UNIX: UNIX® に関する詳細とプリンタ ドライバについては、www.hp.com/go/unixmodelscripts を参照してください。

以下の情報は、プリンタ専用の Windows 用 HP PCL 6 プリント ドライバ、macOS 用の HP プリント ドライバおよびソフトウェア インストーラに適用されます。

Windows: HP プリント ドライバをインストールするには、123.hp.com から HP Easy Start をダウンロードします。または、このプリンタ用のプリンタ サポート Web サイト www.hp.com/support/colorljM578MFP にアクセスし、プリント ドライバまたはソフトウェア インストーラをダウンロードして、HP プリント ドライバをインストールします。

macOS: このプリンタは、Mac コンピュータに対応しています。123.hp.com またはプリンタ サポート ページから HP Easy Start をダウンロードし、HP Easy Start を使用して HP プリント ドライバをインストールします。

1. 123.hp.com にアクセスします。
2. 記載されている手順に従い、プリンタ ソフトウェアをダウンロードします。


表 1-7 対応オペレーティング システムおよびプリント ドライバ

オペレーティング システム	プリント ドライバ (Windows の場合。macOS の場合は Web 上のインストーラからインストール)
Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。

表 1-7 対応オペレーティングシステムおよびプリントドライバ(続き)

オペレーティングシステム	プリントドライバ(Windows の場合。macOS の場合は Web 上のインストーラからインストール)
Windows 8 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェアインストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。
Windows 8.1 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェアインストールの一部として、このオペレーティングシステムでは「HP PCL-6」V4 プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。
Windows 10 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェアインストールの一部として、このオペレーティングシステムでは「HP PCL-6」V4 プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。
Windows Server 2008 R2 SP 1 (64 ビット版)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタサポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
Windows Server 2012 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタサポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
Windows Server 2012 R2 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタサポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
Windows Server 2016 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタサポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
Windows Server 2019 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタサポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
macOS 10.13 High Sierra, macOS 10.14 Mojave, macOS 10.15 Catalina	123.hp.com から HP Easy Start をダウンロードして、プリントドライバのインストールに使用します。

 **注記：** サポートされるオペレーティングシステムは変更されることがあります。

 **注記：** 現在サポートされているオペレーティングシステムの一覧については、www.hp.com/support/colorliM578MFP にアクセスし、お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプを参照してください。



 **注記：** クライアントとサーバのオペレーティングシステムの詳細、およびこのプリンタの HP UPD ドライバサポートについては、www.hp.com/go/upd にアクセスしてください。[Additional information] (追加情報) の下のリンクをクリックして参照してください。

表 1-8 最小システム要件


Windows	macOS
<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続 専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続 2GB のハードディスク空き容量 1GB RAM (32 ビット) または 2GB RAM (64 ビット) 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続 専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続 1.5GB のハードディスク空き容量

 **注記** : Windows 版ソフトウェア インストーラでは、HP スマート デバイス エージェント ベース サービスがインストールされます。ファイルサイズは約 100KB です。機能は、USB で接続されているプリンタを毎時チェックすることのみです。データは収集しません。USB プリンタが検出されると、ネットワーク上で JetAdvantage Management Connector (JAMc) インスタンスの場所の特定を試みます。JAMc が見つかり、HP Smart Device Agent Base は JAMc から完全な Smart Device Agent に安全にアップグレードされ、印刷するページが MPS (Managed Print Services) で占有されるようになります。hp.com からプリンタ用にダウンロードされ、プリンタの追加ウィザードでインストールされた、ドライバのみの Web パックでは、このサービスはインストールされません。

このサービスをアンインストールするには、**[コントロールパネル]**を開き、**[プログラム]**または**[プログラムと機能]**を選択します。次に、**[プログラムの追加と削除]**または**[プログラムのアンインストール]**を選択して、サービスを削除してください。ファイル名は、**HPSmartDeviceAgentBase** です。

モバイル印刷ソリューション

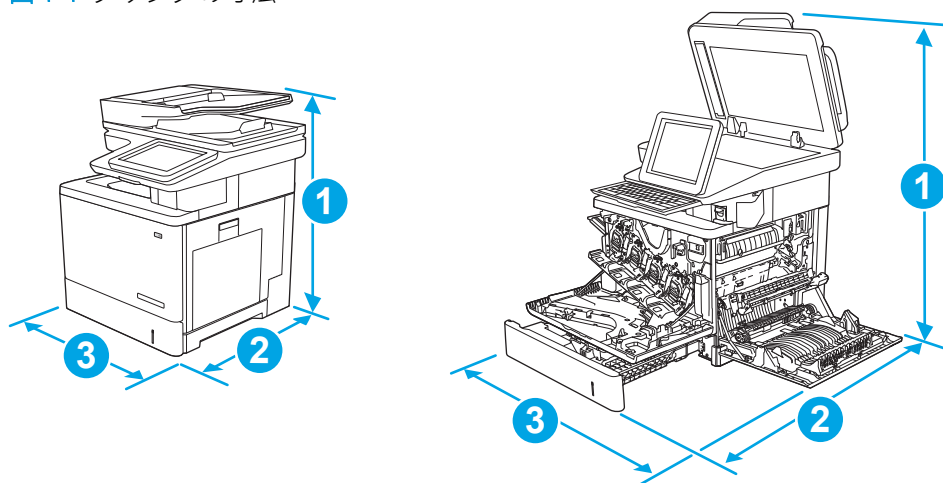
HP は、ラップトップ、タブレット、スマートフォン、またはその他のモバイルデバイスから HP プリンタで簡単に印刷できるように、複数のモバイル印刷ソリューションを提供しています。完全版リストを閲覧して最適な選択を行うには、www.hp.com/go/MobilePrinting を参照してください。

 **注記** : すべてのモバイル印刷機能を確実にサポートするには、プリンタのファームウェアを更新します。

- Wi-Fi Direct (ワイヤレス モデルのみ、HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless ワイヤレス アクセサリが取り付けられています)
- 電子メール経由の HP ePrint (HP Web サービスを有効化して、プリンタを HP Connected に登録する必要あり)
- HP Smart アプリ
- Google クラウド プリント
- AirPrint
- Android プリント

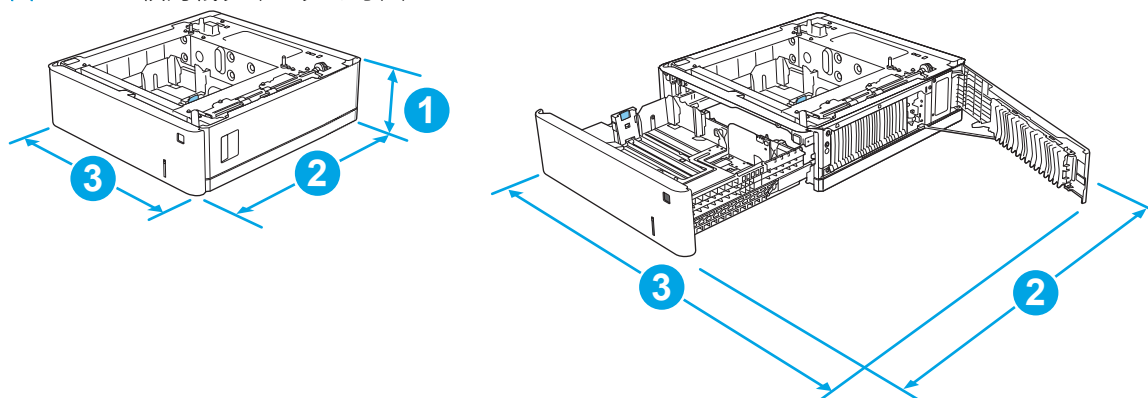
プリンタの寸法

図 1-1 プリンタの寸法



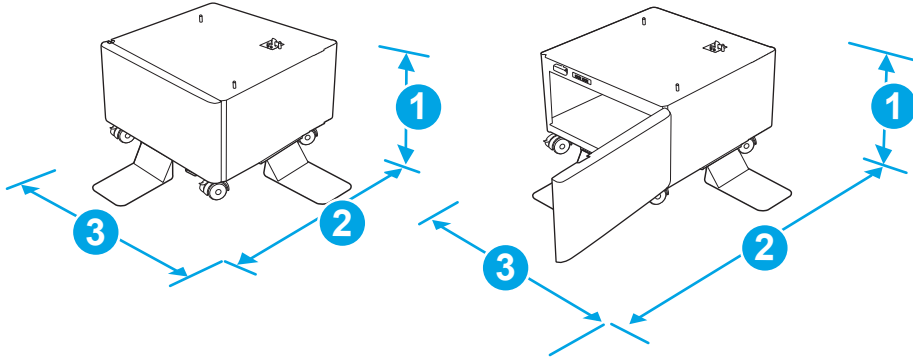
	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
1. 高さ	583mm	837mm
2. 奥行き	504mm	853mm
3. 幅	482mm	803mm
重量	dn モデル : 38.1kg c モデル : 38.6kg	

図 1-2 550 枚用紙フィーダの寸法



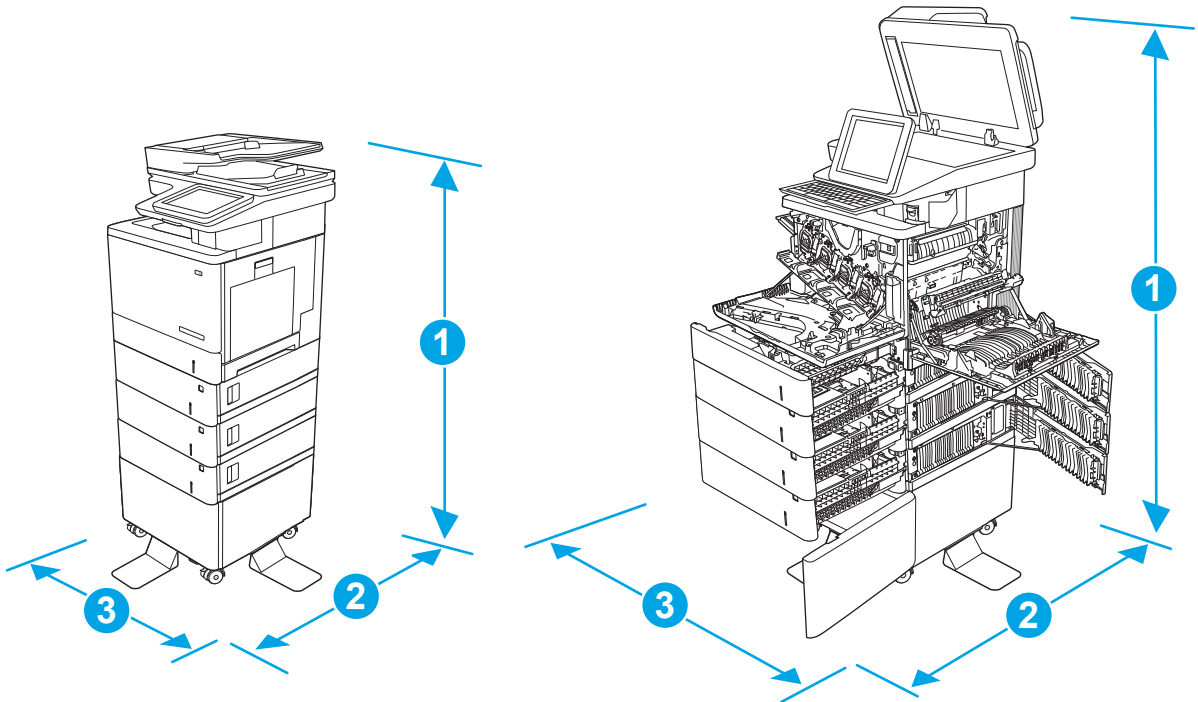
1. 高さ	130mm
2. 奥行き	トレイを閉じた状態 465mm トレイを開いた状態 : 768mm
3. 幅	右下ドアを閉じた状態 : 458mm 右下ドアを開いた状態 : 853mm
重量	5.8kg

図 1-3 スタンドの寸法



1. 高さ	295mm
2. 奥行き	ドアが閉じた状態 869mm ドアが開いた状態 1113mm
3. 幅	884mm この値は変更される可能性があります。現時点の情報については、 www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。
重量	17.7kg この値は変更される可能性があります。現時点の情報については、 www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

図 1-4 550 枚 x1 段用紙トレイ (スタンド付き) を装備したプリンタの寸法



	プリンタとアクセサリをすべて閉じた状態	プリンタとアクセサリをすべて開いた状態
1. 高さ	1268mm	1522mm

	プリンタとアクセサリをすべて閉じた状態	プリンタとアクセサリをすべて開いた状態
2. 奥行き	869mm	1113mm
3. 幅	884mm	853mm
重量	dn モデル : 73.2kg c モデル : 73.7kg	

¹ これらの値は変更される可能性があります。現時点の情報については、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

² 一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

電力消費、電気仕様、および稼動音

最新情報については、「www.hp.com/support/colorljM578MFP」を参照してください。

⚠注意：電源要件は、プリンタが販売された国/地域に基づきます。動作電圧は変更しないでください。変更すると、プリンタが損傷しても保証の対象となりません。

動作環境範囲

表 1-9 動作環境仕様

環境	推奨	許容値
温度	15 ~ 27°C	10 ~ 32.5°C
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	相対湿度 (RH) 10 ~ 80%

プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール

基本的なセットアップ手順については、プリンタに同梱されているハードウェアのインストールガイドを参照してください。詳細な手順については、WebのHPサポートを確認してください。

www.hp.com/support/colorljM578MFP にアクセスして、お使いのプリンタを含むHPの包括的なヘルプを参照します。次のサポートが含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

2 給紙トレイ

- [トレイ 1 \(汎用トレイ\) に用紙をセット](#)
- [トレイ 2、3、4、5 に用紙をセット](#)
- [封筒のセットと印刷](#)
- [ラベルのセットと印刷](#)
- [コンビニエンス ステイプラの使用 \(c, z モデル\)](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。


- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索


トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット

はじめに

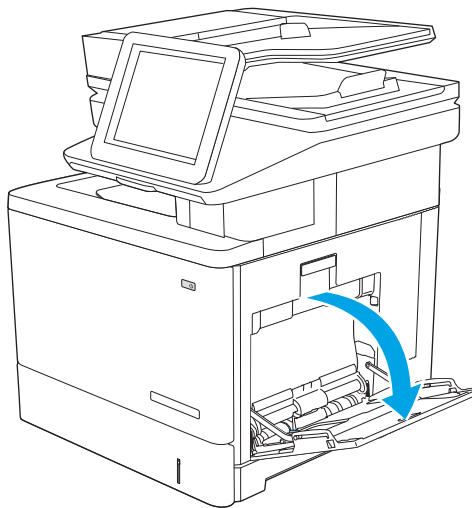
以下の情報は、トレイ 1 に用紙をセットする方法について説明するものです。このトレイには、75g/m² 用紙 100 枚まで、または封筒 10 枚までをセットできます。

 **注記**：印刷を行う前に、プリントドライバで正しい用紙タイプを選択してください。

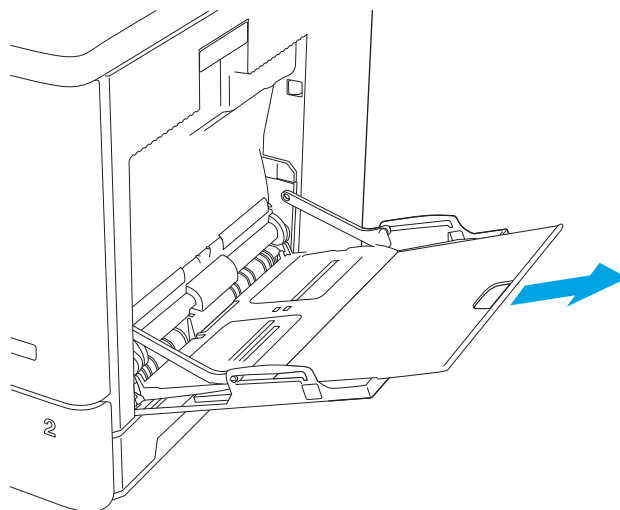
 **注記**：トレイ 1 はラベルに対応していません。ラベル紙に印刷するには、トレイ 2 またはオプションの 550 枚用紙フィーダのいずれかを使用します。

 **注意**：紙詰まりを避けるために、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したり、トレイ 1 から用紙を取り除いたりしないでください。

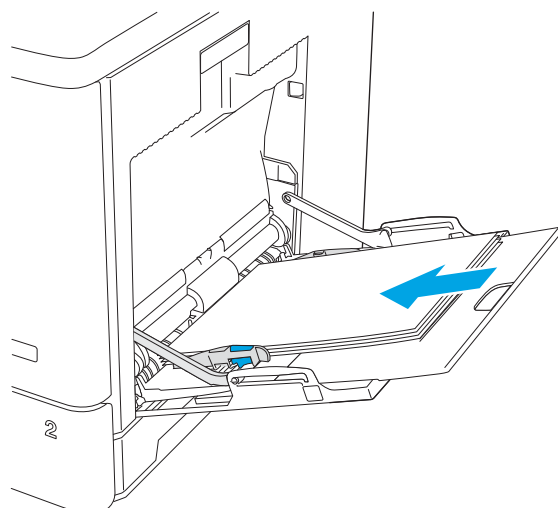
1. トレイ 1 を開きます。



2. 用紙をサポートしているトレイ拡張部を引き出します。

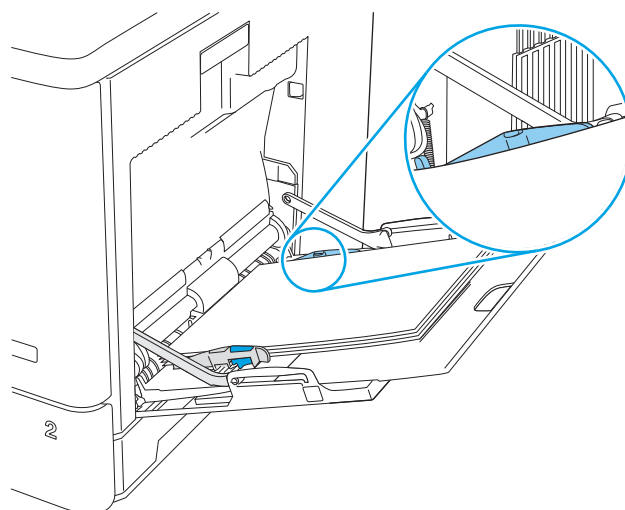


3. 用紙ガイドを該当するサイズまで広げてから、用紙をトレイにセットします。用紙の向きの詳細については、[23 ページのトレイ 1 の用紙の向き](#)を参照してください。

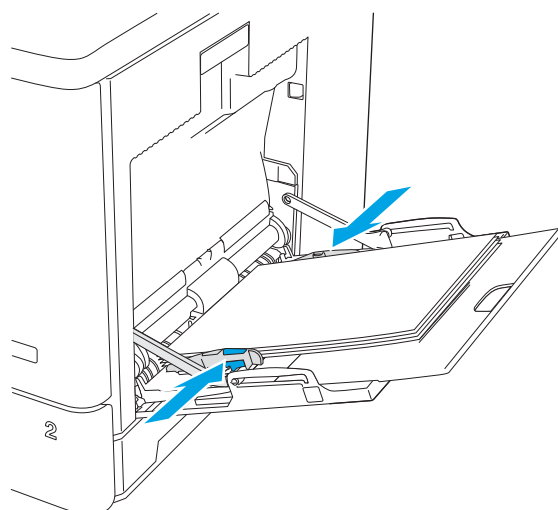


4. 用紙が用紙幅ガイドの上限ライン以内に収まっていることを確認します。

注記：積み重ねの最大高さは10mm、または75gの用紙約100枚です。



5. 両側のガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。



トレイ 1 の用紙の向き

特定の向きに印刷する用紙を使用する場合は、下の表の情報に従って用紙をセットします。


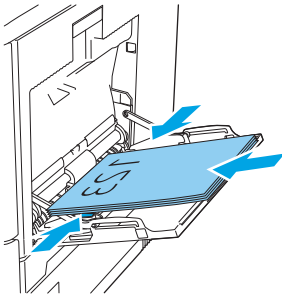
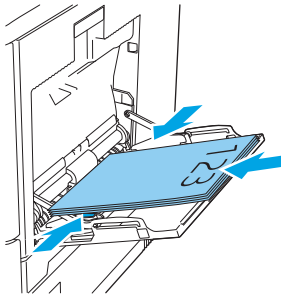
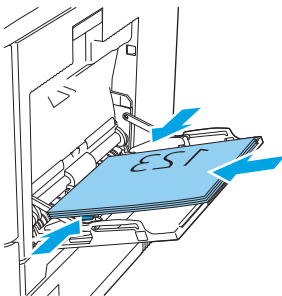
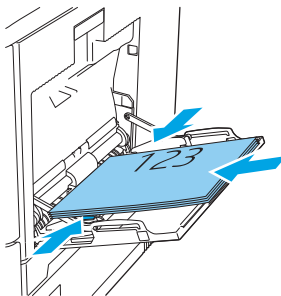
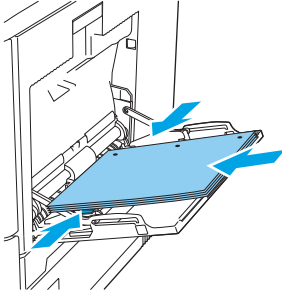
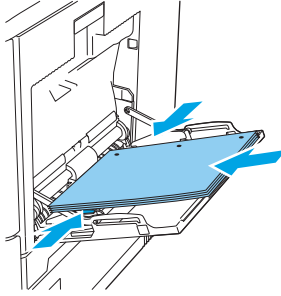
 **注記:** 代替レターヘッドモード設定は、レターヘッド用紙または印刷済み用紙をセットする方法に影響します。この設定はデフォルトでは無効になっています。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。詳細は、[25 ページの代替レターヘッドモードの使用](#)を参照してください。

表 2-1 トレイ 1 の用紙の向き

用紙タイプ	画像の向き	片面印刷	両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷
レターヘッドまたは印刷済み用紙	縦	下向き 上端からプリンタに挿入	上向き 下端からプリンタに挿入
			
レターヘッドまたは印刷済み用紙	横	下向き 上端をプリンタの背面に向けてセット	上向き 上端をプリンタの背面に向けてセット
			
穴あき用紙	縦向きおよび横向き	穴をプリンタの背面に向けてセット	穴をプリンタの背面に向けてセット
			

代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

この機能を使用するには、プリンタのコントロールパネルメニューを使用して機能を有効にします。


プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効化


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**設定**メニューが表示されるまで右から左へスワイプします。**設定**アイコンにタッチしてメニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **トレイの管理**
 - **代替レターヘッドモード**
3. **有効** オプションを選択し、次に **保存** ボタンにタッチするか、**OK** ボタンを押します。


トレイ 2、3、4、5 に用紙をセット

はじめに

トレイ 2 およびオプションの 550 枚トレイ (トレイ 3/4/5、製品番号 B5L34A) に用紙をセットする手順について説明します。これらのトレイには、75g/m² 用紙 550 枚までをセットできます。

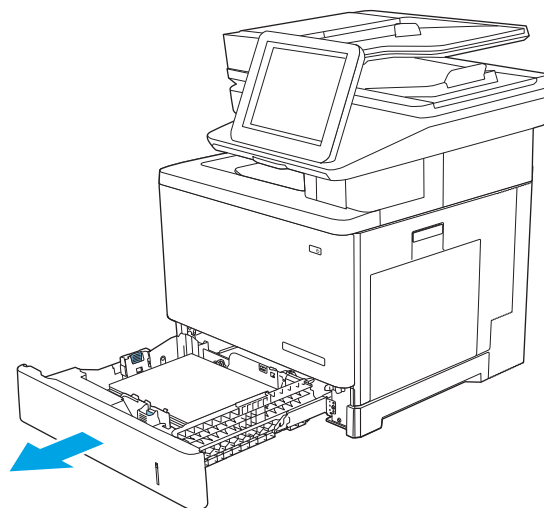
 **注記**：オプションの 550 枚トレイの用紙セット方法はトレイ 2 と同じです。ここではトレイ 2 の図で説明します。

 **注記**：使用前に用紙ガイドがロックされていて、調整可能できない場合があります。

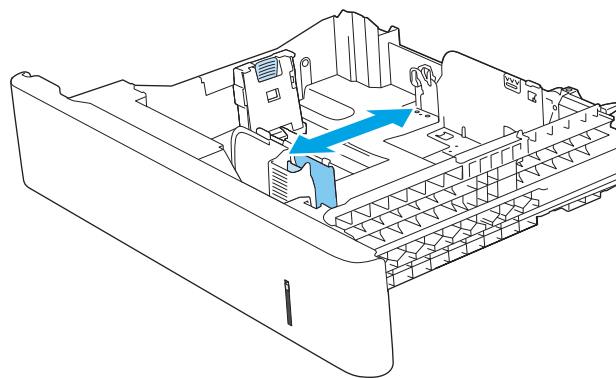
 **注意**：一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

1. トレイを引き出します。

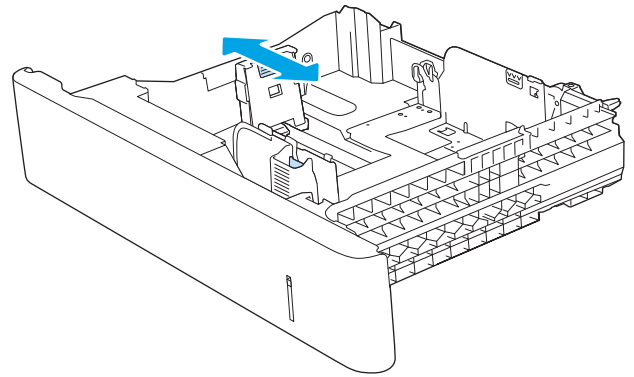
注記：プリンタの使用中はトレイを引き出さないでください。



2. 用紙をセットする前に、横方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。



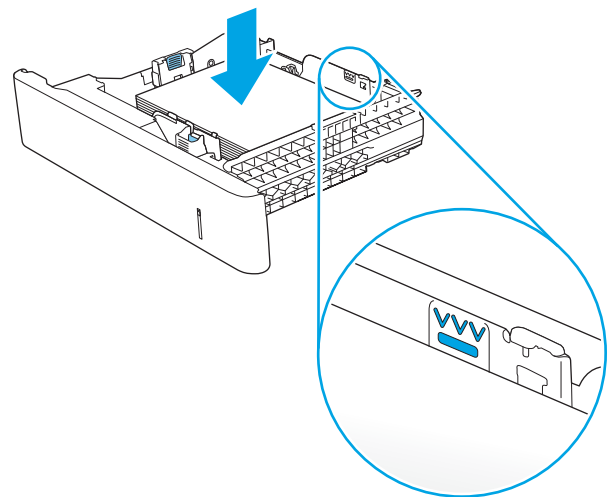
3. 縦方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。



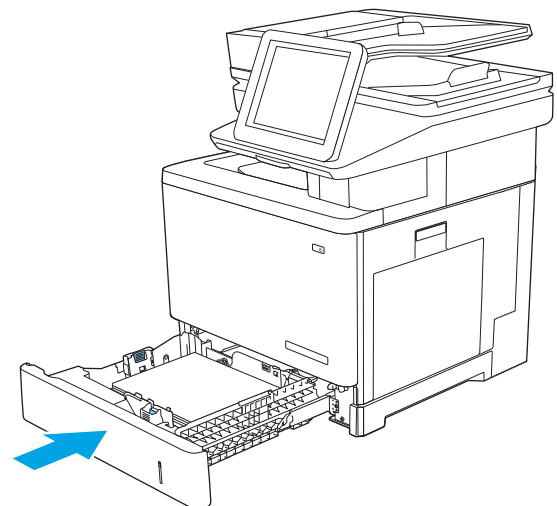
4. トレイに用紙をセットします。用紙の向きの詳細については、[28ページのトレイ2および550枚トレイの用紙の向き](#)を参照してください。

注記：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

注記：紙詰まりを防ぐため、用紙ガイドを正しいサイズに調整し、用紙を入れすぎないようにしてください。拡大図のように、用紙束の高さがトレイ上限線を超えていないことを確認してください。

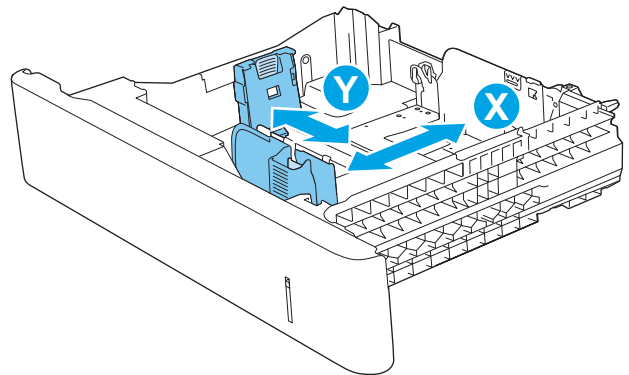


5. トレイを閉めます。



6. プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
7. 用紙サイズとタイプが適切でない場合は、**変更**を選択して、正しい用紙サイズとタイプを選んでください。

カスタムサイズの場合、プリンタのコントロールパネルにメッセージが表示された場合は、XおよびY方向の寸法を指定する必要があります。



トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き

特定の向きに印刷する用紙を使用する場合は、下の表の情報に従って用紙をセットします。


 **注記:** 代替レターヘッドモード設定は、レターヘッド用紙または印刷済み用紙をセットする方法に影響します。この設定はデフォルトでは無効になっています。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。詳細は、[29 ページの代替レターヘッドモードの使用](#)を参照してください。

表 2-2 トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き

用紙タイプ	画像の向き	片面印刷	両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷
レターヘッドまたは印刷済み用紙	縦	上向き 用紙の上端を右側に向けてセット	下向き 用紙の上端を左側に向けてセット

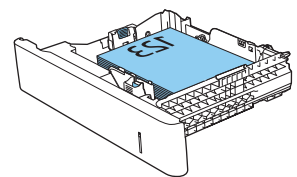
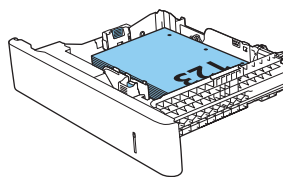
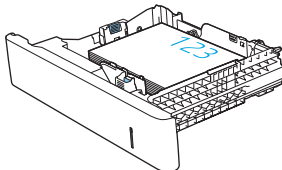
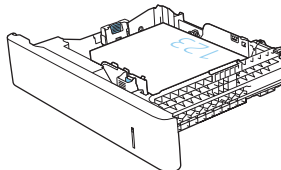
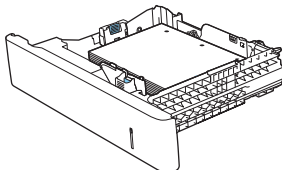
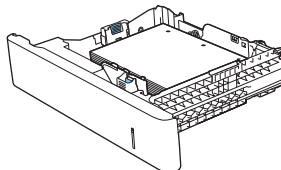


表 2-2 トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き (続き)

用紙タイプ	画像の向き	片面印刷	両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷
レターヘッドまたは印刷済み用紙	横	上向き 上端をプリンタの背面に向けてセット	下向き 上端をプリンタの背面に向けてセット
			
穴あき用紙	縦向きおよび横向き	穴をプリンタの背面に向けてセット	穴をプリンタの背面に向けてセット
			

代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

この機能を使用するには、プリンタのコントロールパネルメニューを使用して機能を有効にします。

プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効化

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**設定**メニューが表示されるまで右から左へスワイプします。**設定**アイコンにタッチしてメニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **トレイの管理**
 - **代替レターヘッドモード**
3. **有効**オプションを選択し、次に**保存**ボタンにタッチするか、**OK**ボタンを押します。

封筒のセットと印刷


はじめに


以下の情報は、封筒のセットおよび印刷方法について説明するものです。封筒印刷に使用できるトレイは1のみです。トレイ1は封筒10枚までです。

手差しオプションで封筒を印刷するには、次の手順に従ってプリントドライバで適切な設定を選択し、印刷ジョブをプリンタに送信した後に封筒をトレイにセットします。

封筒の印刷

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストから製品を選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリントドライバを開きます。

 **注記**： ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記**： Windows 8 または 8.1 のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

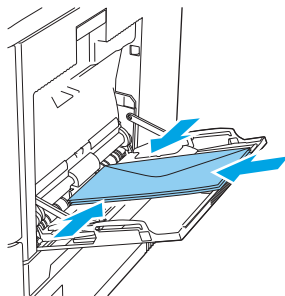
3. **[用紙/品質]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウンリストで該当する封筒のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウンリストで **[封筒]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップダウンリストで **[手差し]** を選択します。
7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

封筒の向き

封筒は次のいずれかの向きにセットできます。

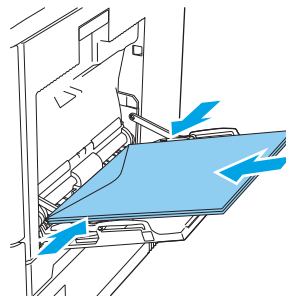
下向き

上端をプリンタの背面に向けてセット



下向き

上端からプリンタに挿入



ラベルのセットと印刷


はじめに


ラベルに印刷するには、トレイ2またはオプションの550枚トレイのいずれかを使用します。トレイ1はラベルに対応していません。

手差しオプションを使用してラベルを印刷するには、次の手順に従ってプリントドライバで適切な設定を選択し、印刷ジョブをプリンタに送信した後にラベルをトレイにセットします。手差しを使用する場合、トレイの開閉が検出されるまで、プリンタは待機状態になります。


ラベル紙の手差し

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]**オプションを選択します。
2. プリンタのリストから製品を選択し、**[プロパティ]**または**[ユーザー設定]**ボタンをクリックまたはタップしてプリントドライバを開きます。

 **注記:** ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

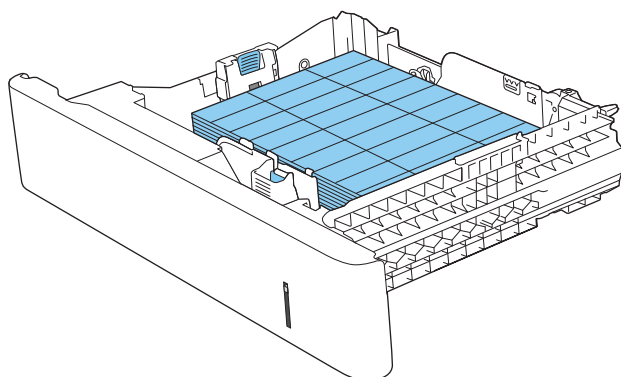
 **注記:** Windows 8または8.1のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]**を順に選択してから、プリンタを選択します。

3. **[用紙/品質]**タブをクリックまたはタップします。
4. **[用紙サイズ]**ドロップダウンリストで該当するラベル紙のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]**ドロップダウンリストで**[ラベル紙]**を選択します。
6. **[給紙方法]**ドロップダウンリストで**[手差し]**を選択します。

 **注記:** 手差しを使用する場合、該当するサイズの用紙に設定されているトレイの最も番号が小さいものから給紙して印刷されるため、特定のトレイを指定する必要はありません。たとえば、トレイ2がラベル紙に設定されている場合、トレイ2から給紙されます。トレイ3が取り付けられていてラベル紙に設定されているが、トレイ2がラベル紙に設定されていない場合は、トレイ3から給紙されます。

7. **[OK]**ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]**ダイアログボックスを閉じます。
8. **[印刷]**ダイアログボックスで、**[OK]**ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

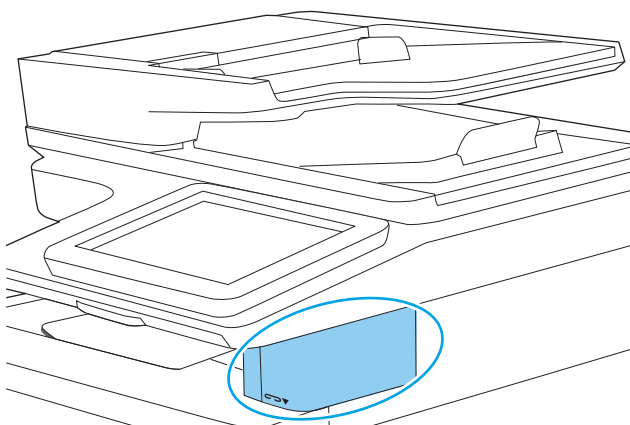
9. ラベル紙を上に向け、用紙の上端をプリンタの右側に向けてセットします。



コンビニエンスステイプラの使用 (c, z モデル)

コンビニエンスステイプラを使用して、20枚までの75g/m²用紙をステイプル留めできます。

⚠ 注意： プリンタの損傷を防ぐため、用紙以外のものをステイプル留めしないでください。



1. 用紙の束をステイプラの正面にあるスロットに挿入します。
2. 用紙がステイプル留めされるのを待ちます。ステイプラは、用紙を検出すると起動し、ステイプル留めする音を発します。

📄 注記： プリンタがスリープモードになっている場合は、多少時間がかかる場合があります。

3. ステイプル留めされた用紙をスロットから取り出します。

ステイプラから用紙が離れない場合は、次の手順に従って問題を解決します。

⚠ 警告！ けがを防ぐために、ステイプラ内に指を入れて用紙を取り出そうとしないでください。

1. ステイプラのドアを開閉してから用紙を取り除きます。
2. それでも用紙が詰まる場合は、ステイプラのドアが閉じていることを確認し、プリンタの電源を切ってから入れ直します。

3 サプライ品、アクセサリ、部品

- [サプライ品、アクセサリ、部品の注文](#)
- [トナーカートリッジの交換](#)
- [トナー回収ユニットの交換](#)
- [ステイブルカートリッジの交換 \(c, z モデル\)](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

サプライ品、アクセサリ、部品の注文

注文

サプライ品や用紙の注文	www.hp.com/go/suresupply
HP 純正の部品やアクセサリの注文	www.hp.com/buy/parts
サービス代理店経由の注文	HP の正規サービス代理店問い合わせしてください。
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使った注文	アクセスするには、お使いのコンピュータでサポートされている Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。EWS には HP SureSupply Web サイトへのリンクがあります。このリンクを選択すると HP 純正のサプライ品の購入オプションにアクセスできます。

サプライ品およびアクセサリ

トナーカートリッジを購入するには、管理対象のサービス担当者にお問い合わせください。プリンタの後部カバーの製品ラベルに記載されているモデル番号を確認してください。

表 3-1 サプライ品

品目	説明	部品番号
HP 212A Black Original LaserJet トナーカートリッジ	標準容量の交換用トナーカートリッジ(黒)	W2120A
HP 純正 212A LaserJet トナーカートリッジ(シアン)	標準容量の交換用カートリッジ(シアン)	W2121A
HP 純正 212A LaserJet トナーカートリッジ(イエロー)	標準容量の交換用トナーカートリッジ(イエロー)	W2122A
HP 純正 212A LaserJet トナーカートリッジ(マゼンタ)	標準容量の交換用トナーカートリッジ(マゼンタ)	W2123A
HP 212X High Yield Black Original LaserJet トナーカートリッジ	大容量の交換用トナーカートリッジ(黒)	W2120X
HP 純正 212X LaserJet トナーカートリッジ(シアン、大容量)	大容量の交換用トナーカートリッジ(シアン)	W2121X
HP 純正 212X LaserJet トナーカートリッジ(イエロー、大容量)	大容量の交換用トナーカートリッジ(イエロー)	W2122X
HP 純正 212X LaserJet トナーカートリッジ(マゼンタ、大容量)	大容量の交換用トナーカートリッジ(マゼンタ)	W2123X
HP トナー回収ユニット	付属ドア付きの交換用トナー回収ユニット	B5L37A
HP ステイプルカートリッジパック	c モデル用の交換用ステイプルカートリッジです。ステイプルカートリッジを2つ装備しており、各カートリッジには1,500本のステイプル針を充填できます。	Q7432A

表 3-1 サプライ品 (続き)

品目	説明	部品番号
HP LaserJet 110V フューザキット	110V モデル用交換用フューザ 注記: フューザの交換が必要になると、コントロールパネルにメッセージが表示されま す。	B5L35A
HP LaserJet 220V フューザキット	220V モデル用交換用フューザ 注記: フューザの交換が必要になると、コントロールパネルにメッセージが表示されま す。	B5L36A
HP 200 ADF ローラー交換キット	文書フィーダ用交換用フィードローラー	B5L52A

表 3-2 アクセサリ

品目	説明	部品番号
HP Color LaserJet 550 枚用紙トレイ	オプションの 550 枚用紙フィーダ 注記: プリンタには、550 枚用紙フィーダを 3 台まで装着できます。	B5L34A
プリンタ スタンド	プリンタをサポートするオプションのスタ ンド インストール手順を含む	B5L51A
HP LaserJet キーボード簡体字および繁体字 中国語オーバーレイ キット (c および z モデルのみ)	物理キーボード用の粘着式特定言語オーバ ーレイ	A7W12A
HP LaserJet キーボード スウェーデン語オー バーレイ キット (c および z モデルのみ)	物理キーボード用の粘着式特定言語オーバ ーレイ	A7W14A
HP 1GB DDR3 x32 144 ピン 800MHz SODIMM	オプションのメモリ拡張用 DIMM	E5K48A
HP 2GB DDR3 x32 144 ピン 800MHz SODIMM	オプションのメモリ拡張用 DIMM	E5K49A
HP Trusted Platform Module	プリンタを通過する全データを自動的に暗 号化 インストール手順を含む	F5S62A
HP 外部インタフェースハーネス	オプションのサードパーティ製デバイス接 続用ポート	B5L31A
HP LaserJet MFP Analog Fax Accessory 600	オプションの dn モデル用ファックス アクセ サリ	B5L53A
HP Jetdirect 2900nw プリントサーバ	USB ワイヤレス プリントサーバアクセサリ	J8031A
HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/ワイヤレス アク セサリ	モバイルデバイスから Wi-Fi Direct で印刷が できる「タッチ」アクセサリ付属	3JN69A

カスタマセルフリペア部品

CSR(カスタマセルフリペア)パーツにより修理時間の短縮が可能です。多くのHP LaserJet 製品で使用できます。CSR プログラムおよびそのメリットについては、www.hp.com/go/csr-support および www.hp.com/go/csr-faq で詳細が説明されています。

HP 純正交換部品は、www.hp.com/buy/parts で注文できます。または、HP 認定のサービスまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。注文時には、次のいずれかが必要となります。部品番号、シリアル番号(プリンタ背面にあります)、製品番号、または製品名。

- セルフ交換が**必須**と表示されている部品は、お客様が取り付けることになっています。ただし、HP のサービス担当者に有償で修理を依頼する場合は除きます。こうした部品の場合、HP プリンタの保証ではオンサイト サポートおよび引き取りサポートは提供されません。
- セルフ交換が**オプション**と表示されている部品は、お客様のご要望に応じてHP のサービス担当者によって取り付けられます。プリンタの保証期間内であれば、追加費用は発生しません。

項目	説明	セルフ交換オプション	部品番号
550 枚 x 1 段用紙フィーダキット	交換用 550 枚 x 1 段フィーダ	必須	B5L34-67901
プリンタ スタンドキット	交換用プリンタ スタンド	必須	B5L51-67901
HP フューザキット	交換用フューザ	必須	B5L35-67901 (110V) B5L36-67901 (220V)
HP フューザキット	交換用フューザ、サービスキット	必須	B5L35-67902 (110V) B5L36-67902 (220V)
ITB および T2 ローラー キット、サービス	交換用転写ベルトおよびセカンダリ トランスファー ローラー	オプション	B5L24-67901
T2 ローラー サービスキット	交換用セカンダリ トランスファー ローラー	必須	B5L24-67902
トレイ 2-X 用ローラーキット	トレイ 2、3、4、および 5 の交換用ローラー	オプション	B5L24-67904
コントロールパネルキット	交換用タッチスクリーン コントロールパネル	必須	B5L47-67018
500GB ハードディスクドライブキット	交換用ハードディスクドライブ	必須	5851-6712
HP 1GB DDR3 x32 144 ピン 800MHz SODIMM	交換用メモリ DIMM	必須	E5K48A-67902
HP 2GB DDR3 x32 144 ピン 800MHz SODIMM	交換用メモリ DIMM	必須	5851-6581
HP 外部インタフェースハーネスキット	交換用外部インタフェースハーネス	必須	B5L31-67902
トナー回収ユニット	交換用トナー回収ユニット	必須	B5L37-67901
Analog FAX 600 キット	交換用ファックスボード	必須	B5L53-67901
ADF メンテナンスキット	文書フィーダ用保守キット	必須	B5L52-67903
スキャナの白い原稿押さえ	スキャナの交換用白いプラスチック製の原稿押さえ	必須	5851-6570

項目	説明	セルフ交換オプション	部品番号
保持クリップアセンブリ	スキャナの後ろにある白い原稿押さえの背後にある交換用保持クリップ	必須	5851-6573
米国英語キーボードキット	c および z モデル向け交換用キーボード	必須	B5L47-67019
英国 英語キーボードキット	c および z モデル向け交換用キーボード	必須	B5L47-67020
キーボードオーバーレイキット フランス語、イタリア語、ロシア語、ドイツ語、スペイン語、ウクライナ語	c および z モデル向け交換用キーボードオーバーレイ	必須	5851-6019
キーボードオーバーレイキット カナダフランス語、南米スペイン語、米国スペイン語	c および z モデル向け交換用キーボードオーバーレイ	必須	5851-6020
キーボードオーバーレイキット スイスフランス語、スイスドイツ語、デンマーク語	c および z モデル向け交換用キーボードオーバーレイ	必須	5851-6021
キーボードオーバーレイキット 中国語簡体字、中国語繁体字	c および z モデル向け交換用キーボードオーバーレイ	必須	5851-6022
キーボードオーバーレイキット スペイン語、ポルトガル語	c および z モデル向け交換用キーボードオーバーレイ	必須	5851-6023
キーボードオーバーレイキット 日本語 (KG および KT)	c および z モデル向け交換用キーボードオーバーレイ	必須	5851-6024

トナーカートリッジの交換

はじめに

プリンタ用のトナーカートリッジの詳細と交換手順について説明します。


- [トナーカートリッジ情報](#)
- [カートリッジの取り外しと交換](#)

トナーカートリッジ情報


トナーカートリッジの残量がわずか、または非常にわずかになると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの残り寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った場合に、交換用カートリッジの取り付けをご検討ください。

プリンタは4色を使用し、色ごとにトナーカートリッジがあります。イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、および黒 (K) のインクカートリッジがあります。トナーカートリッジは正面ドア内にあります。

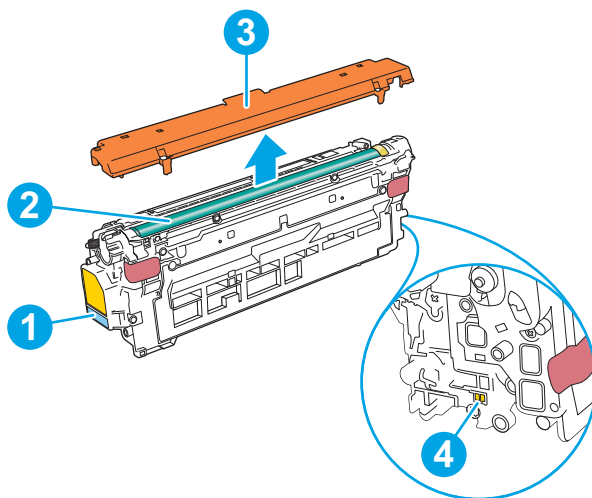
カートリッジを再分散させても、印刷品質が使用に耐えるレベルにならない場合には、プリントカートリッジを交換します。トナーを再分散させるには、プリンタからトナーカートリッジを取り出し、カートリッジを前後にゆっくりと振ります。トナーカートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。

 **注記**：大容量トナーカートリッジには、標準のカートリッジよりも多くにトナーが入っており、大量ページの印刷に対応できます。詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。

トナーカートリッジは、交換する直前までパッケージから取り出さないでください。

 **注意**：損傷を防ぐため、トナーカートリッジに、数分以上光を当てないでください。トナーカートリッジを長時間プリンタから取り外しておく必要がある場合は、緑色のイメージングドラムを覆ってください。

次の図は、トナーカートリッジコンポーネントを示しています。



1

ハンドル

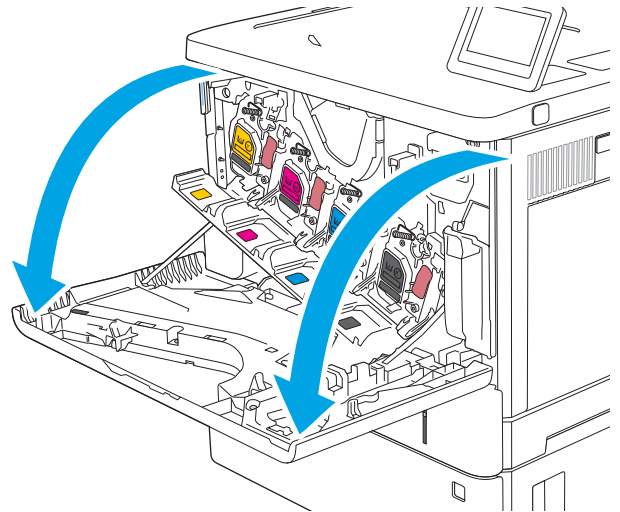
2	イメージングドラム
3	保護シールド
4	メモリチップ

⚠ 注意： トナーが服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

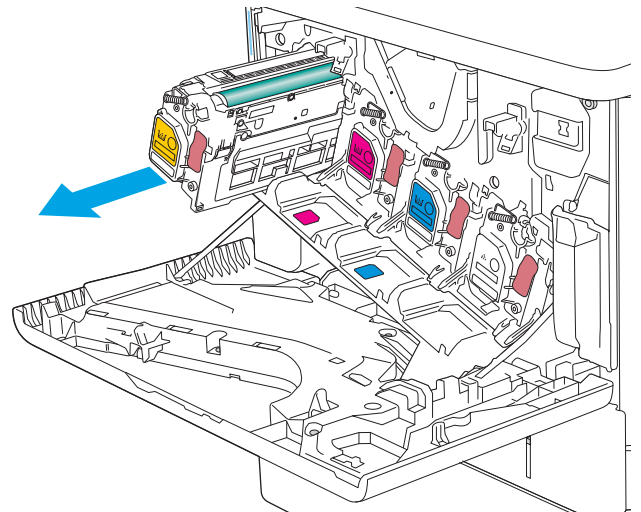
📖 注記： 使用済みトナーカートリッジのリサイクルの詳細は、トナーカートリッジの箱に記載されています。

カートリッジの取り外しと交換

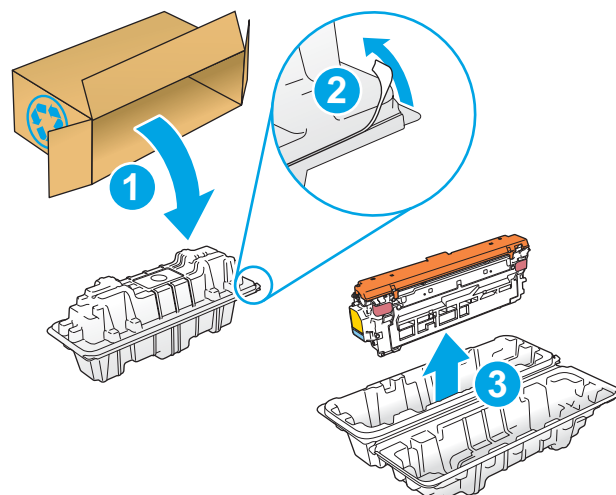
1. 正面のドアを開きます。



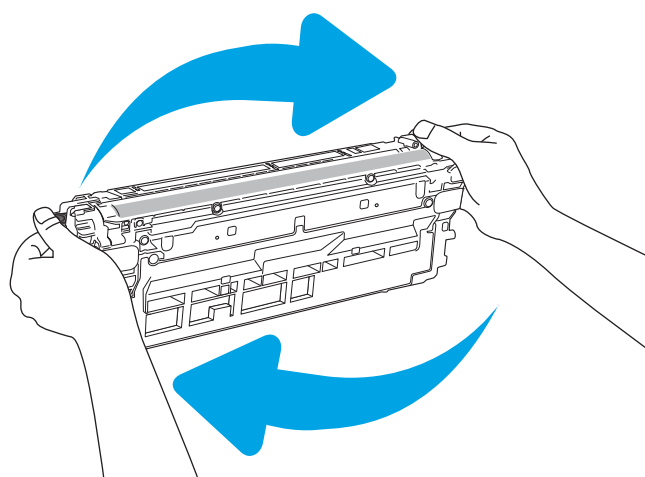
2. トナーカートリッジに付いているハンドルをつかみ、引き出します。



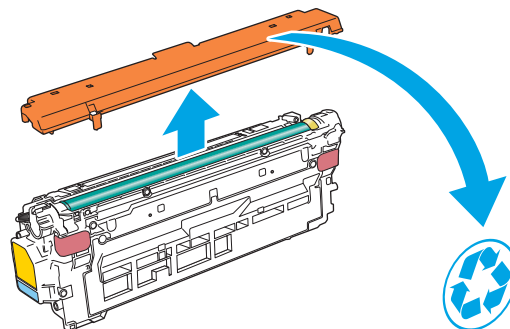
3. プラスチックテープをはがし、パッケージを開いて、新しいトナーカートリッジを保護シールドから取り出します。梱包材は、使用済みのトナーカートリッジのリサイクルに使用するため、すべて保存しておいてください。



4. トナーカートリッジの両側を持ち、5~6回振ります。

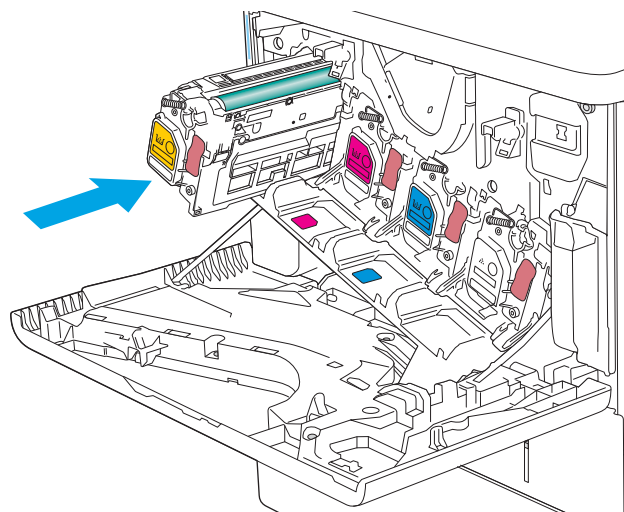


5. トナーカートリッジから保護用シールドを剥がします。

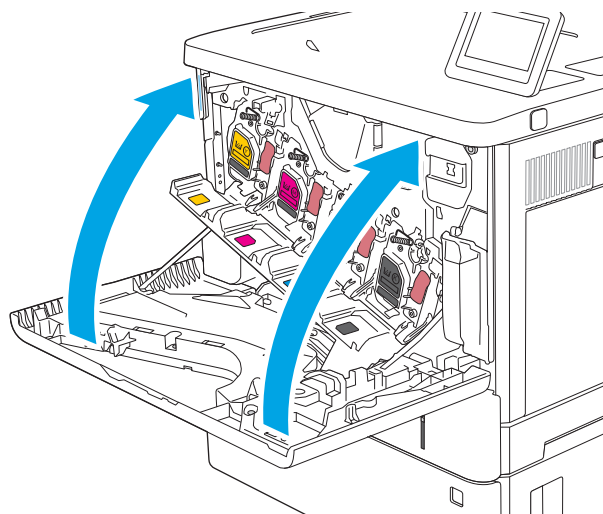


6. 片手でトナーカートリッジを下から持ち、もう一方の手でカートリッジのハンドルを握ります。トナーカートリッジをシェルフのスロットに合わせて、プリンタに挿入します。

注記：緑のイメージングドラムには触らないでください。イメージングドラムに付いた指紋が印刷の問題の原因になる場合があります。



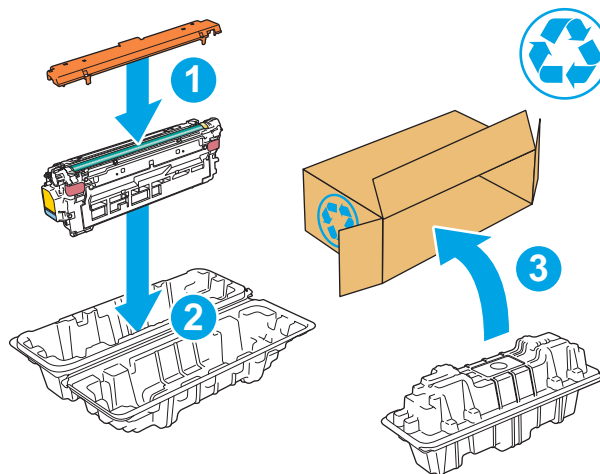
7. 正面ドアを閉じます。



8. 使用済みトナーカートリッジを、新しいカートリッジが入っていた箱に梱包するか、リサイクルする数個のカートリッジを大きな段ボール箱に入れます。リサイクル情報については、同梱のリサイクルガイドを参照してください。

米国では、プリペイド出荷ラベルが同梱されています。その他の国や地域では、www.hp.com/recycle にアクセスしてプリペイド出荷ラベルを印刷してください。

プリペイド出荷ラベルを箱に貼付して、リサイクルのため使用済みのカートリッジを HP に返送します。




トナー回収ユニットの交換


はじめに

以下の情報は、プリンタ用のトナー回収ユニットの詳細を説明するものです。交換方法も併せて説明します。

トナー回収ユニットがほぼ一杯になる、または完全に一杯になると、プリンタに表示されます。トナー回収ユニットが完全に一杯になると、ユニットを交換するまで印刷を行うことはできません。

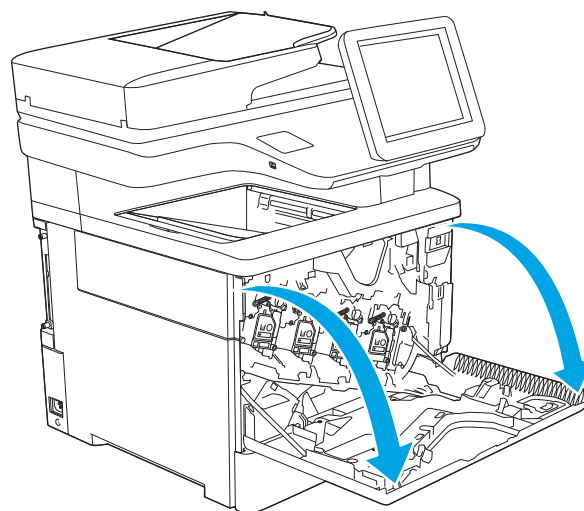
トナー回収ユニット (製品番号 B5L37A) は、HP パーツ ストア (www.hp.com/buy/parts) で購入できます。

 **注記:** トナー回収ユニットは使い捨てです。空になったトナー回収ユニットを再使用しないでください。再使用すると、トナーがプリンタ内部に漏れ、印刷品質が低下する場合があります。使用後は、リサイクルのため HP Planet Partners プログラムまでトナー回収ユニットを返却してください。

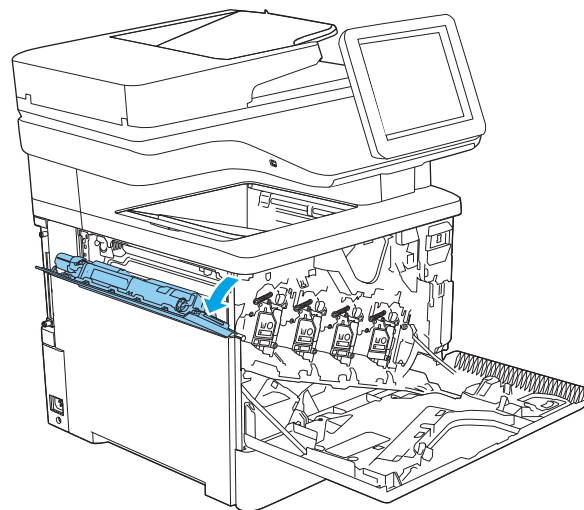
 **注意:** トナーが服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

トナー回収ユニットの取り外しと交換

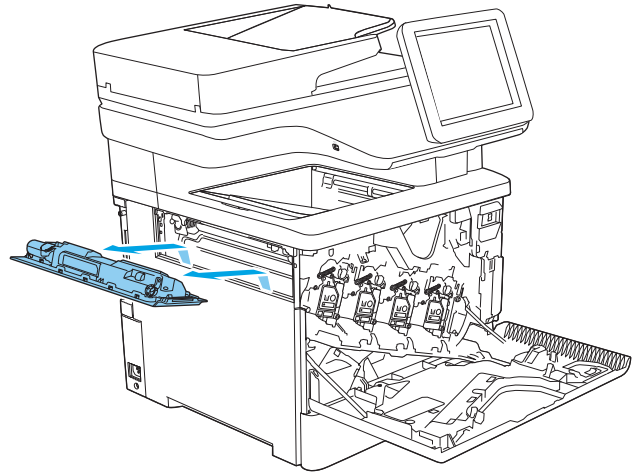
1. 正面のドアを開きます。



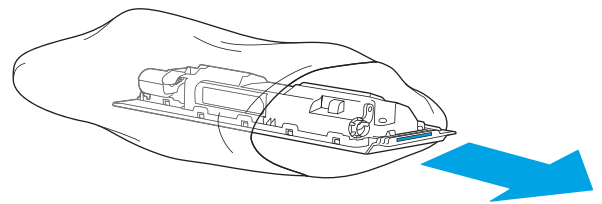
2. プリンタの左上側にあるトナー回収ユニットのドアを開きます。



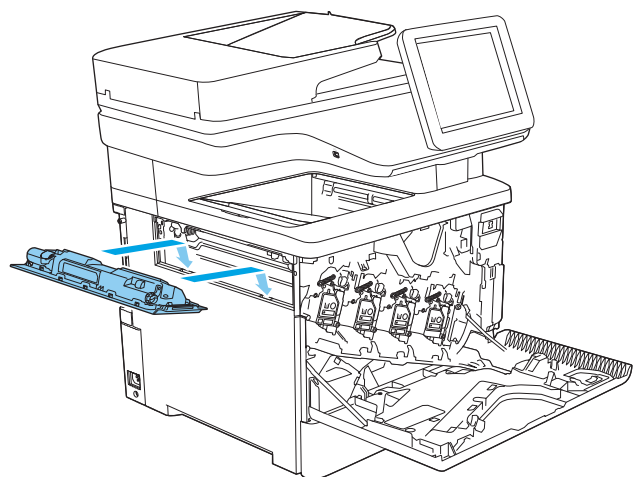
3. トナー回収ユニットと付属ドアを引き出します。



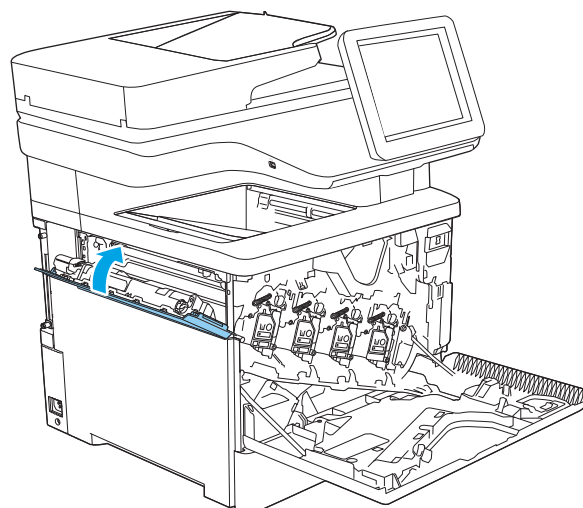
4. パッケージから新しいトナー回収ユニットを取り出します。



5. 新しいトナー回収ユニットと付属ドアをプリンタに取り付けます。ドアのタブをプリンタのスロットに合わせます。

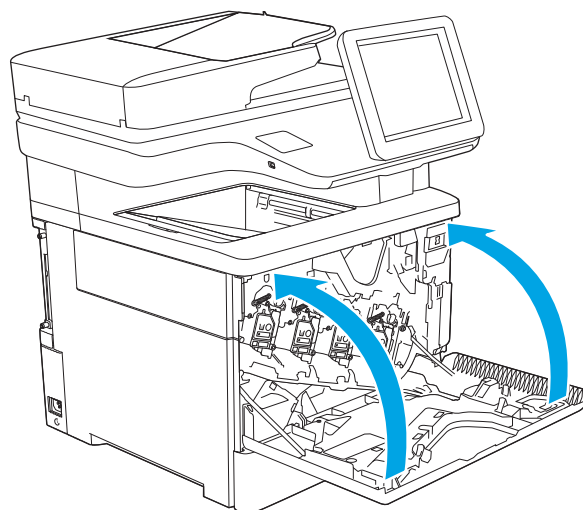


6. トナー回収ユニットのドアを開じます。



7. 正面ドアを閉じます。

使用済みトナー回収ユニットのリサイクルについては、新しいトナー回収ユニットに付属している指示書に従ってください。



ステイプルカートリッジの交換 (c, z モデル)

はじめに

以下の情報は、プリンタ用のステイプルカートリッジの詳細を説明するものです。交換方法も併せて説明します。

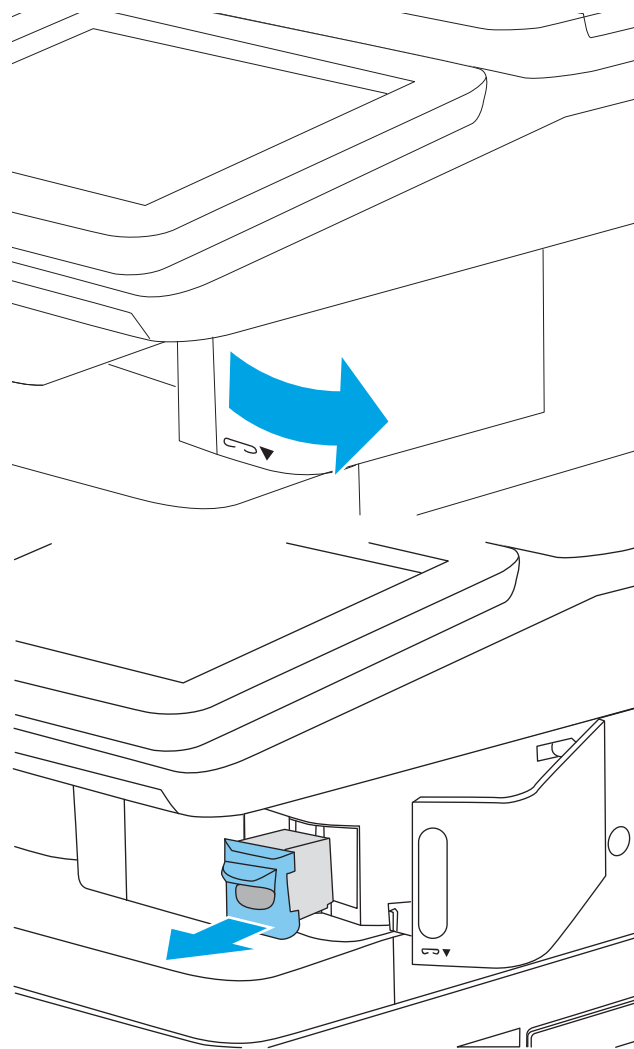
ステイプルカートリッジ2つ入りのパッケージ (製品番号 Q7432A) は、HP パーツ ストア (www.hp.com/buy/parts) で購入できます。各カートリッジには、1,500 本のステイプラ針を充填できます。

ステイプルカートリッジの取り外しと交換

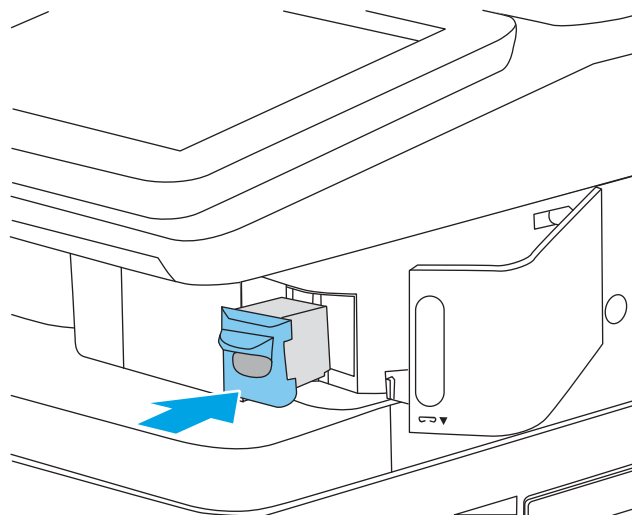
1. ステイプラのドアを開きます。

注記：ステイプラのドアを開くとステイプラが使用できなくなります。

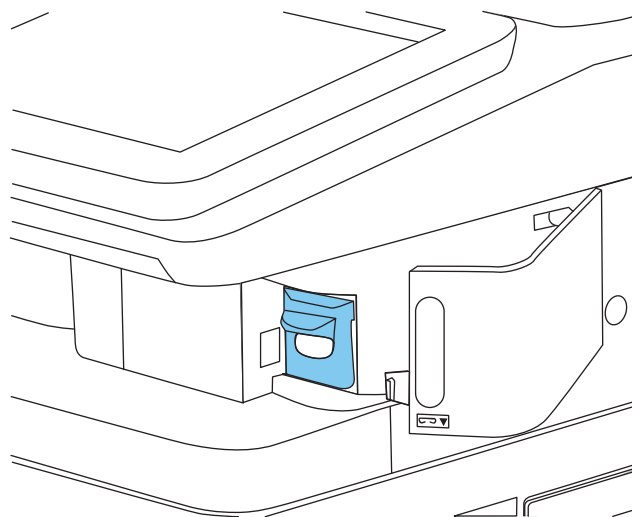
2. プリンタからステイプルカートリッジを取り外します。



3. ステップラのドアの内側にある開口部に新しいステップルカートリッジを挿入します。



4. ステップラのドアを閉じます。



4 印刷

- [印刷タスク \(Windows\)](#)
- [印刷タスク \(macOS\)](#)
- [プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷](#)
- [モバイル印刷ソリューション](#)
- [USB フラッシュドライブからの印刷](#)
- [高速 USB 2.0 ポート \(有線\) を使用して印刷する](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索


印刷タスク (Windows)

印刷する方法 (Windows)


次の手順では Windows 用の基本的な印刷プロセスについて説明します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択します。設定を変更するには、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

 **注記** : Windows 10、8.1、および 8 の場合は、以下に示したデスクトップ アプリケーションとは、レイアウトおよび機能が異なります。スタート画面アプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択して、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してからプリンタを選択します。

 **注記** : 詳細については、プリント ドライバのヘルプ ([?]) ボタンをクリックしてください。


3. プrint ドライバの各タブをクリックし、使用可能なオプションを設定します。たとえば、用紙の向きは **[仕上げ]** タブで設定し、給紙方法、用紙タイプ、用紙サイズ、品質設定は **[用紙/品質]** タブで設定します。
4. **[OK]** ボタンをクリックし、**[印刷]** ダイアログ ボックスに戻ります。印刷する部数をおこの画面で選択します。
5. ジョブを印刷するには、**[印刷]** ボタンをクリックします。

自動両面印刷 (Windows の場合)

自動両面印刷ユニットがインストールされているプリンタでこの手順を実行します。プリンタに自動両面印刷ユニットがインストールされていない場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙タイプに印刷する場合は、手動で両面に印刷します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]**または**[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

 **注記** : Windows 10、8.1、および 8 の場合は、以下に示したデスクトップアプリケーションとは、レイアウトおよび機能が異なります。スタート画面アプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。


- Windows 10: **[印刷]** を選択して、プリンタを選択します。
 - Windows 8.1 または 8: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してからプリンタを選択します。
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
 4. **[両面印刷]** を選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
 5. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

手動両面印刷 (Windows)

この手順は、自動両面印刷ユニットが取り付けられていないプリンタの場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙に印刷する場合に使用します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]**または**[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。


 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。


 **注記** : Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows 10: **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
 - Windows 8.1 または Windows 8: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
 4. **[両面印刷(手差し)]** を選択し、**[OK]** をクリックして、**文書のプロパティ** ダイアログを閉じます。
 5. 印刷 ダイアログで、**[印刷]** をクリックしてジョブの 1 ページ目を印刷します。
 6. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、トレイ 1 に入れます。
 7. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロールパネル ボタンを選択して操作を続けます。

1枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。


 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


 **注記** : Windows 10、8.1、および 8 の場合は、以下に示したデスクトップアプリケーションとは、レイアウトおよび機能が異なります。スタート画面アプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows 10: **[印刷]** を選択して、プリンタを選択します。
 - Windows 8.1 または 8: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してからプリンタを選択します。
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
 4. **[1枚の用紙に印刷するページ数]** ドロップダウン リストから、1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
 5. 適切な **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** オプションを選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
 6. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

用紙タイプの選択 (Windows)

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記** : Windows 10、8.1、および 8 の場合は、以下に示したデスクトップアプリケーションとは、レイアウトおよび機能が異なります。スタート画面アプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows 10: **[印刷]** を選択して、プリンタを選択します。
 - Windows 8.1 または 8: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してからプリンタを選択します。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
 4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。
 5. **[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。**[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

トレイを設定する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。

6. 指定されたタイプとサイズの用紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。

7. OK ボタンを選択して検出されたタイプおよびサイズを受け入れるか、**変更** ボタンを選択して別のサイズまたはタイプを選択します。
8. 正しいタイプとサイズを選択して、**[OK]** ボタンを選択します。

補足的な印刷タスク

www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

たとえば、次のような印刷タスクの実行手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズを選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

印刷タスク (macOS)

印刷方法 (macOS)

次の手順では、macOS の基本的な印刷プロセスについて説明します。


1. **【ファイル】**メニューをクリックし、**【印刷】**オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. **【詳細表示】**または**【部数とページ数】**をクリックし、その他のメニューを選択して印刷設定を調節します。

 **注記**：項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


4. **【印刷】**ボタンをクリックします。

自動両面印刷 (macOS)

 **注記**：この情報は、自動両面印刷ユニットが装備されているプリンタに適用されます。


 **注記**：この機能は、HP プリントドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. **【ファイル】**メニューをクリックし、**【印刷】**オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. **【詳細表示】**または**【部数とページ数】**をクリックし、**【レイアウト】**メニューをクリックします。

 **注記**：項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. **【両面印刷】**ドロップダウンリストから**【縦じ込み】**オプションを選択します。
5. **【印刷】**ボタンをクリックします。

手動両面印刷 (macOS)

 **注記**：この機能は、HP プリントドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. **【ファイル】**メニューをクリックし、**【印刷】**オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. **【詳細表示】**または**【部数とページ数】**をクリックし、**【手動両面印刷】**メニューをクリックします。

 **注記**：項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. **【手動両面印刷】**ボックスをクリックし、**【縦じ込み】**オプションを選択します。
5. **【印刷】**ボタンをクリックします。
6. プリンタのトレイ 1 に入っている空白の用紙をすべて取り除きます。

7. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、印刷面を下向きにして給紙トレイにセットします。
8. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロールパネル ボタンを選択して操作を続けます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する (macOS)

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、[レイアウト] メニューをクリックします。

 **注記:** 項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


4. [用紙あたりのページ数] ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. [レイアウト方向] 領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. [境界線] メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。
7. [印刷] ボタンをクリックします。

用紙タイプを選択する (macOS)

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンタを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、[メディアと品質] メニューまたは [用紙/品質] メニューをクリックします。

 **注記:** 項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. [メディアと品質] または [用紙/品質] オプションから選択します。

 **注記:** このリストには、使用可能なオプションのマスタ セットが含まれています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

- **[メディアタイプ]:** 印刷ジョブでメディアタイプに合ったオプションを選択します。
 - **[印刷品質]:** 印刷ジョブの解像度を選択します。
 - **[全幅印刷]:** 用紙の端近くまで印刷するには、このオプションを選択します。
5. [印刷] ボタンをクリックします。

補足的な印刷タスク

www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

たとえば、次のような印刷タスクの実行手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズの選択、またはカスタム用紙サイズの使用

- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷

はじめに


以下の情報は、プリンタに保存されている文書を作成および印刷する手順について説明するものです。これらのジョブは、後で印刷することもプライベート印刷することもできます。


- [保存ジョブの作成 \(Windows の場合\)](#)
- [保存ジョブの作成 \(macOS\)](#)
- [保存ジョブの印刷](#)
- [保存したジョブの削除](#)
- [ジョブアカウントの目的でプリンタに送信される情報](#)

保存ジョブの作成 (Windows の場合)

プライベートの印刷または遅延印刷のために、プリンタでジョブを保存します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** (名前はソフトウェア プログラムによって異なります) を選択します。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

 **注記** : Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
 - **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。
-
3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
 4. **[ジョブ保存モード]** オプションを選択します。
 - **[試し刷り後に保留]** : ジョブを 1 部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
 - **[個人ジョブ]** : ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか 1 つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、コントロールパネルで必要なパスワードを入力する必要があります。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。
 - **[クイックコピー]** : 指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
 - **[保存ジョブ]** : プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設**

定] オプションのいずれか1つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てた場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルに必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルに必要なパスワードを入力する必要があります。

5. カスタムユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

別の保存ジョブに同じ名前が付いている場合に使用するオプションを選択します。

- **[ジョブ名と1～99までの数値を使用する]**：固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
- **[既存のファイルを置換]**：既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。

6. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログボックスで、**[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

保存ジョブの作成 (macOS)

プライベートの印刷または遅延印刷のために、プリンタでジョブを保存します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** メニューで、このプリンタを選択します。
3. デフォルトで、プリントドライバに**[部数とページ]** メニューが表示されます。メニューのドロップダウンリストを開いて、**[ジョブ保存]** メニューをクリックします。
4. **[モード]** ドロップダウンリストで、保存するジョブの種類を選択します。

- **[試し刷り後に保留]**：ジョブを1部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
- **[個人ジョブ]**：ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、コントロールパネルに必要な PIN を入力します。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。
- **[クイックコピー]**：指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
- **[保存ジョブ]**：プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルに必要な PIN を入力する必要があります。

5. カスタムユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

- **[ジョブ名と1～99までの数値を使用する]**：固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
- **[既存のファイルを置換]**：既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。

6. 手順4で**[保存ジョブ]**または**[個人ジョブ]**オプションを選択した場合、PINでジョブを保護できます。**[印刷用のPINを使用]** フィールドに4桁の番号を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとする、このPIN番号の入力を求められます。

7. **[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを処理します。

保存ジョブの印刷

この手順を使用して、プリンタのジョブ保存フォルダに入っている文書を印刷します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** を選択し、次に **ジョブ保存から印刷** を選択します。
2. **印刷する保存済みジョブ** で、**選択** を選択し、文書が保存されているフォルダを選択します。
3. 文書を選択し、**選択** をタッチします。
文書がプライベートの場合は、**パスワード** フィールドに4桁のPINを入力し、**OK** を選択します。
4. 部数を調整するには、**印刷** ボタンの左側にあるボックスを選択し、表示されるキーパッドからコピー部数を選択します。キーパッドを閉じるには、**[閉じる]** ボタンを選択します。
5. **印刷** を選択して、文書を印刷します。

保存したジョブの削除

プリンタに保存した文書が不要になったら、その文書を削除することができます。また、プリンタに保存するジョブの最大数を調整できます。

- [プリンタに保存されているジョブを削除](#)
- [ジョブ保存の制限を変更](#)

プリンタに保存されているジョブを削除

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを削除します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** を選択し、次に **ジョブ保存から印刷** を選択します。
2. **選択** を選択し、ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
3. ジョブの名前を選択します。
4. **[ゴミ箱]** ボタンを選択してジョブを削除します。
ジョブがプライベートまたは暗号化されている場合には、PINまたはパスワードを入力して、**OK** を選択します。
5. 確認メッセージ上で、**ジョブの削除** を選択します。

ジョブ保存の制限を変更

新しいジョブをプリンタのメモリに保存するとき、ユーザー名とジョブ名が一致するジョブが既に存在していると、そのジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。次の手順に従って、プリンタで保存できるジョブ数を変更します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- a. コピー/印刷 または 印刷
 - b. 保存ジョブの管理
 - c. 一時的なジョブ保存制限
3. キーパッドを使用して、プリンタで保存するジョブ数を入力します。
 4. 完了 を選択して設定を保存します。


ジョブ アカウントの目的でプリンタに送信される情報

クライアント (PC など) のドライバから送信される印刷ジョブでは、個人を識別できる情報が HP の印刷およびイメージングデバイスに送信されることがあります。この情報には、印刷デバイスの管理者の決定に従って、ジョブ アカウントの目的で使用できるジョブの発行元のユーザー名とクライアント名が含まれることがあります (ただしそれに限定されるわけではありません)。ジョブ保存機能を使用する場合、この同じ情報が印刷デバイスの大容量デバイス (ディスク ドライブなど) にジョブとともに格納されることもあります。

モバイル印刷ソリューション

はじめに

HP は、ラップトップ、タブレット、スマートフォンなどのモバイルデバイスから HP プリンタで簡単に印刷できるように、複数のモバイル印刷ソリューションを提供しています。完全版リストを閲覧して最適な選択を行うには、www.hp.com/go/MobilePrinting を参照してください。

 **注記：**すべてのモバイル印刷および ePrint 機能を確実にサポートするには、プリンタのファームウェアを更新します。

- [Wi-Fi、Wi-Fi Direct 印刷、NFC、および BLE 印刷](#)
- [HP ePrint \(電子メール使用\)](#)
- [AirPrint](#)
- [Android 内蔵印刷](#)

Wi-Fi、Wi-Fi Direct 印刷、NFC、および BLE 印刷

HP JetDirect 3100w BLE/NFC/ワイヤレス アクセサリが搭載されているプリンタでは、Wi-Fi 印刷、Wi-Fi Direct 印刷、および Near Field Communication (NFC) 印刷、Bluetooth Low Energy (BLE) 印刷を実行できます。このアクセサリは、ハードウェア統合ポケット (HIP) を備えた HP LaserJet プリンタ用に、オプションとして提供されています。

Wi-Fi 印刷、Wi-Fi Direct 印刷、NFC 印刷、BLE 印刷を使用すると、ワイヤレスルーターを使用せずに、Wi-Fi 対応 (モバイル) デバイスとプリンタの間で直接ワイヤレスネットワーク接続を確立できます。

このモバイルウォークアップ印刷は、プリンタがネットワークに接続されていなくても機能します。




Wi-Fi Direct 印刷を使用すると、以下のデバイスからワイヤレスに印刷できます。

- Apple AirPrint を使用する iPhone、iPad、または iPod touch
- Android 内蔵印刷ソリューションを使用する Android モバイル デバイス

ワイヤレス印刷の詳細については、www.hp.com/go/wirelessprinting にアクセスしてください。

NFC および Wi-Fi Direct 印刷機能はプリンタのコントロールパネルから有効/無効を切り替えることができます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** メニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ネットワークング](#)
 - [Wi-Fi Direct](#)
 - [ステータス](#)
3. **オン** を選択して、**OK** を選択し、ワイヤレス印刷を有効にします。

 **注記**：複数の同一プリンタ モデルが設置されている環境では、Wi-Fi Direct 印刷でプリンタを識別しやすくするため、各プリンタに固有の Wi-Fi Direct 名を指定すると便利です。プリンタのコントロールパネルで[情報] ⓘ ボタンを押すかタッチし、[ネットワーク]  オプションまたは[ワイヤレス]  オプションを選択すると、ワイヤレス ネットワーク名 (Wi-Fi、WiFi Direct など) が[情報] 画面に表示されます。

プリンタの Wi-Fi Direct 名を変更するには、次の手順に従ってください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** メニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ネットワーキング
 - Wi-Fi Direct
 - Wi-Fi Direct 名
3. キーパッドを使用して、**Wi-Fi Direct 名** テキスト フィールドの名前を変更します。OK を選択します。



HP ePrint (電子メール使用)


HP ePrint を使用すると、電子メール対応デバイスからプリンタの電子メールアドレスに電子メールの添付ファイルとして文書を送信し、印刷できます。


HP ePrint を使用するには、プリンタが次の要件を満たしている必要があります。

- プリンタが有線ネットワークかワイヤレス ネットワークに接続されていて、インターネットにアクセスできる必要があります。
- [HP Web サービス] をプリンタで有効にし、プリンタを HP Connected に登録する必要があります。


以下の手順を使用して、HP Web サービスを有効にし、HP に接続してプリンタを登録します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタの IP アドレスを確認します。プリンタのコントロールパネルで、 ボタンを押し、矢印キーを使用してイーサネット  メニューを選択します。メニューを開き、IP アドレスまたはホスト名を表示するには、**[OK]** ボタンを押します。
 - b. プリンタと同じネットワーク上のコンピュータから、Web ブラウザを開きます。プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XX.XXX/>

 **注記**：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. **[HP Web サービス]** タブをクリックします。
3. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

 **注記** : Web サービスを有効にするのに数分かかる場合があります。


4. www.hpconnected.com にアクセスして HP ePrint アカウントを作成し、セットアップ手順を完了します。

AirPrint

Apple の AirPrint を使った直接印刷は、iOS、および macOS 10.7 Lion 以降を実行する Mac コンピュータでサポートされています。次のモバイルアプリケーションで、iPad、iPhone (3GS 以降)、または iPod touch (第 3 世代以降) からプリンタに直接印刷するには、AirPrint を使用します。

- メール
- 写真
- Safari
- iBooks
- 選択したサードパーティのアプリケーション


AirPrint を使用するには、プリンタが Apple デバイスと同じネットワーク (サブネット) に接続されている必要があります。AirPrint の使用方法と AirPrint に対応する HP プリンタの詳細については、www.hp.com/go/MobilePrinting を参照してください。

 **注記** : USB 接続で AirPrint を使用する前に、バージョン番号を確認してください。AirPrint バージョン 1.3 以前は、USB 接続をサポートしていません。

Android 内蔵印刷

HP の Android および Kindle 用内蔵印刷ソリューションにより、ネットワーク上または Wi-Fi Direct 印刷のワイヤレス範囲に存在する HP プリンタを、自動的に検出して印刷することが可能となります。

印刷ソリューションは、多くのバージョンのオペレーティングシステムに内蔵されています。

 **注記** : デバイスで印刷が使用できない場合、[Google Play > Android アプリケーション](#) に進んで、HP のプリントサービスプラグインをインストールします。

Android 埋め込み印刷ソリューションの使い方と、対応する Android デバイスの詳細については、www.hp.com/go/MobilePrinting を参照してください。

USB フラッシュ ドライブからの印刷

はじめに

このプリンタはイージー アクセス USB 印刷機能を備えているため、コンピュータからファイルを送信せずにはやくファイルを印刷できます。コントロールパネルの近くにある USB ポートには、標準の USB フラッシュ ドライブを接続できます。コントロールパネルの USB ポートは、次のタイプのファイルをサポートしています。

- .pdf
- .prn
- .pcl
- .ps
- .cht
- [USB ポートを有効化して印刷](#)
- [USB からの文書の印刷](#)

USB ポートを有効化して印刷

USB ポートは、デフォルトで無効になっています。この機能を使用する際は、USB ポートを有効にしてください。ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。


方法 1: プリンタのコントロールパネルのメニューから USB ポートを有効化する


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **コピー/印刷** または **印刷**
 - b. **USB ドライブからの印刷の有効化**
3. **有効化** オプションを選択します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**[情報]** アイコン、**[ネットワーク]** アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XXXXX/>


 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに **【この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります】** というメッセージが表示された場合、**【このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)】** をクリックします。

【このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)】 を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。


3. 多機能プリンタ モデルの場合は、**【コピー/印刷】** タブを選択し、単機能プリンタ モデルの場合は、**【印刷】** タブを選択します。
4. 左側のメニューで、**【USB ドライブからの印刷の設定】** を選択します。
5. **【USB ドライブからの印刷を有効化】** を選択します。
6. **【適用】** をクリックします。

USB からの文書の印刷

1. USB フラッシュ ドライブをイーザーアクセス USB ポートに挿入します。

 **注記** : ポートにカバーが付いている場合があります。一部のプリンタのカバーはフリップ式です。それ以外のプリンタのカバーは、まっすぐ引いて取り外す形式です。

2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** を選択し、次に **USB ドライブから印刷** を選択します。
3. **選択** を選択し、印刷する文書の名前を選択し、**選択** を選択します。

 **注記** : 文書はフォルダ内にある場合があります。必要に応じてフォルダを開きます。

4. 部数を調整するには、部数のフィールドを選択します。キーパッドを使用して、印刷する部数を入力します。
5. **印刷** を選択して、文書を印刷します。

高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する



高速 USB ポートを有効化して印刷する


このプリンタには、有線 USB 印刷用の高速 USB 2.0 ポートがあります。このポートは、プリンタ背面のインタフェースポート領域にあり、デフォルトでは無効になっています。ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。ポートが有効になったら、このポートを使用して印刷するために、製品ソフトウェアをインストールします。


方法 1: プリンタのコントロールパネルメニューから高速 USB 2.0 ポートを有効化

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **全般**
 - b. **デバイス USB の有効化**
3. **有効化** オプションを選択します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XXXXX/>

 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります] というメッセージが表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

3. [セキュリティ] タブを選択します。
4. 画面の左側で、[一般セキュリティ] を選択します。
5. [ハードウェア ポート] まで下にスクロールし、次の両方の項目を有効にするチェックボックスをオンにします。
 - [デバイス USB の有効化]
 - [ホスト USB プラグアンドプレイの有効化]
6. [適用] をクリックします。

5 コピー

- [コピーする](#)
- [両面コピーする](#)
- [コピー機能のその他のオプション](#)
- [補足的なコピータスク](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

コピーする

次の手順に従って、スキャナ ガラスまたは文書フィーダからコピーを作成します。

1. 文書を下向きにしてスキャナ のガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
3. **面** メニューと **カラー/モノクロ** メニュー (カラー プリンタ) から設定を選択し、**完了** を選択します。
4. クイックセットを使用する場合は、**クイックセットとデフォルト** の下にある **ロード** を選択します。リストから [クイックセット] を選択し、右下隅にある **ロード** を選択します。

 **注記** : クイックセットは、**テキスト**、**写真**、**高品質** など、さまざまな出力タイプに応じて事前に定義されたコピー設定です。

5. **縮小/拡大** および **内容の向き** などの設定を調整するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。
6. オプションのプレビュー : 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 5-1 プレビュー パネルの制御

展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 5-2 プレビュー ボタン












ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	

表 5-2 プレビュー ボタン (続き)

ボタン	説明
	<p>選択したページをズームインまたはズームアウトします。</p> <p>注記: これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。</p>
	
	<p>ページを 180°回転します。</p> <p>注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。</p>
	<p>選択したページを削除します。</p> <p>注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。</p>
	<p>文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。</p> <p>注記: これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。</p>
	
	<p>文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。</p>
	<p>プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。</p>

- 部数を調整するには、**コピー** ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピー部数を選択します。キーパッドを閉じるには、[閉じる]  ボタンを選択します。
- 文書の準備が整ったら、**コピー** を選択してコピーを開始します。

両面コピーする









1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
 2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
 3. **面** の下の矢印を選択して利用可能なオプションを表示します。
 4. **片面原稿/両面原稿** セクションで、元の原稿について説明するオプションを選択します。
 - ページの片面のみに印刷されている原稿については、**片面** を使用します。
 - ページの両面に印刷されている原稿については、**両面** を使用します。
 - **上綴じ** を有効または無効にして、両面原稿のページのどちら側を綴じるか決定します。
 5. **出力面** セクションで、これらのオプションのいずれかを選択します。
 - **原稿と同じ**：出力ページの形式が、原稿と同じになります。たとえば、原稿が片面であれば、出力ページも片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されており、原稿が片面である場合は、出力コピーは両面（製本スタイル）になります。
-  **注記**：この機能は、すべてのファームウェアバージョンで使用できるわけではありません。この機能を使用するには、プリンタのファームウェア更新が必要な場合があります。
- **片面**：出力コピーは片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されている場合は、出力コピーは両面（製本スタイル）になります。
 - **両面**：出力コピーは両面になります。
 - **上綴じ** を有効または無効にして、両面出力のページのどちら側を綴じるか決定します。
6. **完了** を選択します。
 7. 必要に応じてその他の設定を調整します。メッセージが表示されたら、各設定で **実行** を選択します。
 8. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビューペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。


表 5-3 プレビュー パネルの制御

展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 5-4 プレビュー ボタン

ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトします。 注記： これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180°回転します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内でページの順序を変更します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記： これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	
	文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

9. 部数を調整するには、**コピー** ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピー部数を選択します。キーパッドを閉じるには、[閉じる]  ボタンを選択します。
10. 文書の準備が整ったら、**コピー** を選択してコピーを開始します。

コピー機能のその他のオプション

コピー機能を使用の際は、[オプション](#) リストで次の設定を使用できます。


 **注記：** 次のリストには、HP Enterprise MFP プリンタで使用できるオプションのマスタ セットが記載されています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

表 5-5 コピー オプション

オプション	説明
部数	コピー枚数を指定します。
設定のロードと保存	クイックセットのロード： 保存されているクイック セットからコピー設定をロードします。 注記： HP 内蔵 Web サーバを使用して、クイック セットを作成および保存します。 デフォルトの保存： [オプション] リストの現在の設定を今後のコピー ジョブのデフォルト設定として保存します。
面	原稿を片面と両面のどちらで印刷するか、およびコピーを片面と両面のどちらで印刷するかを指定します。
カラー/モノクロ	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。 カラー プリンタのみ。
ステイプル	ステイプルの位置を指定します。 自動仕上げアクセサリが搭載されたプリンタのみ。 この機能はコンビニエンスステイプラーが搭載されたプリンタには適用されません。
スキャン モード	標準文書： 文書フィーダを使用してページまたはページの束をスキャンするか、またはスキャナ ガラスで1枚ずつページをスキャンします。 ブックモード： 開いた本をスキャンし、本の各ページを別々のページに出力します。 両面 ID コピー： スキャナ ガラスで ID カードの各面をスキャンし、1 ページに出力します。最初の面をスキャンした後、プリンタには裏面をガラスの適切な位置に配置するようにメッセージが表示されます。
縮小/拡大	スキャンした文書のサイズを拡大/縮小します。
元のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
用紙の選択	コピーの用紙のサイズおよびタイプを指定します。
ブックレット	スキャンした原稿のイメージをブックレットとして印刷するページに合わせて整形し、再配置します。
内容の向き	原稿を印刷する向き (縦または横) を指定します。
用紙あたりのページ数	1 枚の用紙に複数のページをコピーします。用紙あたりのページ数 (1 ページ、2 ページ、または 4 ページ) を選択します。

表 5-5 コピー オプション (続き)

オプション	説明
<p>排紙ビン</p> <p>複数の排紙ビンが搭載されたプリンタのみ。</p>	<p>プリンタの排紙ビンがメールボックスモード対応の設定になっているときに、ジョブに使用する排紙ビンを指定します。</p> <p>注記：排紙ビンがスタッカモード対応または機能セパレータモード対応の設定になっているときは、このオプションは表示されません。</p>
<p>用紙経路</p> <p>用紙経路内でページを反転するオプションが搭載されたプリンタ向け。</p>	<p>具体的な用紙経路を選択します。</p> <p>上向き (最もストレートな経路)：文書フィーダに置いた場合と逆の順序で、ページをビンに出力します。</p> <p>下向き (正しい順序)：文書フィーダに置いた場合と同じ順序で、ページが排出されます。</p>
<p>イメージ調整</p>	<p>シャープネス：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。</p> <p>濃度：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。</p> <p>コントラスト：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。</p> <p>背景の除去：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。</p> <p>自動トーン：Flow プリンタのみ。濃さ、コントラスト、および背景の除去の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。</p>
<p>テキスト/画像の最適化</p>	<p>スキャン中の次の画像タイプに合わせてジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。</p>
<p>最小マージン</p>	<p>スキャンして、コピーを通常よりもページの端に近づけて印刷します。端に近づけて印刷すると、印刷品質の問題が発生することがあります。</p>
<p>エッジの消去</p>	<p>スキャンしたイメージのエッジをクリーニングして、黒いフチやステイプル跡などの不良を消します。</p>
<p>丁合い</p>	<p>文書を複数部数作成するときに、各ページのセットを原稿と同じ順序に組み合わせます。</p>
<p>用紙の自動矯正</p> <p>注記：Flow モデルでのみ使用できます。</p> <p>この機能は、すべてのファームウェアバージョンで使用できるわけではありません。この機能を使用するには、プリンタのファームウェア更新が必要な場合があります。</p>	<p>スキャンした画像の歪みを自動的に補正します。</p>

表 5-5 コピー オプション (続き)

オプション	説明
<p>空白のページの削除</p> <p>注記: この機能は、すべてのファームウェアバージョンで使用できるわけではありません。この機能を使用するには、プリンタのファームウェア更新が必要な場合があります。</p>	<p>スキャンするイメージから原稿内の空白ページを除外できます。この機能は、文書内の空白ページを除去できるため、両面印刷されたページをスキャンするときに便利です。</p>
<p>複数ページの給紙の検出</p>	<p>複数ページの給紙の検出を有効または無効にします。有効に設定すると、プリンタが文書フィーダで一度に複数ページが給紙されていることを検出した場合、スキャンを停止します。無効に設定すると、複数ページが給紙されていることが検出されてもスキャンは続行するため、用紙同士が張り付いている場合、原稿に付箋紙が付いている場合、厚手の用紙を使用している場合などでもページをスキャンできます。</p>

補足的なコピー タスク

www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

以下のようなコピー タスクの手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- 複数のサイズが混在する原稿のコピー
- ID カードの両面のコピーまたはスキャン
- ブックレット形式での文書のコピーまたはスキャン

6 スキャン

- [\[スキャンして電子メールで送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンして SharePoint® に保存\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\]のセットアップ](#)
- [スキャンして電子メールで送信](#)
- [スキャンしてジョブ保存](#)
- [スキャンデータをネットワークフォルダに送信](#)
- [スキャンして SharePoint デバイスに保存する](#)
- [スキャンして USB ドライブに保存](#)
- [スキャン時のその他のオプション](#)
- [HP JetAdvantage ビジネスソリューション](#)
- [補足的なスキャンタスク](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

[スキャンして電子メールで送信]のセットアップ

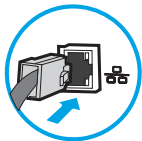
- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順1：HP内蔵Webサーバ\(EWS\)にアクセス](#)
- [手順2：\[ネットワークID\]設定の設定](#)
- [手順3:\[スキャンして電子メールで送信\]機能を設定](#)
- [手順4：クイックセットの設定\(オプション\)](#)
- [手順5：Office 365 Outlookを使用するための\[スキャンして電子メールで送信\]のセットアップ\(オプション\)](#)

はじめに

このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャンデータを1つ以上の電子メールアドレスに送信する機能を備えています。このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャンして電子メールで送信]を設定するには、基本的な[スキャンして電子メールで送信セットアップウィザード]と高度な[電子メールセットアップ]の2つの方法があります。以下の情報を使用して、スキャンして電子メールで送信機能を設定してください。


作業を開始する前に

スキャンして電子メールで送信機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。




管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の情報が必要です。

- プリンタへの管理者アクセス権
- DNS サフィックス (例 : companyname.com)
- SMTP サーバ (例 : smtp.mycompany.com)

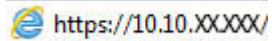
 **注記**：SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または認証情報がわからない場合は、電子メール/インターネット サービス プロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。SMTP サーバ名とポート番号は、通常はインターネットを検索すればわかります。たとえば、「Gmail smtp サーバ名」や「Yahoo smtp サーバ名」などで検索します。


- 認証に使用されるユーザー名とパスワード (該当する場合) を含む、送信電子メールメッセージの SMTP サーバ認証要件。

 **注記**：電子メールアカウントのデジタル送信制限の詳細については、電子メール サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。プロバイダによっては送信制限を超えると、一時的にアカウントがロックされる場合があります。


手順1：HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

1. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、情報 ⓘ アイコン、ネットワーク 🌐 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


 https://10.10.XXXXX/

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

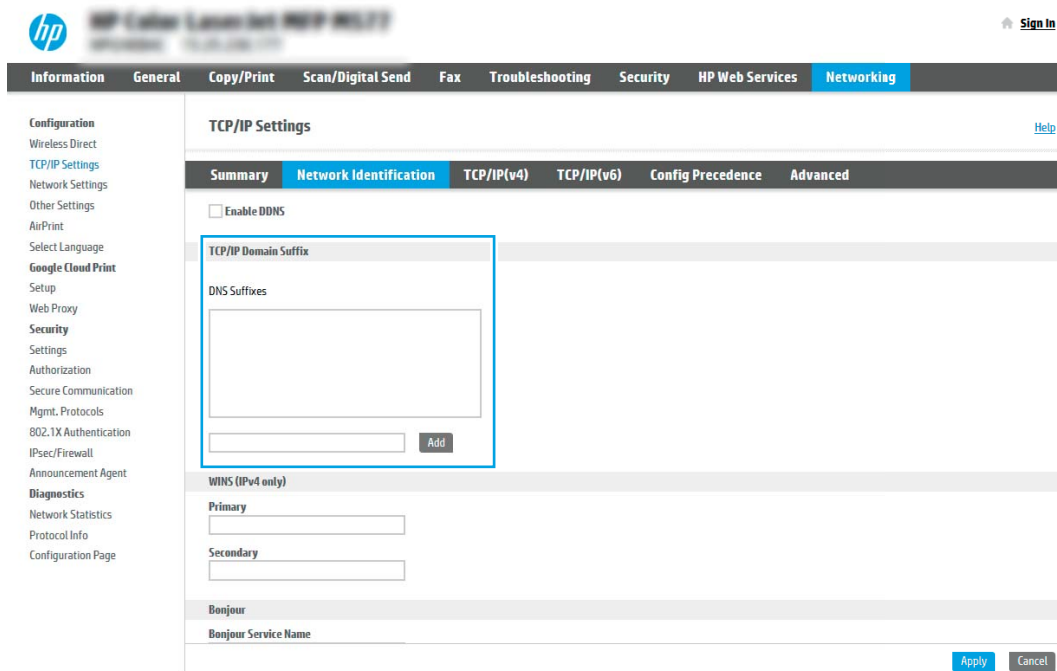
手順2：[ネットワーク ID] 設定の設定


 **注記:** [ネットワーク] タブでの電子メールセットアップの設定は、高度なプロセスであり、システム管理者の支援が必要になる可能性があります。

1. EWS の最上部のナビゲーションタブを使用して、[ネットワーク] をクリックします。

 **注記:** Office 365 を使用したネットワーク設定を行うには、「手順 5: Office 365 Outlook を使用するための [スキャンして電子メールで送信] のセットアップ (オプション)」を参照してください。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで [TCP/IP 設定] をクリックします。EWS の [ネットワーク ID] タブにアクセスするには、ユーザー名/パスワードが必要な場合があります。
3. [TCP/IP 設定] ダイアログで、[ネットワーク ID] タブをクリックします。

4. ネットワークでDNSが必要な場合は、[TCP/IP ドメインサフィックス]領域で、使用する電子メールクライアントのDNSサフィックスが表示されていることを確認します。DNSサフィックスの形式は、*companyname.com*、*gmail.com*などの形式になります。



 **注記**：ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IPアドレスを使用します。

5. **[適用]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。

手順 3: [スキャンして電子メールで送信] 機能を設定

[スキャンして電子メールで送信] を設定するには、基本的な設定の [電子メールセットアップウィザード] と高度な設定の [電子メールセットアップ] の 2 つのオプションがあります。[スキャンして電子メールで送信] 機能を設定するには、次のオプションを使用します。


- [方法 1: \[電子メールセットアップウィザード\] を使用した基本的な設定](#)
- [方法 2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定](#)

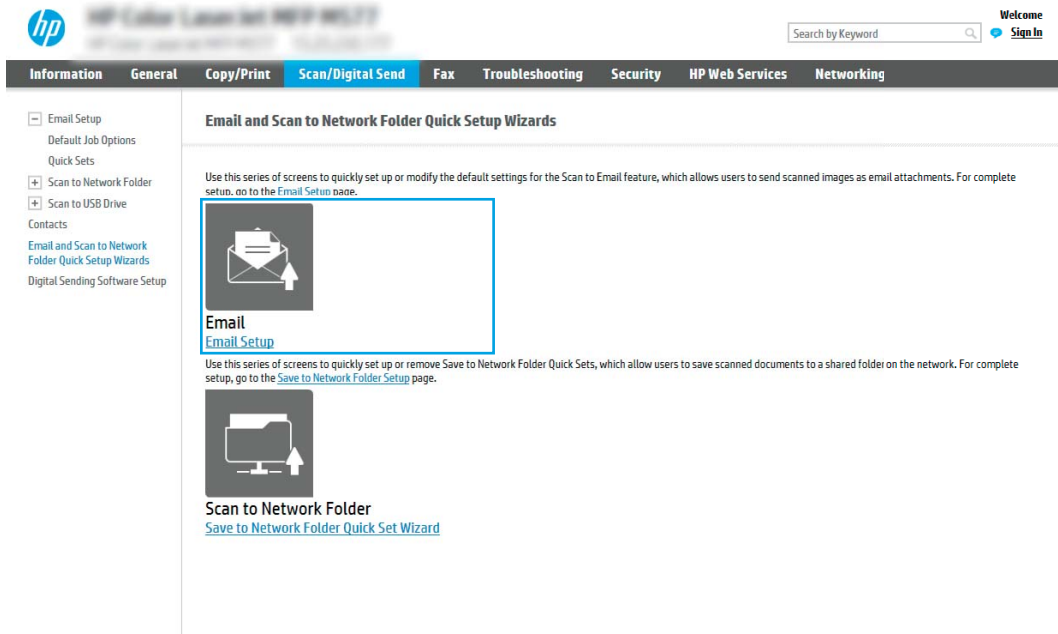
方法 1: [電子メールセットアップウィザード] を使用した基本的な設定

このオプションにより、基本的な設定のために、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) で [電子メールセットアップウィザード] が開きます。

1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して、**[スキャン/デジタル送信]** をクリックします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで、**[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]** をクリックします。

3. [ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード] ダイアログで、[電子メールセットアップ] リンクをクリックします。

 **注記:** [スキャンして電子メールで送信] 機能が無効であることを示すメッセージが表示された場合、[続行] をクリックして設定を続け、完了時に [スキャンして電子メールで送信] 機能を有効にします。




4. [電子メールサーバ (SMTP) を設定] ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択して、手順を実行します。

オプション 1: 別の機能で既に使用しているサーバを使用する

- ▲ [別の機能で既に使用しているサーバを使用する] を選択し、[次へ] をクリックします。

オプション 2: 送信電子メールサーバのネットワークを検索

 **注記:** このオプションを使用すると、ファイアウォール内の送信 SMTP サーバのみ検出されます。

- [送信電子メールサーバのネットワークを検索] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 適切なサーバを [電子メールサーバ (SMTP) を設定] リストから選択し、[次へ] をクリックします。
- サーバの認証要件、
 - [サーバによる認証が不要]: [サーバによる認証が不要] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - または -
 - [サーバに認証が必要です]: ドロップダウン リストから、認証オプションを選択します。


- [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]: [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。


-または-

- [常にこれらの認証情報を使用する]: [常にこれらの認証情報を使用する]を選択し、[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[次へ]をクリックします。

オプション3: SMTP サーバの追加

- [SMTP サーバの追加]を選択します。
- [サーバ名]と[ポート番号]を入力し、[次へ]をクリックします。

 **注記**: ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

 **注記**: Gmail などのホスト SMTP サービスを使用している場合は、サービス プロバイダの Web サイトまたはその他のソースで SMTP アドレス、ポート番号、および SSL 設定を確認します。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号 465 で SSL は有効にする必要があります。

オンラインソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

- 適切なサーバ認証オプションを選択します。
 - [サーバによる認証が不要]: [サーバによる認証が不要]を選択し、[次へ]をクリックします。


-または-

 - [サーバに認証が必要です]: [サーバに認証が必要です] ドロップダウン リストからオプションを選択します。
 - [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]: [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。

-または-

 - [常にこれらの認証情報を使用する]: [常にこれらの認証情報を使用する]を選択し、[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[次へ]をクリックします。

5. [電子メールの設定] ダイアログで、差出人の電子メール アドレスに関して以下の情報を入力し、[次へ]をクリックします。

 **注記**: [差出人]、[件名]、および[メッセージ]フィールドを設定するとき、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオフにすると、電子メールを送信する際、ユーザーはプリンタ コントロールパネルで該当するフィールドを編集できません。

オプション	説明
[送信元] (必須)	[差出人] ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションをタッチします。 <ul style="list-style-type: none"> • [ユーザーのアドレス (サインインが必要)] • [デフォルトの差出人] : [デフォルトの差出人電子メールアドレス]と[デフォルト表示名]フィールドにデフォルトの電子メール アドレスと表示名を入力します。 <p>注記 : プリンタの電子メール アカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メール アドレスとして使用します。</p> <p>注記 : ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
[件名] (オプション)	電子メール メッセージのデフォルトの件名を入力します。
[メッセージ] (オプション)	カスタムのメッセージを作成します。 プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、 [メッセージ] の [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオフにします。

6. **[ファイル スキャン設定を設定]** 領域で、デフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]**をクリックします。


オプション	説明
[ファイルタイプ]	スキャンした文書のデフォルトのファイルタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [PDF] • [JPEG] • [TIFF] • [MTIFF] • [.XPS] • [PDF/A]
[カラー/モノクロ]	スキャンした文書のデフォルトのカラー設定を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [カラー] • [黒] • [黒/グレー] • [自動検出]

オプション	説明
[品質およびファイルサイズ]	<p>スキャンした文書のデフォルトの出力品質を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [低 (ファイルサイズ小)] • [標準] • [高 (ファイルサイズ大)]
[解像度]	<p>スキャンした文書のデフォルトのスキャン解像度を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [75dpi] • [150dpi] • [200dpi] • [300dpi] • [400dpi] • [600dpi]

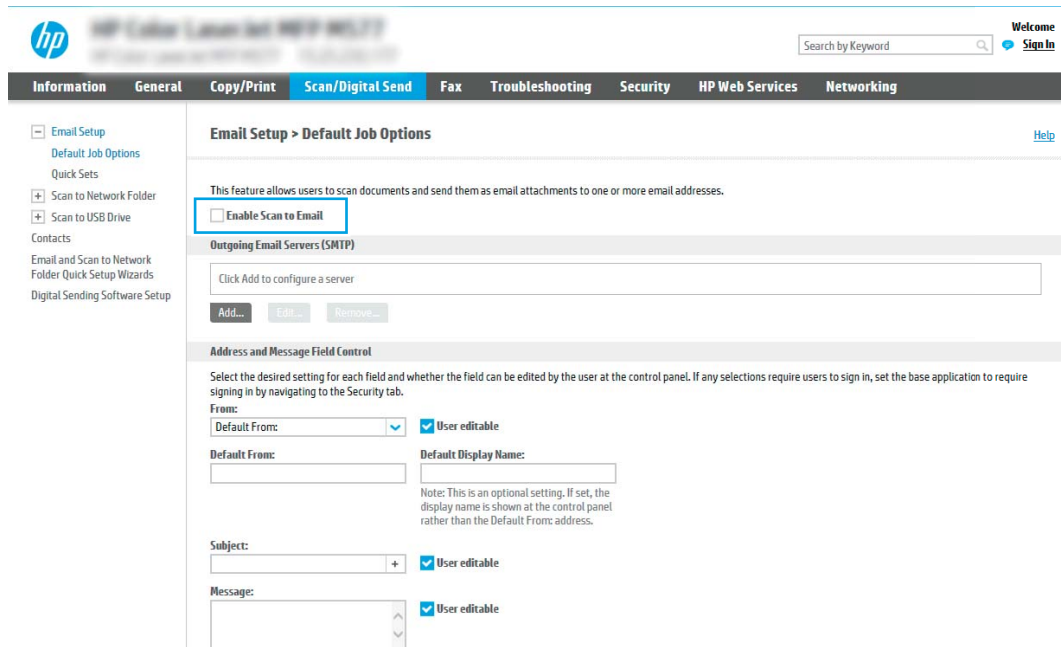
7. [サマリ] 領域を確認し、[終了] をクリックしてセットアップを完了します。

方法 2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定

1. EWS 上部のナビゲーション タブを使用して [スキャン/デジタル送信] をクリックし、左側のナビゲーション ウィンドウで [電子メールセットアップ] をクリックします。


 **注記:** デフォルトでは、[電子メールセットアップ] ページに [スキャンして電子メールで送信] セットアップの基本的な設定が表示されます。追加設定にアクセスするには、ページの下部にある [詳細設定] ボタンをクリックします。

2. [電子メールセットアップ]ダイアログで、[スキャンして電子メールで送信を有効化]チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにしないと、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。





3. [送信電子メールサーバ (SMTP)] 領域で、次のいずれかのオプションの手順を実行します。


- 表示されたサーバのいずれかを選択
- [次へ]をクリックして、SMTP ウィザードを開始します。
 1. SMTP ウィザードで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - オプション 1: [SMTP サーバアドレスまたはホスト名 (わかっている場合)]: SMTP サーバのアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。
 - オプション 2: SMTP サーバのアドレスが不明な場合は、[送信電子メールサーバのネットワークを検索]を選択して、[次へ]をクリックします。サーバを選択し、[次へ]をクリックします。

 **注記** : SMTP サーバが別のプリンタ機能向けに既に作成されている場合は、**[別の機能で既に使用しているサーバを使用する]** オプションが表示されます。このオプションを選択して電子メール機能に使用するよう設定します。

2. **[サーバに接続するために必要な基本情報を設定します]** ダイアログで、使用するオプションを設定し、**[次へ]** をクリックします。


 **注記** : 一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、**[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)]** に数字を入力することにより回避できます。

 **注記** : ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。ただし、SMTP SSL プロトコルの有効化 オプションを使用する場合は、ポート 587 を使用する必要があります。


 **注記** : 電子メールサービスに Google™ Gmail を使用している場合は、**[SMTP SSL プロトコルの有効化]** チェック ボックスをオンにします。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号 465 で SSL は有効にする必要があります。

オンラインソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

3. **[サーバ認証要件]** ダイアログで、サーバの認証要件、
 - **[サーバによる認証が不要]** を説明するオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。
 - **[サーバによる認証が必要]**
 - ドロップダウン ボックスから、**[コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
 - ドロップダウン ボックスから、**[常にこれらの認証情報を使用する]** を選択し、**[ユーザー名]** と **[パスワード]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

 **注記** : サインインしたユーザーの認証情報を使用する場合、プリンタのコントロールパネルで、ユーザーによるサインインが必要になるように電子メールを設定します。**[セキュリティ]** タブの **[アクセス制御]** ダイアログにある **[サイン インおよび権限ポリシー]** 領域の **[デバイスゲスト]** 列で電子メールのチェック ボックスをオフにして、電子メールへのデバイスゲスト アクセスを拒否します。チェック ボックスのアイコンがチェック マークからロックに変更されます。

4. **[サーバ使用状況]** ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。

 **注記** : サーバが認証を要求する場合は、プリンタから自動警告とレポートを送信するためのユーザー名とパスワードが必要になります。

5. **[概要およびテスト]** ダイアログの **[テスト電子メールの宛先:]** フィールドに有効な電子メールアドレスを入力して **[テスト]** をクリックします。
6. すべての設定が正しいことを確認し、**終了** をクリックして、送信電子メールサーバのセットアップを完了します。


4. [アドレス/メッセージフィールド制御] 領域に [差出人:] 設定とその他のオプション設定を入力します。

[アドレス/メッセージフィールド制御] 設定

機能	説明
[アドレスフィールドの制限] ¹	<p>ユーザーがアドレス帳から電子メールアドレスを選択する必要があるか、またはユーザーが手動で電子メールアドレスを入力できるかを指定します。</p> <p>注意: [ユーザーによるアドレス帳からの選択が必要] が選択されていて、アドレスフィールドのいずれかが [ユーザーによる編集が可能] に設定されている場合、編集が可能なフィールドを変更すると、アドレス帳の対応する値も変更されます。</p> <p>ユーザーがプリンタのコントロールパネルでアドレス帳の連絡先を変更できないようにするには、[セキュリティ] タブの [アクセス制御] ページに進み、アドレス帳の変更を目的とした [デバイスゲスト] アクセスを拒否します。</p>
[無効な電子メールアドレス形式を許可] ¹	無効な電子メールアドレス形式を許可する場合に選択します。
[ユーザーによる編集が可能]	<p>(ユーザーがサインインしていない場合) このプリンタから送信するすべての電子メールに [デフォルトの差出人] アドレスと [デフォルト表示名] を使用するには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにしないでください。</p> <p>アドレスフィールドを設定する際、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオフにしておく、電子メールの送信時、ユーザーによるプリンタのコントロールパネルでの該当フィールドの編集はできなくなります。自分に送信する機能を使用するには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスを [差出人:] [宛先:] [CC:]、および [BCC:] フィールドを含むすべてのアドレスフィールドでオフにして、そのユーザーの電子メール送信の [差出人:] を自分の電子メールアドレスに、[宛先:] を自分の電子メールアドレスに設定します。</p>
[デフォルトの差出人:] および [デフォルトの表示名:]	<p>電子メールメッセージの [差出人:] アドレスに使用する電子メールアドレスと名前を入力します。</p> <p>注記: プリンタの電子メールアカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メールアドレスとして使用します。</p> <p>注記: ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
[宛先:]	電子メールに宛先 (受信者) の電子メールアドレスを入力します。
[CC:] ¹	電子メールに CC する電子メールアドレスを入力します。
[BCC:] ¹	電子メールに BCC する電子メールアドレスを入力します。
[件名:]	電子メールメッセージのデフォルトの件名を入力します。
[メッセージ:]	カスタムのメッセージを作成します。プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、[メッセージ:] の [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオフにします。

¹ この設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。


5. [署名と暗号化] 領域で、署名と暗号化設定を設定します。

 **注記:** これらの設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

[署名と暗号化] 設定:

機能	説明
[署名]	セキュリティ証明書に署名するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[ハッシュアルゴリズム]	証明書に署名するために使用するアルゴリズムを選択します。
[暗号化]	電子メールを暗号化するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[暗号化アルゴリズム]	電子メールの暗号化に使用するアルゴリズムを選択します。
[受信者公開鍵の属性]	LDAP から受信者の公開鍵証明書を取得するためにどの属性を使用するかを入力します。
[受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認します]	受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認するには、この設定を選択します。

- [通知] 領域で、送信された電子メールに関する通知をユーザーがいつ受信するかを選択します。デフォルト設定では、サインインしたユーザーの電子メール アドレスが使用されます。受信者の電子メールが空白の場合、通知は送信されません。
- [スキャン設定] 領域で、デフォルトのスキャン設定を設定します。

 **注記**：これらの設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

[スキャン設定] :

機能	説明
[元のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[片面原稿/両面原稿]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツ タイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦] または [横]。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミング オプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミング オプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジ マージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

- [ファイル設定] 領域で、デフォルトのファイル設定を設定します。

[ファイル設定] :

機能	説明
[ファイル名プレフィックス] ¹	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス] ¹	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス[ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、 [プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット] ¹	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加(ex._1-1)] ¹	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[高圧縮(小さいファイル)] ¹	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数(dpi)が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれかでコピーするかを指定します。
[空白ページの削除]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

¹ この設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

9. 選択したオプションを確認して正確であることを確認し、**[適用]** をクリックしてセットアップを完了します。

手順4：クイックセットの設定(オプション)


クイックセットは、メインのホーム画面またはプリンタのクイックセットアプリケーション内でアクセスできるオプションのショートカットジョブです。

1. 左側のナビゲーションウィンドウの**【電子メールセットアップ】**領域で、**【クイックセット】**をクリックします。
2. 以下のオプションから1つ選択してください。
 - 表のクイックセットアプリケーションで既存のクイックセットを選択します。
-または-
 - **【追加】**をクリックし、**【クイックセット】**ウィザードを開始します。
3. **【追加】**を選択すると、**【クイックセット設定】**ページが開きます。次の情報を入力します。
 - **【クイックセット名】**: 新しいクイックセットのタイトルを入力します。
 - **【クイックセットの説明】**: クイックセットの説明を入力します。
 - **【クイックセット開始オプション】**: クイックセットの開始方法を設定するには、**【ユーザーは、アプリケーションに入って【スタート】を押します】**または**【ホーム画面での選択後、直ちに開始します】**のいずれかをクリックします。
4. クイックセットに**【アドレス/メッセージフィールド制御】**、**【署名と暗号化】**、**【通知】**、**【スキャン設定】**、**【ファイル設定】**の各設定を定義します。
5. **【終了】**をクリックして、クイックセットを保存します。

手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための**【スキャンして電子メールで送信】**のセットアップ(オプション)

はじめに

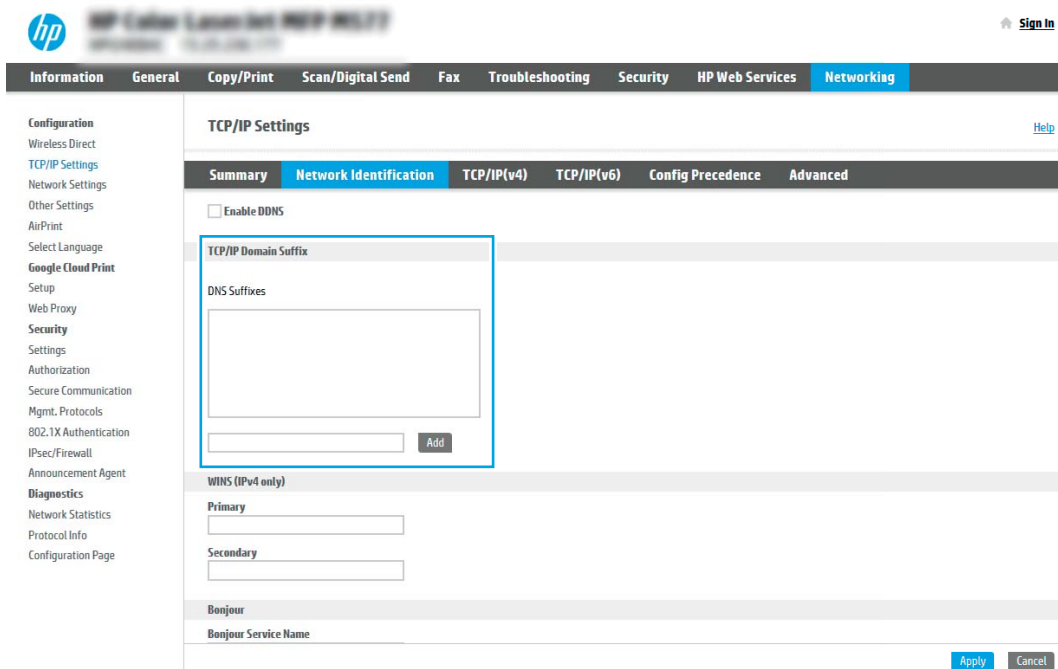
Microsoft Office 365 Outlook は、Microsoft が提供するクラウドベースの電子メールシステムで、Microsoft の SMTP (Simple mail transfer protocol) サーバを使用して電子メールの送受信を実行します。プリンタで、コントロールパネルから Office 365 Outlook アカウントを使用して電子メールを送信できるようにするには、次を実行します。


 **注記** : EWS で設定を構成するには、Office 365 Outlook の電子メールアドレスアカウントを持っている必要があります。

Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メールサーバ(SMTP)の設定

1. EWS の最上部のナビゲーションタブを使用して、**【ネットワーク】**をクリックします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで**【TCP/IP 設定】**をクリックします。
3. **【TCP/IP 設定】**領域で、**【ネットワーク ID】**タブをクリックします。

4. ネットワークでDNSが必要な場合は、[TCP/IP ドメイン サフィックス] 領域で、使用する電子メールクライアントのDNSサフィックスが表示されていることを確認します。DNSサフィックスの形式は、*companyname.com*、*Gmail.com*などの形式になります。




 **注記：**ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. [適用] をクリックします。
6. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
7. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[電子メールセットアップ] をクリックします。

8. [電子メールセットアップ] ページで、[スキャンして電子メールで送信を有効化] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスが使用できない場合、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。

The screenshot shows the HP Control Panel interface for 'Email Setup > Default Job Options'. The 'Enable Scan to Email' checkbox is highlighted with a red box. The page includes a navigation menu, a search bar, and various configuration sections like 'Outgoing Email Servers (SMTP)' and 'Address and Message Field Control'.

9. [送信電子メールサーバ (SMTP)] 領域で [追加] をクリックして、SMTP ウィザードを起動します。
10. [SMTP サーバアドレスまたはホスト名 (わかっている場合)] フィールドで、「smtp.onoffice.com」と入力し、[次へ] をクリックします。
11. [サーバに接続するために必要な基本情報を設定します] ダイアログの、[ポート番号] フィールドに「587」と入力します。

 **注記：**一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)] に数字を入力することにより回避できます。

12. [SMTP SSL プロトコルの有効化] チェックボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。
13. [サーバ認証要件] ダイアログで、次の情報を入力します。
- [サーバに認証が必要です] を選択します。
 - ドロップダウンリストで、[常に次の資格証明を使用する:] を選択します。
 - [ユーザー名] フィールドに Office 365 Outlook の電子メールアドレスを入力します。
 - [パスワード] フィールドに Office 365 Outlook のアカウントパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
14. [サーバ使用状況] ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

15. **[概要およびテスト]** ダイアログの **[テスト電子メールの宛先:]** フィールドに有効な電子メールアドレスを入力して **[テスト]** をクリックします。
16. すべての設定が正しいことを確認し、**終了** をクリックして、送信電子メールサーバのセットアップを完了します。


[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]のセットアップ

- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順1：HP内蔵Webサーバへのアクセス](#)
- [手順2：\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信\]のセットアップ](#)

はじめに


この文書は、スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能を有効にして設定する方法について説明しています。このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをネットワークフォルダに保存する機能を備えています。このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]を設定するには、基本的なセットアップの[[ネットワークフォルダに保存]セットアップウィザード]と高度なセットアップの[[ネットワークフォルダに保存]のセットアップ]の2つの方法があります。

作業を開始する前に



 **注記：**スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。

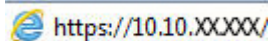
管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の項目が必要です。


- プリンタへの管理者アクセス権
- 宛先フォルダの完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例：\\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバの IP アドレス (例：\\16.88.20.20\scans)

 **注記：**このコンテキストで使用する「サーバ」という用語は共有フォルダが存在するコンピュータを指します。

手順1：HP内蔵Webサーバへのアクセス

1. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、情報  アイコン、ネットワーク  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XXXXX/>


 **注記：**Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。


手順2: [スキャンデータをネットワークフォルダに送信]のセットアップ

方法1:[スキャンデータをネットワークフォルダに送信ウィザード]の使用

このオプションにより、プリンタのHP 内蔵 Web サーバ (EWS) にあるセットアップウィザードが開きます。このセットアップウィザードには、基本的な設定のためのオプションが含まれます。


1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して、[スキャン/デジタル送信]タブをクリックします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]をクリックします。
3. [[ネットワークフォルダに保存]クイックセットウィザード]をクリックします。
4. [[ネットワークフォルダに保存]の追加または削除クイックセット]ダイアログで、[追加]をクリックします。

 **注記:** クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセットアプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。

 **注記:** [ネットワークフォルダに保存]機能は、クイックセットを作成しなくても、最小限の設定が可能です。ただし、クイックセットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャンジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイックセットには、[ネットワークフォルダに保存]のメタデータを含める必要があります。

5. [フォルダクイックセットの追加]ダイアログで、次の情報を入力します。

- a. [クイックセットタイトル]フィールドにタイトルを入力します。


 **注記:** クイックセットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例: 「スキャンしてフォルダに保存」)。

- b. [クイックセットの説明]フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。
- c. [次へ]をクリックします。

6. [宛先フォルダの設定]ダイアログで、次の情報を入力します。


- a. [UNC フォルダパス]フィールドに、スキャンが移動するフォルダパスを入力します。

フォルダパスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例: \\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバのIP アドレス (例: \\16.88.20.20\scans) のいずれも可能です。FQDN または IP アドレスの後にフォルダパス (例: \scans) を続けます。


 **注記:** FQDN はIP アドレスより信頼性が高いです。サーバがDHCP を通じてIP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるためにDNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。

- b. [認証設定]ドロップダウンから、次のいずれかのオプションを選択します。

- [コントロールパネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]
- [常にこれらの認証情報を使用する]

 **注記:** [常にこれらの認証情報を使用する] が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力し、[アクセスの確認] をクリックして、フォルダへのプリンタのアイコンを確認する必要があります。

c. [Windows ドメイン] フィールドに Windows ドメインを入力します。

 **ヒント:** Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、[スタート]、[コントロールパネル]、[システム] の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、[検索] をクリックし、検索ボックスに「システム」と入力し、[システム] をクリックします。

ドメインが [コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定] の下に一覧表示されません。

d. [次へ] をクリックします。

7. [ファイル スキャン設定を設定] ダイアログで、クイック セットのデフォルトの スキャン設定を設定し、[次へ] をクリックします。

8. [サマリ] ダイアログを確認し、[終了] をクリックします。

方法 2: [スキャンデータをネットワーク フォルダに送信セットアップ] の使用


このオプションでは、プリンタ用の HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用することにより、[ネットワークフォルダに保存] 機能の高度な設定が可能です。


手順 1: 設定の開始

1. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
2. 左側のナビゲーションメニューで、[スキャンデータをネットワーク フォルダに送信セットアップ] リンクをクリックします。

手順 2: スキャンデータをネットワーク フォルダに送信する設定の構成

1. [[スキャンデータをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ] ページで、[スキャンデータをネットワーク フォルダに送信を有効化] チェック ボックスを選択します。このボックスがオフになっていると、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。
2. 左側のナビゲーションウィンドウの [スキャンデータをネットワーク フォルダに送信] 領域で、[クイックセット] をクリックします。[クイックセット設定] ダイアログを開くには、[追加] をクリックします。

 **注記:** クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセット アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。


 **注記:** [スキャンデータをネットワーク フォルダに送信] 機能は、クイックセットを作成しなくても、最小限の設定を行うことができます。ただし、クイックセットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャン ジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイックセットには、[スキャンデータをネットワーク フォルダに送信] のメタデータを含める必要があります。

[クイックセット設定] ですべての設定を指定し、[スキャンデータをネットワーク フォルダに送信] 機能を完全に設定します。

ダイアログ 1: コントロールパネルでクイックセット名、説明、およびユーザー操作のためのオプションを設定します。

[コントロールパネルでクイックセットとユーザー操作のためのオプションのボタンの場所を設定します]ダイアログを使用して、[クイックセット]ボタンがプリンタのコントロールパネルのどこに表示されるかを設定し、プリンタのコントロールパネルでのユーザー操作のレベルを設定します。

1. [クイックセット名]フィールドにタイトルを入力します。

 **注記:** クイックセットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例: 「スキャンしてフォルダに保存」)。


2. [クイックセットの説明]フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。

3. [クイックセット開始オプション]リストから、次のいずれかのオプションを選択します。

- オプション 1: [アプリケーションに入ってからユーザーが[開始]を押します]
- オプション 2: [選択後、直ちに開始します]

以下のプロンプトから1つ選択してください。

- [原稿側のプロンプト]
- [追加ページのプロンプト]
- プレビューが必要

 **注記:** [選択後、直ちに開始します]が選択されている場合は、次の手順で宛先フォルダを入力する必要があります。

4. [次へ]をクリックします。

ダイアログ 2: フォルダ設定

[ファイル設定]ダイアログを使用して、スキャンした文書を送信するフォルダのタイプを設定します。

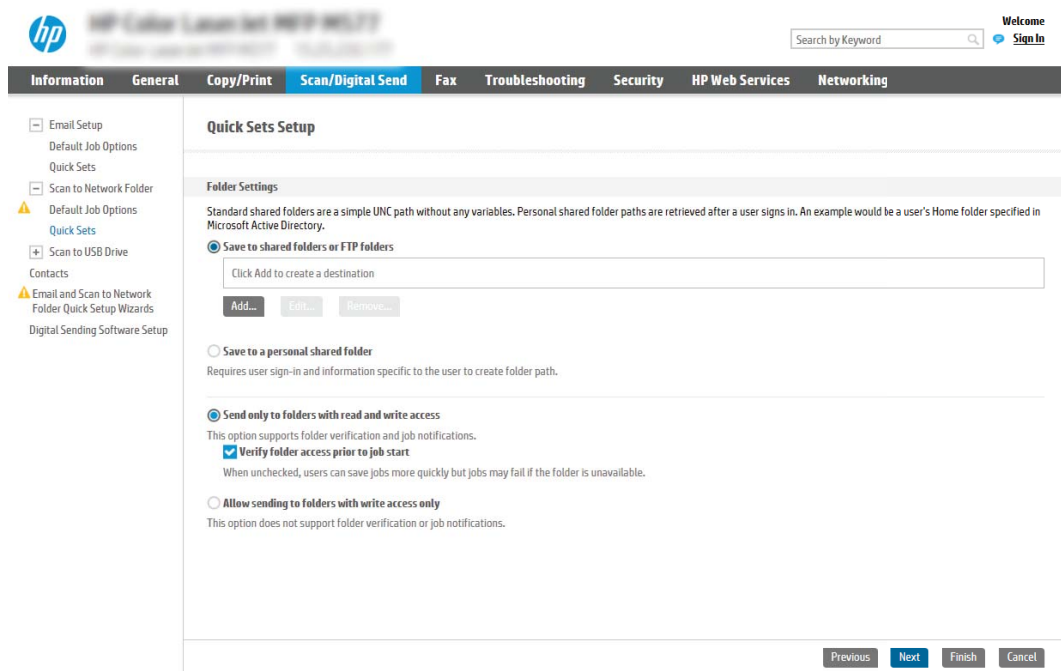
宛先フォルダは次の2つのタイプから選択できます。

- 共有フォルダまたはFTP フォルダ
- 個人用共有フォルダ

フォルダのアクセス権は次の2つのタイプから選択できます。

- 読み取り/書き込みアクセス権
- 書き込みアクセス権のみ

以下の情報では、フォルダ設定を構成する方法について説明します。



スキャンした文書の宛先フォルダの設定

オプション 1: 共有フォルダまたは FTP フォルダ

スキャンした文書を標準共有フォルダまたは FTP フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

1. まだ選択されていない場合は、**[共有フォルダまたは FTP フォルダに保存]** を選択します。
2. **[追加...]** をクリックします。**[ネットワーク フォルダ パスの追加]** ダイアログが開きます。
3. **[ネットワーク フォルダ パスの追加]** ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - オプション 1: **[標準共有ネットワーク フォルダに保存]**

注記 : 共有ネットワークフォルダの作成に関する詳細については、[共有フォルダの設定 \(c04431534\)](#) を参照してください。

1. まだ選択されていない場合は、**[標準共有ネットワークフォルダに保存]** を選択します。
2. **[UNC フォルダパス]** フィールドにフォルダパスを入力します。

フォルダパスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例 : \\servername.us.companyname.net \scans) またはサーバの IP アドレス (例 : \\16.88.20.20\scans) のいずれも可能です。FQDN または IP アドレスの後にフォルダパス (例 : \scans) を続けます。

注記 : FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。


3. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、**[カスタムサブフォルダ]** リストからサブフォルダ名の形式を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャンジョブを作成したユーザーに限定するには、**[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定]** を選択します。

4. スキャンした文書の完全なフォルダパスを表示するには、**[プレビューを更新]** をクリックします。
5. **[認証設定]** リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **[コントロールパネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]**
 - **[常にこれらの認証情報を使用する]**


注記 : **[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。


6. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。

 **注記** : Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、[スタート]、[コントロールパネル]、[システム]の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、[検索]をクリックし、検索ボックスに「システム」と入力し、[システム]をクリックします。


ドメインが[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]の下に一覧表示されます。

 **注記** : すべてのユーザーがアクセスできるように共有フォルダが設定されている場合、ワークグループ名(デフォルトは「Workgroup」です)、ユーザー名、およびパスワードの値を対応するフィールドに入力する必要があります。ただし、フォルダが公開フォルダでなく特定のユーザーのフォルダ内に存在する場合、そのユーザーのユーザー名とパスワードを使用する必要があります。

 **注記** : コンピュータ名の代わりに、IP アドレスが必要になる場合があります。多くのホームルーターではコンピュータ名を処理できることが少なく、ドメインネームサーバー(DNS)がありません。この場合、新しいIPアドレスを割り当てるDHCPの問題を軽減するため、共有PCに静的IPアドレスを設定することをお勧めします。通常のホームルーターでこの設定を行うには、同じサブネット上にあるがDHCPアドレス範囲内にならない静的IPアドレスを設定します。


7. [OK] をクリックします。

- オプション 2: FTP サーバに保存

 **注記** : FTP サイトがファイアウォールの外側にある場合は、ネットワーク設定でプロキシサーバを指定する必要があります。これらの設定は、[EWS ネットワーク] タブの [詳細設定] オプションの下にあります。

1. [FTP サーバに保存] を選択します。
2. [FTP サーバ] フィールドに FTP サーバ名または IP アドレスを入力します。


3. [ポート]フィールドにポート番号を入力します。

 **注記**：ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。


4. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、[カスタムサブフォルダ]リストからサブフォルダ名の形式を選択します。
5. スキャンした文書の完全なフォルダパスを表示するには、[プレビューを更新]をクリックします。
6. [FTP 転送モード]リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [パッシブ]
 - [アクティブ]
7. [ユーザー名]フィールドに、ユーザー名を入力します。
8. [パスワード]フィールドに、パスワードを入力します。
9. [アクセスの確認]をクリックして、宛先にアクセスできることを確認します。
10. [OK]をクリックします。

オプション 2: 個人用共有フォルダ

スキャンした文書を個人用共有フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

 **注記**：このオプションは、管理者が各ユーザーの共有フォルダを設定するドメイン環境で使用します。個人用共有フォルダに保存する機能が設定されている場合、ユーザーは Windows 認証情報または LDAP 認証を使用して、プリンタのコントロールパネルでサインインするように要求されます。

1. [個人用共有フォルダに保存]を選択します。
2. [この属性を使用してデバイスユーザーの名前を取得]フィールドに、Microsoft Active Directory でこのユーザーのホーム フォルダを入力します。

 **注記**：ユーザーがこのホーム フォルダのネットワーク上の場所を把握していることを確認します。


3. フォルダパスの末尾にユーザー名サブフォルダを追加するには、[ユーザー名に基づいてサブフォルダを作成]を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定]を選択します。


宛先フォルダのアクセス権の選択

オプション 1: 読み取り/書き込みアクセス権

スキャンした文書を読み取り/書き込みアクセス権が設定されたフォルダに送信するには、次の手順を実行します。

 **注記**：[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信]は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートします。


1. まだ選択されていない場合は、**[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信]**を選択します。
2. スキャンジョブを開始する前に、プリンタでフォルダアクセスの確認を行う必要がある場合は、**[ジョブ開始前のフォルダアクセスの確認]**を選択します。


 **注記:** **[ジョブ開始前のフォルダアクセスの確認]**が選択されていないほうが、スキャンジョブは迅速に完了できます。ただし、フォルダが利用できない場合は、スキャンジョブが失敗します。

3. **[次へ]**をクリックします。

オプション2: 書き込みアクセス権のみ

スキャンした文書を書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダに送信するには、以下の手順を実行します。

 **注記:** **[書き込みアクセス権のみを持つフォルダへの送信を許可]**は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートしません。


 **注記:** このオプションがオンになっていると、プリンタでスキャンファイル名のインクリメントは実行されません。すべてのスキャンに同じファイル名を送信します。

スキャンファイル名の時刻関連のファイル名プレフィックスまたはサフィックスを選択し、各スキャンが一意的なファイルとして保存され、前のファイルを上書きしないようにします。このファイル名は、クイックセットウィザードの**[ファイル設定]**ダイアログの情報によって指定されます。

1. **[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する]**を選択します。
2. **[次へ]**をクリックします。

ダイアログ3: 通知設定

- ▲ **[通知]**ダイアログで、次のいずれかのタスクを完了します。

 **注記:** 通知電子メールを送信するには、電子メールジョブを送信するためSMTPサーバを使用するようプリンタがセットアップされている必要があります。電子メールを送信するためのSMTPサーバの設定の詳細については、**[電子メールをスキャン]のセットアップ** (c04017973)を参照してください。

- オプション1:**[通知しない]**
 1. **[通知しない]**を選択します。
 2. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。
- オプション2:**[ジョブが完了した場合に通知]**
 1. **[ジョブの完了時に通知する]**を選択します。
 2. **[通知の送信に使用する方法]**リストから通知を送信する方法を選択します。
選択されている通知方法が**[電子メール]**である場合、**[通知電子メールアドレス]**フィールドに電子メールアドレスを入力します。

3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、[サムネイルを含める]を選択します。
 4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、[ジョブを開始する前にユーザーに通知]を選択し、[次へ]をクリックします。
- オプション3: [ジョブが失敗した場合にのみ通知]
 1. [ジョブの失敗時にのみ通知する]を選択します。
 2. [通知の送信に使用する方法] リストから通知を送信する方法を選択します。
 選択されている通知方法が[電子メール]である場合、[通知電子メールアドレス]フィールドに電子メールアドレスを入力します。
 3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、[サムネイルを含める]を選択します。
 4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、[ジョブを開始する前にユーザーに通知]を選択し、[次へ]をクリックします。

ダイアログ 4: スキャンの設定

[スキャン設定] ダイアログで、クイックセットのデフォルトのスキャン設定を設定し、[次へ]をクリックします。

[スキャン設定]:

機能	説明
[元のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[片面原稿/両面原稿]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦]または[横]。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

ダイアログ 5: ファイル設定

[ファイル設定] ダイアログで、クイックセットのデフォルトのファイル設定を設定し、[次へ]をクリックします。

[ファイル設定] :

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、 [プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加(例: _1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[高圧縮(小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。
[空白ページの削除]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[メタデータファイル形式]	ドロップダウンリストを使用して、メタデータ情報のファイル形式を選択します。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

ダイアログ 6: サマリ

[概要] ダイアログで、**[概要]** ダイアログを確認し、**[終了]** をクリックします。

手順 3：設定の完了

1. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[スキャン データをネットワーク フォルダに送信]** をクリックします。
2. **[スキャン データをネットワーク フォルダに送信]** ページで、選択されている設定を確認し、**[適用]** をクリックしてセットアップを完了します。

[スキャンして SharePoint® に保存] のセットアップ

- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) にアクセス](#)
- [手順 2: \[スキャンして SharePoint® に保存\] の有効化および \[スキャンして SharePoint に保存\] クイックセットの作成](#)
- [クイックセットのスキャン設定および \[スキャンして SharePoint® に保存\] のオプション](#)

はじめに

[スキャンして SharePoint® に保存] を使用して、文書をスキャンして直接 Microsoft® SharePoint サイトに送ります。この機能により、文書をネットワーク フォルダ、USB フラッシュドライブ、または電子メールメッセージにスキャンして、ファイルを手動で SharePoint サイトにアップロードする手間がかかりません。

[スキャンして SharePoint® に保存] は、文書をイメージとしてスキャンする機能や、OCR 機能を使ってテキストファイルまたはサーチャブル PDF を作成する機能など、すべてのスキャン オプションをサポートします。

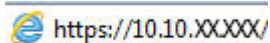
この機能は、デフォルトで無効です。HP 内蔵 Web サーバ (EWS) で [スキャンして SharePoint® に保存] を有効にします。


作業を開始する前に

この手順を完了する前に、スキャン ファイルが保存される宛先フォルダが SharePoint サイトに存在し、宛先フォルダに書き込みのアクセス許可を有効にする必要があります。[スキャンして SharePoint® に保存] はデフォルトでは無効になっています。

手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

1. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、情報 ⓘ アイコン、ネットワーク 🖨️ アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


 <https://10.10.XX.XXX/>

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

手順 2: [スキャンして SharePoint® に保存] の有効化および [スキャンして SharePoint に保存] クイックセットの作成


[スキャンして SharePoint に保存] 機能を有効にして [スキャンして SharePoint に保存] クイックセットを作成するには、次の手順を実行します。


1. 上部ナビゲーションタブを使用して、**[スキャン/デジタル送信]** をクリックします。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[スキャンして SharePoint® に保存]** をクリックします。

 **注記** : クイック セット は、プリンタのホーム画面または**[クイック セット]** アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。

3. **[スキャンして SharePoint® に保存を有効化]** チェック ボックスをオンにして、**[追加...]** をクリックします。
4. **[クイック セット名]** (「Sharepoint にスキャン」 など) と **[クイック セットの説明]** を入力します。
5. **[クイック セット開始オプション]** を選択して、プリンタのコントロールパネルでクイック セットを選択した後の動作を決定し、**[次へ]** ボタンをクリックします。
6. SharePoint フォルダへのパスを追加するには、次の手順を実行します。

- a. **[SharePoint® の宛先]** ページで **[追加]** をクリックし、**[SharePoint® パスの追加]** ページを開きます。
- b. 別のブラウザ ウィンドウを開き、使用する SharePoint フォルダに移動して、ブラウザ ウィンドウから SharePoint フォルダのフォルダ パスをコピーします。
- c. SharePoint フォルダのパスを **[SharePoint® パス :]** フィールドに入力します。
- d. デフォルトでは、新しいファイルと同じファイル名の既存のファイルは上書きされます。**[既存のファイルを上書きします]** をオフにすると、既存のファイルと同じ名前の新しいファイルには、更新された日時のタイムスタンプが付きます。
- e. **[認証設定]** ドロップダウン メニューからオプションを選択します。認証情報を使用して SharePoint サイトにサインインする必要がある、またはクイック セット内に認証情報を保存するのいずれかを選択します。

 **注記** : **[認証設定]** ドロップダウン メニューで **[コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択した場合、ログインするユーザーは指定された SharePoint サイトへの書き込みアクセス権を持っている必要があります。


 **注記** : セキュリティ上の理由により、クイック セット ウィザードに入力された認証情報はプリンタに表示されません。

- f. **[OK]** をクリックして SharePoint パスのセットアップを完了し、**[SharePoint の宛先設定]** ページに戻ります。
7. **[ジョブの開始前にフォルダ アクセスを確認]** を選択し、クイック セットを使用するたびに宛先フォルダにアクセスできるように、SharePoint フォルダが指定されていることを確認します。このオプションが選択されていない場合は、ジョブを SharePoint フォルダにより高速に保存できません。ただし、このオプションが選択されておらず、さらに SharePoint フォルダにアクセスできない場合はジョブが失敗します。
 8. **[次へ]** をクリックします。
 9. **[通知するときの条件 :]** を **[通知]** ページで設定します。この設定ではクイックセットを構成し、ジョブが正常に完了した、または失敗した際に通知しないようにするか、電子メール メッセージを送信したり概要ページを印刷するようにします。**[通知するときの条件 :]** ドロップダウン メニューから、次のオプションの1つを選択します。


- ジョブが正常に完了した場合または失敗した場合に、クイックセットで通知処理を実行しないようにするには、**[通知しない]**を選択します。
- ジョブが正常に完了した場合にクイックセットで通知を送信するようにするには、**[ジョブが完了した場合に通知]**を選択します。
- ジョブが失敗した場合にのみクイックセットで通知を送信するようにするには、**[ジョブが失敗した場合にのみ通知]**を選択します。

[ジョブが完了した場合に通知]または[ジョブが失敗した場合にのみ通知]のどちらかを選択するには、**[通知の配信方法:]**を設定する必要があります。以下のオプションのどれかを選択します。

- **[電子メール]**: 選択した通知条件が発生した場合は、このオプションを使用して電子メールを送信します。このオプションでは、**[通知電子メールアドレス:]**フィールドに有効な電子メールアドレスが指定されている必要があります。フィールドに入力します。

 **注記**: 電子メール通知機能を使用するには、最初にプリンタで電子メール機能を設定します。

- **[印刷]**: 選択した通知条件が発生した場合は、このオプションを使用して通知を印刷します。

 **注記**: いずれかの通知オプションに、ジョブのスキャンページの最初のページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]**を選択します。

10. **[次へ]**をクリックします。
11. **[スキャン設定]** ページでオプションを選択し、**[次へ]**をクリックします。詳細については、表「[スキャンして SharePoint® に保存] のスキャン設定」を参照してください。
12. **[ファイル設定]** ページでオプションを選択し、**[次へ]**をクリックします。詳細については、表「[スキャンして SharePoint® に保存] のファイル設定」を参照してください。
13. 設定の概要を確認し、**[終了]** ボタンをクリックしてクイックセットを保存するか、**[前へ]** ボタンをクリックして設定を編集します。

クイックセットのスキャン設定および[スキャンして SharePoint® に保存]のオプション

次の表は、[スキャンして SharePoint® に保存]のクイックセットを追加、編集、またはコピーする場合に[クイックセットウィザード]で利用可能な設定とオプションを示します。

表 6-1 [スキャンして SharePoint® に保存] のスキャン設定

機能	説明
[元のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[片面原稿/両面原稿]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。 [縦] または [横] 。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。

表 6-1 [スキャンして SharePoint® に保存] のスキャン設定 (続き)

機能	説明
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

表 6-2 [スキャンして SharePoint に保存] のファイル設定

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	保存するファイルに使用するデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	保存するファイルに使用するデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、 [プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加 (例: _1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。

表 6-2 [スキャンして SharePoint に保存] のファイル設定 (続き)

機能	説明
[空白ページの削除]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した 1 ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ

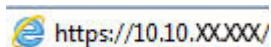
- [はじめに](#)
- [手順1：HP 内蔵 Web サーバへのアクセス](#)
- [手順2：\[スキャンして USB ドライブに保存\] の有効化](#)
- [手順3：クイックセットの設定 \(オプション\)](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\] のセットアップのデフォルトのスキャン設定](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\] のセットアップのデフォルトのファイル設定](#)


はじめに

このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータを USB フラッシュドライブに保存する機能を備えています。HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を通じて設定するまで、この機能は使用できません。

手順1：HP 内蔵 Web サーバへのアクセス


1. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、情報 ⓘ アイコン、ネットワーク 🌐 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 `https://10.10.XX.XXX/`


 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

手順2：[スキャンして USB ドライブに保存] の有効化

1. [セキュリティ] タブを選択します。
2. [ハードウェア ポート] までスクロールして、[ホスト USB プラグアンドプレイを有効にする] が有効になっているかどうかを確認します。
3. [スキャン/デジタル送信] タブを選択します。
4. [スキャンして USB ドライブに保存を有効化] チェック ボックスを選択します。
5. ページ下端にある [適用] をクリックします。

 **注記:** ほとんどのデバイスはハードディスクドライブ (HDD) がインストールされた状態で出荷されます。場合によっては、USB を介して追加のストレージデバイスを追加することもできます。[スキャンして USB ドライブに保存] 機能を USB およびハードドライブに展開する必要があるか確認します。


手順3：クイックセットの設定(オプション)


 **注記：**クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセットアプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。

1. 左側のナビゲーションウィンドウの[スキャンしてUSBドライブに保存]領域で、[クイックセット]をクリックします。
2. 以下のオプションから1つ選択してください。
 - 表のクイックセットアプリケーションで既存のクイックセットを選択します。
-または-
 - [追加]をクリックし、[クイックセット]ウィザードを開始します。
3. [追加]を選択すると、[クイックセット設定]ページが開きます。次の情報を入力し、[次へ]をクリックします。
 - [クイックセット名]: 新しいクイックセットのタイトルを入力します。
 - [クイックセットの説明]: クイックセットの説明を入力します。
 - [クイックセット開始オプション]: クイックセットの開始方法を設定するには、[ユーザーは、アプリケーションに入って[スタート]を押します]または[ホーム画面での選択後、直ちに開始します]のいずれかをクリックします。
4. コントロールパネルのUSBポートに挿入されているUSBストレージデバイスにスキャンしたファイルを保存するデフォルトの場所を選択し、[次へ]をクリックします。デフォルトの場所のオプションは次のとおりです。
 - [USBストレージデバイスのルートディレクトリに保存します]
 - [USBストレージデバイス上のこのフォルダ内に作成するか、配置します]—このファイルの場所のオプションを使用する場合は、USBストレージデバイスのフォルダパスを指定する必要があります。パスのフォルダ名\サブフォルダ名を区切るには、バックスラッシュ\を使用する必要があります。
5. [通知するときの条件:] ドロップダウンリストからオプションを選択し、[次へ]をクリックします。

[スキャンしてUSBドライブに保存]クイックセットジョブが完了または失敗した場合に、ユーザーに通知されるかどうかやどのように通知されるかは、この設定で決まります。[通知するときの条件:]設定のオプションは、次のとおりです。

 - [通知しない]
 - [ジョブが完了した場合に通知]
 - [ジョブが失敗した場合にのみ通知]
6. クイックセットの[スキャン設定]を選択して、[次へ]をクリックします。

 **注記：**使用可能なスキャン設定の詳細については、「[スキャンしてUSBドライブに保存]のセットアップのデフォルトのスキャン設定」を参照してください。
7. クイックセットの[ファイル設定]を選択して、[次へ]をクリックします。

 **注記**：使用可能なファイル設定の詳細については、「[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのファイル設定」を参照してください。

8. 設定の概要を確認し、**[終了]** をクリックしてクイックセットを保存するか、**[前へ]** をクリックして設定を編集します。

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのスキャン設定

表 6-3 [スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのスキャン設定：

機能	説明
[元のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[片面原稿/両面原稿]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。 [縦] または [横] 。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのファイル設定

表 6-4 [スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのファイル設定：

オプション名	説明
[ファイル名プレフィックス]	保存するファイルのデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名を設定します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	保存するファイルのデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT


表 6-4 [スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのファイル設定：(続き)

オプション名	説明
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、 [プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加 (例：_1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプが PDF の場合、出力 PDF ファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでファイルを保存するかを指定します。
[空白ページの削除]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

スキャンして電子メールで送信


はじめに

このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャンデータを1つ以上の電子メールアドレスに送信する機能を備えています。


 **注記：** スキャンして電子メールで送信する前に、プリンタ管理者またはIT部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。

スキャンして電子メールで送信

1. 文書をスキャナ ガラスに下向きにセットするか文書フィーダに上向きにセットし、文書のサイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** を選択し、次に **スキャンして電子メールで送信** を選択します。


 **注記：** プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

3. **宛先** フィールドをタッチしてキーボードを開きます。



 **注記：** プリンタにサインインしている場合、ユーザー名などのデフォルト情報が **差出人** フィールドに表示されることがあります。この場合、その情報を変更できないことがあります。


4. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。

アドレスを手動で入力する

- ▲ **[宛先]** フィールドにアドレスを入力します。複数の電子メールアドレスに送信する場合は、アドレス間をセミコロンで区切るか、または各アドレスの入力後にタッチスクリーン キーボードの Enter  ボタンを選択します。

連絡先リストからアドレスを入力する



- a. **[宛先]** フィールドの横にある **[連絡先]**  ボタンを選択して、**[連絡先]** 画面を開きます。
 - b. 適切な連絡先リストを選択します。
 - c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、**追加** を選択します。
5. フィールドにタッチし、タッチスクリーンキーボードを使用して、**件名**、**ファイル名**、および **メッセージ** フィールドに情報を入力します。キーボードを閉じる必要があるときは、**[閉じる]**  ボタンを選択します。
 6. クイックセットをロードするには、**ロード**、**[クイックセット]** の順に選択し、**クイックセット** リストで、**ロード** を選択します。

 **注記：** **クイックセット** は、**テキスト**、**写真**、**高品質** など、さまざまなタイプの出力用にあらかじめ定義された設定です。**[クイックセット]** を選択すると、説明を表示することができます。

7. **ファイルのタイプと解像度**、**片面原稿/両面原稿**、**内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。

8. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビューペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-5 プレビュー パネルの制御



展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-6 プレビュー ボタン

ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトします。 注記： これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180°回転します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記： これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	

表 6-6 プレビュー ボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

9. 文書の準備が整ったら、**送信** を選択して電子メールで送信します。


 **注記** : 連絡先リストに電子メールアドレスを追加するよう指示される場合があります。

スキャンしてジョブ保存

- [はじめに](#)
- [スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する](#)
- [プリンタのジョブ保存からの印刷](#)

はじめに


このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをプリンタのジョブ保存フォルダに保存する機能を備えています。必要に応じて、プリンタから文書を取得して印刷できます。

 **注記：** スキャンしてプリンタの保存フォルダに送信する前に、プリンタ管理者またはIT部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。


スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する

次の手順に従って、文書をスキャンしてプリンタのジョブ保存フォルダに保存します。これにより、いつでもコピー文書を印刷できます。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** を選択し、次に **スキャンしてジョブ保存** を選択します。

 **注記：** ユーザー名とパスワードの確認メッセージが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

3. **フォルダ** に表示されている、デフォルトの保存フォルダ名を選択します。

 **注記：** プリンタの管理者がオプションを設定している場合は、新しいフォルダを作成できます。以下の手順に従って、新しいフォルダを作成します。






- a. **新規フォルダ**  アイコンを選択します。
 - b. **新規フォルダ** フィールドを選択して、フォルダ名を入力し、**OK** を選択します。
4. 適切なフォルダを選択していることを確認します。
 5. **[ジョブ名]** テキストフィールドをタッチしてタッチスクリーンキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、Enter  ボタンを選択します。
 6. ジョブをプライベートにするには、**[PIN]**  ボタンを選択し、**PIN** フィールドに4桁のPINを入力してから、タッチスクリーンキーパッドを閉じます。
 7. **面** および **内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。メッセージが表示されたら、各設定で **実行** を選択します。
 8. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビューペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-7 プレビュー パネルの制御



展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-8 プレビュー ボタン

ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトします。 注記: これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180°回転します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記: これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	


表 6-8 プレビュー ボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

9. 文書の準備が整ったら、**保存** を選択してストレージフォルダへファイルを保存します。

プリンタのジョブ保存からの印刷


以下の手順に従って、プリンタのジョブ保存フォルダにあるスキャン済み文書を印刷します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** を選択し、次に **ジョブ保存から印刷** を選択します。
2. **印刷する保存済みジョブ** の下で **選択** を選択し、文書が保存されているフォルダを選択し、文書を選択してから、**選択** を選択します。
3. 文書がプライベートの場合は、**パスワード** フィールドに4桁のPINを入力し、**OK** を選択します。
4. 部数を調整するには、**印刷** ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピーの部数を選択します。キーパッドを閉じるには、**[閉じる]**  ボタンを選択します。
5. **印刷** を選択して、文書を印刷します。


スキャンデータをネットワークフォルダに送信

はじめに


ファイルをスキャンし、そのデータをネットワークの共有フォルダに保存できます。


 **注記** : スキャンしてネットワークフォルダに送信する前に、プリンタ管理者またはIT部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と共有フォルダの設定を行う必要があります。


スキャンデータをネットワークフォルダに送信

 **注記** : この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** を選択し、次に **スキャンデータをネットワークフォルダに送信** を選択します。
3. フォルダの宛先を指定します。フォルダ オプションは最初にプリンタ管理者によって設定される必要があります。

- 管理者がすでにセットアップしたフォルダの場所を選択するには、**クイックセットとデフォルト** の下で **ロード** を選択し、フォルダを選択してから **ロード** を選択します。
- 新しいフォルダの場所を指定するには、**[フォルダパス]** フィールドをタッチしてタッチスクリーンキーボードを開き、フォルダへのパスを入力して、Enter  ボタンを選択します。要求された場合は、ユーザーの認証情報を入力して **保存** を選択し、パスを保存します。

 **注記** : パス名には次の形式を使用します : \\server\folder。「server」部分には共有フォルダをホストするサーバの名前、「folder」部分には共有フォルダの名前が表示されます。フォルダが他のフォルダ内にネストされている場合は、フォルダへのアクセスに必要なすべてパスのセグメントを指定します。たとえば、\\server\folder\folder

 **注記** : **[フォルダパス]** フィールドには、事前定義パスが設定されており、編集できない場合があります。この場合、このフォルダは、管理者により共通アクセス用として設定されています。




4. **[ファイル名]** テキストフィールドをタッチしてタッチスクリーンキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、Enter  ボタンを選択します。
5. **ファイルのタイプと解像度**、**片面原稿/両面原稿**、**内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。メッセージが表示されたら、各設定で **実行** を選択します。
6. オプションのプレビュー : 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビューペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-9 プレビュー パネルの制御



展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-10 プレビュー ボタン

ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトします。 注記: これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180°回転します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内でページの順序を変更します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記: これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	

表 6-10 プレビュー ボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。


7. 文書の準備が整ったら、[送信](#) を選択してネットワーク フォルダへファイルを保存します。

スキャンして SharePoint デバイスに保存する

はじめに


ワークフロー搭載型のプリンタを使用している場合は、文書をスキャンして Microsoft® SharePoint サイトに送信できます。この機能により、文書をネットワーク フォルダ、USB フラッシュドライブ、または電子メール メッセージにスキャンして、ファイルを手動で SharePoint サイトにアップロードする手間がかかりません。

[スキャンして SharePoint® に保存] は、文書をイメージとしてスキャンする機能や、OCR 機能を使ってテキストファイルまたはサーチャブル PDF を作成する機能など、すべてのスキャン オプションをサポートします。

 **注記**：スキャンして SharePoint に送信する前に、プリンタ管理者または IT 部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。

スキャンして SharePoint デバイスに保存する

1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** を選択し、次に **スキャンして SharePoint® に保存** を選択します。

 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。




3. クイックセットを選択するには、**クイックセット**の **選択** をタッチし、クイックセットを選択して **ロード** を選択します。
4. **ファイル名**： を選択します。テキスト フィールドを選択してキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、**Enter**  ボタンを選択します。
5. **ファイルのタイプと解像度、面、内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。
6. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-11 プレビュー パネルの制御

展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-12 プレビュー ボタン


ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトします。 注記： これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180°回転します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内でページの順序を変更します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記： これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	
	文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

7. 文書の準備が整ったら、[送信](#) を選択して SharePoint の場所にファイルを保存します。


スキャンして USB ドライブに保存

はじめに

このプリンタでは、ファイルをスキャンして USB フラッシュドライブに保存することができます。

 **注記**：スキャンして USB ドライブに送信する前に、プリンタ管理者または IT 部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。

スキャンして USB ドライブに保存

 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。




1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. USB ドライブをプリンタのコントロールパネル付近の USB ポートに挿入します。
3. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** を選択し、次に **スキャンして USB ドライブに保存** を選択します。
4. **排紙先** で USB ドライブを選択し、次に保存場所 (USB ドライブのルートまたは既存のフォルダ) を選択します。
5. **[ファイル名]** テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、ファイルの名前を入力し、Enter  ボタンを選択します。
6. **ファイルのタイプと解像度**、**片面原稿/両面原稿**、**内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。
7. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-13 プレビュー パネルの制御

展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-14 プレビュー ボタン

ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトします。 注記： これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180°回転します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除します。 注記： このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内でページの順序を変更します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記： これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	
	文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

8. 文書の準備が整ったら、**保存** を選択して USB ドライブにファイルを保存します。

スキャン時のその他のオプション

スキャンを実行する際、**オプション** リストから次の設定を選択できます。


 **注記**：次のリストには、HP Enterprise MFP プリンタで使用できるオプションのマスタ セットが記載されています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

表 6-15 スキャンオプション

[Option (オプション)]	説明
ファイルタイプと解像度	<p data-bbox="555 489 1244 531">スキャンした文書を、ファイルタイプを指定して保存できます。</p> <p data-bbox="555 541 1125 583">次のような標準的なファイルタイプを使用できます。</p> <ul data-bbox="555 594 1442 1161" style="list-style-type: none"><li data-bbox="555 594 1442 678">● PDF：このファイルタイプを選択すると、最適なイメージ品質とテキスト品質が得られます。PDF ファイルの表示には、Adobe® Acrobat® Reader ソフトウェアが必要です。<li data-bbox="555 699 1442 814">● JPEG：このファイルタイプを選択すると、ほとんどのグラフィックで最適な結果が得られます。JPEG ファイルは、ほとんどのコンピュータのブラウザで表示できます。このファイルタイプでは、1 ページに対して 1 ファイルずつ生成されます。<li data-bbox="555 835 1442 930">● TIFF：これは、数多くのグラフィック プログラムがサポートしている標準的なファイル形式です。このファイルタイプでは、1 ページに対して 1 ファイルずつ生成されます。<li data-bbox="555 951 1442 1014">● MTIFF：MTIFF は、マルチページ TIFF のことです。このファイルタイプでは、スキャンした複数のページを 1 つのファイルに保存できます。<li data-bbox="555 1035 1442 1098">● XPS：XPS (XML Paper Specification) は、文書の元のフォーマットを維持し、カラーグラフィックと内蔵フォントをサポートする XAML ファイルを作成します。<li data-bbox="555 1119 1442 1161">● PDF/A：PDF/A は、電子文書の長期にわたる保管のために設計された PDF のタイプです。文書のすべてのフォーマット情報は、内蔵型です。 <p data-bbox="555 1182 1442 1245">デジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバに接続している HP Enterprise Flow MFP プリンタ、または MFP プリンタは、次の OCR ファイルタイプもサポートします。</p> <ul data-bbox="555 1266 1442 1314" style="list-style-type: none"><li data-bbox="555 1266 1442 1314">● テキスト (OCR)：テキスト (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して元の文書をスキャンすることによって、テキストファイルを作成します。テキストフ

表 6-15 スキャンオプション (続き)

[Option (オプション)]	説明
	<p>ファイルは任意のワープロプログラムで開くことができます。このオプションでは、元の文書のフォーマットは保存されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Unicode テキスト (OCR) : Unicode テキスト (OCR) は、テキストを確実に表示および操作するために使用される業界標準です。このファイルタイプは、インターナショナルライズおよびローカライズに適しています。 ● RTF (OCR) : RTF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して元の文書をスキャンすることによって、リッチテキストフォーマット (RTF) を作成します。RTF は、ほとんどのワープロプログラムで開くことができる代替のテキスト形式です。このオプションでは、元の文書のフォーマットの一部が保存されます。 ● サーチャブル PDF (OCR) : サーチャブル PDF (OCR) は、光学式文字認識 (OCR) を使用して元の文書をスキャンすることによって、検索可能な PDF ファイルを作成します。この方法でスキャンした文書では、Adobe Acrobat® Reader の検索ツールを使って PDF 内の特定の単語または句を検索することができます。 ● サーチャブル PDF/A (OCR) : サーチャブル PDF/A (OCR) は、文書構造に関する情報を含む PDF/A ファイルのタイプです。この情報によりコンテンツを検索できます。 ● HTML (OCR) : HTML (OCR) は、元の文書のコンテンツを含んだハイパーテキストマークアップ言語 (HTML) ファイルを作成します。HTML は Web サイト上でファイルを表示するために使用されます。 ● CSV (OCR) : CSV (OCR) は、共通のテキストファイル形式で、カンマ区切りの値が含まれます。このタイプのファイルは、ほとんどのワープロ、表計算、またはデータベースプログラムで開くことができます。 <p>DSS サーバに接続している MFP プリンタは、デジタル送信ジョブで次の OCR ファイルタイプもサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● XML (OCR): 説明が必要。 ● サーチャブル XPS (OCR): 説明が必要。
片面原稿/両面原稿	元の原稿が片面または両面のどちらかで印刷されているかを指定します。
カラー/モノクロ	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでイメージをスキャンするかを指定します。 カラー プリンタのみ。
スキャンモード	<p>標準文書 : 文書フィーダを使用してページまたはページの束をスキャンするか、またはスキャナ ガラスで 1 枚ずつページをスキャンします。</p> <p>ブックモード : 開いた本をスキャンし、本の各ページを別々のページに出力します。</p> <p>両面 ID コピー : スキャナ ガラスで ID カードの各面をスキャンし、1 ページに出力します。最初の面をスキャンした後、プリンタには裏面をガラスの適切な位置に配置するようにメッセージが表示されます。</p>
注記: この機能は、すべてのファームウェアバージョンで使用できるわけではありません。この機能を使用するには、プリンタのファームウェア更新が必要な場合があります。	
解像度	スキャンするイメージの解像度を指定できます。高い解像度を指定するほど、イメージの鮮明度が向上します。ただし、解像度を上げるとファイルサイズも大きくなります。
元のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
内容の向き	原稿を印刷する向き(縦または横)を指定します。

表 6-15 スキャンオプション(続き)

[Option (オプション)]	説明
イメージ調整	<p>シャープネス：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。</p> <p>濃度：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。</p> <p>コントラスト：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。</p> <p>背景の除去：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。</p> <p>自動トーン：Flow プリンタのみ。濃さ、コントラスト、および背景の除去の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。</p>
テキスト/画像の最適化	<p>スキャン中の次の画像タイプに合わせてジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。</p>
エッジの消去	<p>スキャンしたイメージのエッジをクリーニングして、黒いフチやステイプル跡などの不良を消します。</p>
トリミングオプション	<p>原稿サイズにトリミング：原稿の用紙サイズに合わせてイメージをトリミングします。</p> <p>内容部分までトリミング：原稿の検出可能な内容のサイズに合わせてイメージをトリミングします。</p>
用紙の自動矯正	<p>スキャンした画像の歪みを自動的に補正します。</p>
空白のページの削除	<p>スキャンするイメージから原稿内の空白ページを除外できます。この機能は、文書内の空白ページを除去できるため、両面印刷されたページをスキャンするときに便利です。</p>
複数ページの給紙の検出	<p>複数ページの給紙の検出を有効または無効にします。有効に設定すると、プリンタが文書フィーダで一度に複数ページが給紙されていることを検出した場合、スキャンを停止します。無効に設定すると、複数ページが給紙されていることが検出されてもスキャンは続行するため、用紙同士が張り付いている場合、原稿に付箋紙が付いている場合、厚手の用紙を使用している場合などでもページをスキャンできます。</p>
複数のファイルの作成	<p>大規模なスキャンジョブを複数の小さな出力ファイルに分割します。</p>
通知	<p>スキャンジョブのステータスに関する通知を送信するかどうかを選択します。通知は、印刷するか、電子メールで送信できます。</p>
署名と暗号化	<p>署名：デジタル署名付き電子メールを送信します。</p> <p>暗号化する：電子メールを暗号化ファイルとして送信します。</p>
<p>注記：この機能は、[スキャンして電子メールで送信]のみでサポートされます。</p>	

HP JetAdvantage ビジネスソリューション

HP JetAdvantage ソリューションは、ネットワークとクラウドの両方を活用して簡単に利用できるワークフロー/印刷ソリューションです。HP JetAdvantage ソリューションは、ヘルスケア、金融サービス、製造、公共機関など、あらゆる業種に対応しており、多くのプリンタとスキャナを管理できます。

HP JetAdvantage ソリューションには、次のような製品があります。

- HP JetAdvantage セキュリティ ソリューション
- HP JetAdvantage Management ソリューション
- HP JetAdvantage ワークフロー ソリューション
- HP JetAdvantage モバイル印刷ソリューション

ビジネス向け HP JetAdvantage ワークフロー/印刷ソリューションについての詳細は、www.hp.com/go/PrintSolutions を参照してください。

補足的なスキャンタスク

www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

たとえば、次のようなスキャンタスクの実行手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- IDカードの両面のコピーまたはスキャン
- ブックレット形式での文書のコピーまたはスキャン

7 ファックス

- [ファックスのセットアップ](#)
- [ファックス設定の変更](#)
- [ファックスの送信](#)
- [補足的なファックスタスク](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索


ファックスのセットアップ

はじめに

この情報は、ファックスおよびFlow モデル、またはオプションのアナログファックスアクセサリが取り付けられたその他のプリンタに適用されます。次に進む前に、プリンタを電話回線に接続するか(アナログファックスの場合)、インターネットまたはネットワークファックスサービスに接続します。


プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **ファクス**
 - b. **内蔵ファックスモデムのセットアップ**

 **注記:** **内蔵ファックスモデムのセットアップ** メニューがメニューリストに表示されない場合は、LANファックスまたはインターネットファックスが有効になっている可能性があります。LANファックスまたはインターネットファックスを有効にすると、アナログファックスアクセサリが無効になり、**内蔵ファックスモデムのセットアップ** メニューは表示されません。LANファックス、アナログファックス、またはインターネットファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。LANファックスが有効なときにアナログファックスを使用するには、HP内蔵Webサーバを使用してLANファックスを無効にします。

3. 画面の右側のリストから場所を選択し、**次へ** を選択します。
4. **会社名** テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して会社名を入力します。
5. **ファックス番号** テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して送信側のファックス番号を入力します。**次へ** を選択します。
6. データと時間の設定が正しいか確認します。必要に応じて変更し、**次へ** を選択します。
7. ファックスの送信にダイヤルプレフィックスが必要な場合は、**ダイヤルプレフィックス** テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して番号を入力します。
8. 左側ペインのすべての情報を確認し、**終了** を選択して、ファックスのセットアップを完了します。

ファックス設定の変更

 **注記** : コントロールパネルを使用して指定した設定は、HP 内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先されます。

- [ファックスダイアル設定](#)
- [全般的なファックス送信設定](#)
- [ファックス受信設定](#)

ファックスダイアル設定

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **ファクス**
 - b. **ファックス送信設定**
 - c. **ファックスダイアル設定**

次の設定のいずれかを設定して、**実行** を選択します。

メニュー項目	説明
エラー発生時のリダイヤル	エラー発生時のリダイヤル機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。
無応答時のリダイヤル回数	無応答時のリダイヤル回数設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、場所の設定に応じて0~1(米国で使用)または0~2のいずれかです。リダイヤルの間隔は[リダイヤルの間隔]設定で設定します。
通話中の場合のリダイヤル	通話中の場合のリダイヤル設定では、通話中の場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数(0~9)を選択します。リダイヤルの間隔は[リダイヤルの間隔]設定で設定します。
リダイヤルの間隔	リダイヤル間隔設定では、ダイヤルした番号が通話中または応答しない場合、またはエラーが発生した場合のリダイヤル間隔を分単位で選択します。 注記 : 通話中の場合のリダイヤルと無応答時のリダイヤル回数の両方をオフに設定すると、コントロールパネルにリダイヤルメッセージが表示される場合があります。このエラーは、ファックス アクセサリが番号をダイヤルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラー状況の結果として、ファックス アクセサリはリダイヤル設定に関係なくリダイヤルを自動的に3回試行します。このリダイヤル操作中に、リダイヤル中であることを示すメッセージがコントロールパネルに表示されます。

メニュー項目	説明
ファックス送信速度	ファックスの送信速度設定では、ファックス送信時のアナログファックスモデムのモデムビットレート(ビット/秒)を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 高速 (v.34 - 33.6k) ● 標準 (v.17 - 14.4k) ● 低速 (v.29 - 9.6k)
回線モニタ音量	ファックスの送信時にプリンタのダイヤル音量レベルを設定するには、回線モニタ音量設定を使用します。
ダイヤルモード	ダイヤルモード設定では、使用するダイヤルタイプをトーン(プッシュホン)またはパルス(ダイヤル式電話)のいずれかに設定します。
プレフィックスのダイヤル	ダイヤルプレフィックス設定では、ダイヤル時の局番(外線発信時の「9」など)を入力できます。ダイヤル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。
ダイヤルトーンを検出	ダイヤルトーンを検出設定では、ファックスを送信する前にダイヤルトーンを確認するかどうかを決定します。

一般的なファックス送信設定

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、設定アプリケーションに移動し、設定アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. ファクス
 - b. ファックス送信設定
 - c. 一般的なファックス送信設定

次の設定のいずれかを設定して、実行を選択します。

メニュー項目	説明
ファックス番号の確認	ファックス番号の確認機能が有効になっている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を2回入力する必要があります。この機能は、デフォルトで無効です。
PCファックス送信	PCからファックスを送信するには、PCファックス送信機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっている。

メニュー項目	説明
エラー修正モード	<p>通常、ファックス アクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー修正モード設定がオンになっている場合にファックス アクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。</p> <p>デフォルトでは、エラー修正モード機能が有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質品質の低下を許容する場合にのみオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。</p> <p>注記：一部のVoIP プロバイダは、エラー修正モード設定を無効に設定するように推奨しています。しかし、通常、この操作は不要です。</p>
ファックスヘッダ	<p>ファックスヘッダ機能を使用して、先頭にヘッダを付加して内容を下に下げるか、前のヘッダにヘッダをオーバーレイするかを設定します。</p>

ファックス受信設定

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定**アプリケーションに移動し、**設定**アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **ファックス**
 - b. **ファックス受信設定**
 - c. **ファックス受信のセットアップ**

次の設定のいずれかを設定して、**実行**を選択します。


メニュー項目	説明
予約モード	<p>予約モード設定は、ファックス アクセサリがファックス ジョブを受信する方法を決定します。以下のオプションから1つ選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動 ● TAM ● Fax/Tel ● 手動
応答するまでの呼び出し回数	<p>応答するまでの呼び出し回数設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。</p> <p>注記：応答するまでの呼び出し回数設定で選択可能なオプションのデフォルト範囲は、場所によって異なります。対応する応答するまでの呼び出し回数オプションの範囲は、場所によって制限されます。</p> <p>ファックス アクセサリが応答せず、応答するまでの呼び出し回数が1に設定されている場合は、2の設定を試してください。</p>
呼び出し音量	<p>呼び出し音量設定を使用すると、呼び出し音量を調整できます。</p>

メニュー項目	説明
ファックス受信速度	<p>ファックスの受信速度 ドロップダウン メニューをタッチして、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高速 (v.34 - 33.6k) ● 標準 (v.17 - 14.4k) ● 低速 (v.29 - 9.6k)
内線電話	この設定では、ファックス機能と同時に別の電話を使用することができます。
再印刷の許可	この設定では、受信したファックスを再印刷することができます。
PC に受信	この設定では、コンピュータで直接ファックスを受信できます。
ファックスポーリング	この設定では、ファックスのポーリング機能を有効または無効にできます。
Fax/Tel 呼び出し時刻	この設定では、ファックス/電話モードが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。


ファクスの送信


1. 文書を下向きにしてスキヤナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** を選択します。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。
3. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。

手動で受信者を入力

- ▲ **ファックス宛先** テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用してファックス番号を入力します。複数のファックス番号に送信する場合は、番号間をセミコロンで区切るか、各番号の入力後にタッチスクリーンキーボードの Enter  ボタンを選択します。



連絡先リストから受信者を入力

- a. [**ファックス宛先**] フィールドの横にある [連絡先]  ボタンを選択して、[連絡先] 画面を開きます。
 - b. 適切な連絡先リストを選択します。
 - c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、**追加** を選択します。
4. クイックセットをロードするには、**ロード**、[クイックセット]の順に選択し、**クイックセット** リストで、**ロード** を選択します。

 **注記** : **クイックセット** は、**テキスト**、**写真**、**高品質** など、さまざまなタイプの出力用にあらかじめ定義された設定です。[クイックセット] を選択すると、説明を表示することができます。

5. **解像度**、**面**、**内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。
6. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 7-1 プレビュー パネルの制御

展開 ボタン	折り畳み ボタン
	

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 7-2 プレビュー ボタン

ボタン	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトします。 注記: これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180°回転します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内でページの順序を変更します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記: これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	
	文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

7. 文書の準備が整ったら、**送信** を選択してファックスを送信します。

補足的なファックスタスク

www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

以下のようなファックスタスクの実行手順を参照できます。

- ファックス短縮ダイアルの作成と管理
- ファックス請求書コードの設定
- ファックス印刷スケジュールの使用
- 着信ファックスのブロック
- ファックスアーカイブおよび転送

8 プリンタの管理

- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) の高度な設定](#)
- [IP ネットワークの設定](#)
- [プリンタのセキュリティ機能](#)
- [省エネ設定](#)
- [HP Web Jetadmin](#)
- [ソフトウェアおよびファームウェアの更新](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定

- [はじめに](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) へのアクセス方法](#)
- [HP 内蔵 Web サーバの機能](#)


はじめに

HP 内蔵 Web サーバを使用して、プリンタのコントロールパネルではなく、コンピュータから印刷機能を管理できます。

- プリンタの状態に関する情報の表示
- すべてのサプライ品の寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイの設定を表示および変更します。
- プリンタのコントロールパネルメニューの構成の表示と変更
- 内部ページを表示および印刷します。
- プリンタとサプライ品に関するイベントの通知の受信
- ネットワークの設定の表示および変更

HP 内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースのプリンタ接続では機能しません。HP 内蔵 Web サーバを起動して使用するために、インターネットに接続する必要はありません。

プリンタをネットワークに接続すると、自動的に HP 内蔵 Web サーバが使えるようになります。

 **注記:** ネットワーク ファイアウォールを越えて HP 内蔵 Web サーバにアクセスすることはできません。

HP 内蔵 Web サーバを使用するには、ブラウザが次の要件を満たしている必要があります。

表 8-1 ブラウザ要件

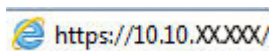
オペレーティングシステム	ブラウザ
Windows® 7	Internet Explorer (バージョン 8.x 以降)
	Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
	Firefox (バージョン 20.x 以降)
Windows® 8 以降	Internet Explorer (バージョン 9.x 以降)
	Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
	Firefox (バージョン 20.x 以降)


表 8-1 ブラウザ要件 (続き)

オペレーティングシステム	ブラウザ
macOS	Safari (バージョン 5.x 以降)
	Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
Linux	Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
	Firefox (バージョン 20.x 以降)

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法

1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、[情報] アイコン、[ネットワーク] アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。



 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

HP 内蔵 Web サーバーの機能

- [情報タブ](#)
- [一般タブ](#)
- [コピー/印刷タブ](#)
- [スキャン/デジタル送信タブ](#)
- [ファクスタブ](#)
- [サプライ品タブ](#)
- [トラブルシューティングタブ](#)
- [セキュリティタブ](#)
- [HP Web サービスタブ](#)
- [\[ネットワーク\]タブ](#)
- [その他のリンクのリスト](#)

情報タブ

表 8-2 HP 内蔵 Web サーバの [情報] タブ

メニュー	説明
[デバイスのステータス]	プリンタのステータスと HP サプライ品の推定寿命を表示します。各トレイにセットされている用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、 [設定の変更] リンクをクリックします。
[設定ページ]	設定ページの情報を表示します。
[サプライ品ステータスページ]	プリンタのサプライ品のステータスを表示します。
[イベント ログ ページ]	プリンタのすべてのイベントとエラーの一覧を表示します。 [HP Instant Support] リンク (HP 内蔵 Web サーバのすべてのページにある [その他のリンク] 領域) を使用して、問題の解決に役立つ一連の動的 Web ページに接続します。これらのページでも、プリンタで使用できる追加サービスが表示されます。
[使用状況ページ]	用紙のサイズ、タイプ、および用紙印刷経路別に、印刷したページ数を表示します。
[デバイス情報]	プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。この情報をカスタマイズする場合は、 [一般] タブの [デバイス情報] をクリックします。
[コントロールパネルのスナップショット]	コントロールパネルディスプレイに現在の画面のイメージを表示します。
[印刷可能なレポートとページ]	プリンタの内部のレポートおよびページを一覧表示します。印刷または表示する項目を1つ以上選択してください。
[オープンソースライセンス]	プリンタで使用できるオープンソースソフトウェア プログラムのライセンスの概要を示します。

一般タブ

表 8-3 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ

メニュー	説明
[コントロールパネルのカスタマイズ]	コントロールパネルディスプレイで機能の並べ替え、表示、非表示を設定します。 コントロールパネルのデフォルトの表示言語およびキーボードレイアウトを変更します。
[クイックセット]	プリンタのコントロールパネルのホーム画面にある クイックセット 領域で印刷可能なジョブを設定します。
[アラート]	さまざまなプリンタやサプライ品に関する電子メール警告をセットアップします。
[コントロールパネル設定アプリケーション]	プリンタのコントロールパネルで使用できる設定アプリ オプションを表示します。
[全般的な設定]	プリンタを紙詰まりから復旧する方法およびその他の一般的なプリンタの設定を行います。
[AutoSend]	プリンタの設定とサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メールアドレスに送信するように設定します。

表 8-3 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ (続き)

メニュー	説明
[その他のリンクの編集]	別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、HP 内蔵 Web サーバのすべてのページのフッター領域に表示されます。
[アクセサリおよびサプライ品の購入について]	交換用カートリッジの注文に関する情報を入力します。この情報はサプライ品ステータス ページに表示されます。
[デバイス情報]	プリンタに名前を付け、アセット番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信するユーザーの名前を入力します。
[言語]	HP 内蔵 Web サーバの情報を表示する言語を設定します。
[ファームウェア アップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
[日付/時刻の設定]	日時を設定したり、ネットワーク タイム サーバと同期したりします。
[エネルギー設定]	プリンタの復帰時刻、スリープ時刻、およびスリープ遅延を設定または編集します。各曜日および休日に異なるスケジュールを設定します。 プリンタをスリープモードから復帰させる操作を設定します。
[バックアップと復元]	プリンタ データとユーザー データを格納するバックアップ ファイルを作成します。必要に応じて、このファイルを使用してプリンタにデータを復元します。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ソリューション インストーラ]	プリンタの機能を拡張または変更するためのサードパーティ製のソフトウェアをインストールします。
[ジョブ統計設定]	サードパーティのジョブ統計サービスについての接続情報を示します。
[クォータ設定]	サードパーティのジョブクォータ サービスについての接続情報を示します。

コピー/印刷 タブ

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [コピー/印刷] タブ

メニュー	説明
[USB ドライブからの印刷設定]	コントロールパネルの USB ドライブから印刷 メニューを有効または無効にします。
[保存ジョブの管理]	プリンタのメモリにジョブを保存する機能を有効または無効にします。 ジョブ保存オプションを設定します。
[デフォルト印刷オプション]	印刷ジョブのデフォルト オプションを設定します。
[カラー印刷の制限] (カラー プリンタのみ)	カラー印刷およびカラー コピーを許可または制限します。 個々のユーザーまたは特定のソフトウェア プログラムから送信されたジョブの権限を指定します。
[PCL および PostScript の設定]	コピー ジョブとファックス受信を含む、すべての印刷ジョブの PCL および PostScript の設定を調整します。
[印刷品質]	カラー調整、画像登録、および許容される用紙タイプを含む、印刷品質の設定を行います。

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [コピー/印刷] タブ (続き)

メニュー	説明
[コピー設定]	コピー ジョブのデフォルト オプションとクイック セットを設定します。 注記: ジョブ開始時にコントロールパネルでジョブ固有のコピー設定オプションが設定されていない場合、そのジョブにはデフォルトの設定が使用されます。
[トレイの管理]	用紙トレイの設定を指定します。

スキャン/デジタル送信タブ

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ

メニュー	説明
[[スキャンして電子メールで送信] 設定]	以下をはじめとする、デジタル送信用の電子メールのデフォルト設定を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信メール (SMTP) サーバの設定 電子メールクイック セット ジョブのデフォルトの設定 デフォルトのメッセージ設定 (「送信元」 アドレス、件名など) デジタル署名と暗号化の設定 電子メール通知の設定 電子メール ジョブのデフォルトのスキャン設定 電子メール ジョブのデフォルトのファイル設定
[[スキャンしてネットワーク フォルダに保存] 設定]	以下をはじめとする、デジタル送信用のネットワーク フォルダを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク フォルダに保存されているクイック セット ジョブの設定 通知の設定 ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定 ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[[スキャンして SharePoint® に保存] 設定] (Flow モデルのみ)	デジタル送信用の Microsoft SharePoint® 設定を設定します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> SharePoint® サイトのドキュメント ライブラリに保存されているクイック セット ジョブの設定 SharePoint® サイト上の文書ライブラリに保存されているジョブのデフォルト設定

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ (続き)

メニュー	説明
[スキャンして USB ドライブに保存] 設定	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用の USB を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● USB フラッシュドライブに保存されているクイックセット ジョブの設定 ● 通知の設定 ● USB フラッシュドライブに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定 ● USB フラッシュドライブに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[連絡先]	<p>連絡先管理を行います。以下の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一度に1つずつ電子メールアドレスを追加します。 ● 頻繁に使用する電子メールアドレスの大きなリストを、1つずつではなく、一括でプリンタにロードします。 ● プリンタからコンピュータ上の .CSV ファイルにデータバックアップとして連絡先をエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。 ● プリンタに保存されている電子メールアドレスを編集します。
[電子メールセットアップウィザードおよび[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]クイックセットアップウィザード]	<p>スキャンしたイメージを電子メール添付ファイルとして送信するよう設定します。</p> <p>スキャンしたイメージがネットワークフォルダクイックセットに保存されるよう設定します。クイックセットでは、ネットワーク上に保存されているファイルに簡単にアクセスできます。</p>
[デジタル送信ソフトウェアセットアップ]	<p>オプションのデジタル送信ソフトウェアの使用に関連する項目を設定します。</p>

ファクスタブ

表 8-6 HP 内蔵 Web サーバの [ファックス] タブ

メニュー	説明
[ファックス送信のセットアップ]	<p>以下をはじめとする、ファックス送信を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信ファックスのデフォルトの設定 ● クイックセット ジョブのファックス設定 ● 通知の設定 ● 内蔵ファックスモデムによるファックス送信のデフォルトの設定 ● LAN ファックスサービスの使用の設定 ● インターネットファックスサービスの使用の設定

表 8-6 HP 内蔵 Web サーバの [ファックス] タブ (続き)

メニュー	説明
[ファックス短縮ダイヤル]	次を含め、短縮ダイヤル番号を管理します。 <ul style="list-style-type: none"> 電子メールアドレス、ファックス番号、ユーザーレコードなどを含む .CSV ファイルをインポートして、プリンタからアクセスできるようにします。 プリンタからコンピュータ上のファイルにデータバックアップとして電子メール、ファックス、またはユーザーレコードをエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。
[ファックス受信のセットアップ]	受信ファックスに関するデフォルトの印刷オプション、および、ファックス印刷スケジュールを設定します。
[ファックスのアーカイブと転送]	ファックスアーカイブおよびファックス転送を有効または無効にし、それぞれの基本項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ファックスアーカイブとは、すべての送受信ファックスのコピーを電子メールアドレス、ネットワークフォルダ、または FTP サーバに送信する方法です。 ファックス転送とは、受信ファックスを別のファックスデバイスに転送する方法です。
[ファックス使用状況ログ]	このプリンタで送受信されたファックスが一覧表示されます。

[サプライ品] タブ

表 8-7 HP 内蔵 Web サーバの [サプライ品] タブ

メニュー	説明
[サプライ品の管理]	サプライ品の状態が「非常にわずか」になったときのプリンタの動作方法を設定します。

トラブルシューティング タブ

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [トラブルシューティング] タブ

メニュー	説明
[一般的なトラブルシューティング]	プリンタに関する問題の解決に役立つ、さまざまなレポートとテストから選択します。
[Online Help]	印刷の問題をトラブルシューティングできるクラウドベースの HP オンラインヘルプへのリンク。
[診断データ]	プリンタの情報をファイルにエクスポートして、詳細な問題分析に利用することができます。
注記: この項目は、管理者パスワードを [セキュリティ] タブで設定した場合だけ選択できます。	
[校正/クリーニング] (カラープリンタのみ)	自動クリーニング機能の有効化、クリーニングページを作成して印刷、プリンタを迅速に校正するオプションの選択を行うことができます。

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [トラブルシューティング] タブ (続き)

メニュー	説明
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ファームウェアのアップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。

[セキュリティ] タブ

表 8-9 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ

メニュー	説明
[一般セキュリティ]	次を含む、一般セキュリティの設定です。 <ul style="list-style-type: none"> プリンタの特定の機能へのアクセスを制限するため、管理者パスワードを設定します。 PJL コマンドを処理するための PJL パスワードを設定します。 ファイルシステム アクセスとファームウェア アップグレードのセキュリティを設定します。 コンピュータから直接印刷するための、コントロールパネルのホスト USB ポートまたはフォーマッタの USB 接続ポートを有効または無効にします。 すべてのセキュリティ設定のステータスを表示します。
[アカウント ポリシー]	管理者アカウントの設定を有効にします。
[アクセス制御]	特定の個人やグループに対するプリンタ機能へのアクセスの設定、個人がプリンタへのサインインに使用する方法の選択を行います。
[保存データの保護]	プリンタの内蔵ハードドライブを設定および管理します。このプリンタには、セキュリティを最大限に高める暗号化ハードドライブが搭載されています。 プリンタのハードドライブに格納されているジョブを設定します。
[リモート接続の管理]	デバイスで本製品を使用できるようにする証明書をインポートまたは削除することで、リモートアプリケーションを管理するかまたはホワイトリストに追加します。
[証明書の管理]	プリンタおよびネットワークにアクセスするためのセキュリティ証明書をインストールおよび管理します。
[Web サービスセキュリティ]	別のドメインからの Web ページによる本プリンタのリソースへのアクセスを許可します。リストに追加されたサイトがない場合、すべてのサイトが信頼されたサイトとなります。
[セルフテスト]	セキュリティ機能が、目的のシステムパラメータに応じて実行されていることを確認します。

HP Web サービスタブ

[HP Web サービス] タブでは、このプリンタ用に HP Web サービスを設定して有効にします。HP ePrint 機能を使用するには、HP Web サービスを有効にする必要があります。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [HP Web サービス] タブ

メニュー	説明
[Web Services Setup (Web サービスの設定)]	HP Web サービスを有効にして、このプリンタを Web の HP ePrintCenter に接続します。
[Web Proxy (Web プロキシ)]	HP Web サービスの有効化やプリンタとインターネットの接続に問題がある場合は、プロキシサーバを設定します。
[HP JetAdvantage]	プリンタの機能を拡張するソリューションにアクセスします。
[Smart Cloud Print]	Smart Cloud Print を有効にし、プリンタの機能を拡張する Web ベースのアプリケーションにアクセスできるようにします。

[ネットワーク] タブ

[ネットワーク] タブでは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に、プリンタのネットワーク設定を設定して保護します。このタブは、プリンタが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

表 8-11 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ

メニュー	説明
設定	
[Wi-Fi Direct]	内蔵の Wi-Fi Direct 印刷および NFC 印刷を搭載したプリンタ、またはワイヤレス アクセサリが取り付けられているプリンタで、Wi-Fi Direct 設定を設定します。 注記： 使用可能な設定オプションは、お使いのプリントサーバモデルによって異なります。
[TCP/IP 設定]	IPv4 および IPv6 ネットワークの TCP/IP 設定を設定します。 注記： 使用可能な設定オプションは、お使いのプリントサーバモデルによって異なります。
[ネットワーク設定]	プリントサーバモデルに応じて、IPX/SPX、AppleTalk、DLC/LLC、SNMP 設定を設定します。
[その他の設定]	プリントサーバでサポートされる全般的な印刷プロトコルとサービスを設定します。使用可能なオプションはプリントサーバのモデルによって異なりますが、ファームウェア更新、LPD キュー、USB 設定、サポート情報、リフレッシュ速度が含まれることがあります。
[AirPrint]	Apple 対応プリンタからのネットワーク印刷を有効化、セットアップ、または無効化します。
[言語の選択]	HP 内蔵 Web サーバにより表示される言語を変更します。このページは、Web ページで複数の言語がサポートされている場合に使用可能です。または、ブラウザの言語の優先順位設定を使用して、サポートする言語を選択します。
[場所の選択]	プリンタを使用する国/地域を選択します。

Google クラウド プリント

[セットアップ]	Google クラウド プリントのオプションを設定します。
[Web Proxy (Web プロキシ)]	プロキシ設定を構成します。
セキュリティ	
[設定]	現在のセキュリティ設定を表示し、出荷時の設定に戻します。 セキュリティ設定ウィザードを使用してセキュリティ設定を行います。 注記: HP Web Jetadmin などのネットワーク管理アプリケーションを使用してセキュリティを設定している場合は、セキュリティ設定ウィザードを使用しないでください。
[許可]	本プリンタの設定管理および使用を制御します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 管理者パスワードを設定または変更して、設定パラメータへのアクセスを制御します。 • HP Jetdirect プリント サーバでのデジタル証明書の要求、インストール、および管理を行います。 • アクセス制御リスト (ACL) を通して本プリンタへのホスト アクセスを制限します (IPv4 ネットワーク上の選択したプリント サーバのみ)。
[安全な通信]	セキュリティ設定を構成します。
[管理 プロトコル]	本プリンタのセキュリティ プロトコルを設定管理します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • HP 内蔵 Web サーバのセキュリティ管理レベルを設定し、HTTP および HTTPS 上のトラフィックを制御します。 • SNMP (Simple Network Management Protocol) の動作を設定します。プリント サーバで SNMP v1/v2c エージェントや SNMP v3 エージェントを有効または無効にします。 • 印刷プロトコル、印刷サービス、検出プロトコル、名前の解決サービス、設定管理プロトコルなど、安全性が確保されていないプロトコルを通じたアクセスを制御します。
[[802.1X Authentication]]	ネットワーク上のクライアント認証に必要な Jetdirect プリント サーバの 802.1X 認証設定を設定したり、802.1X 認証設定を出荷時の設定に戻したりします。 注意: 802.1X 認証設定を変更すると、プリンタの接続が失われることがあります。再接続するには、プリント サーバを出荷時の状態に戻し、プリンタを取り付け直す必要がある場合があります。
[IPsec/ファイアウォール]	ファイアウォールポリシーまたはIPsec/ファイアウォールポリシーを表示または設定します (選択した HP Jetdirect モデルに対してのみ)。
[通知エージェント]	HP デバイス通知エージェントを有効または無効にします。証明書による相互認証を設定します。

診断

[ネットワーク統計]	HP Jetdirect プリント サーバに収集して保存されているネットワーク統計を表示します。
[プロトコル情報]	プロトコル別に HP Jetdirect プリント サーバのネットワーク設定のリストを表示します。
[設定ページ]	ステータスおよび設定情報が記載された HP Jetdirect 設定ページを表示します。

その他のリンクのリスト


 **注記:** [一般] タブの [その他のリンクの編集] メニューを使用して、HP 内蔵 Web サーバのフッターにどのリンクを表示するかを設定します。以下の項目は、デフォルトのリンクです。

表 8-12 HP 内蔵 Web サーバ [その他のリンク] のリスト

メニュー	説明
[HP Instant Support]	HP の Web サイトに接続して、問題の解決方法を検索します。
[サプライ品の購入]	HP SureSupply Web サイトに接続し、HP 純正サプライ品 (例 : カートリッジ、用紙) の購入情報を取得します。
[製品のサポート]	プリンタのサポートサイトに接続し、さまざまなトピックのヘルプを検索します。

IP ネットワークの設定

- [プリンタ共有の免責条項](#)
- [ネットワーク設定の表示または変更](#)
- [ネットワーク上でのプリンタ名の変更](#)
- [コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する](#)
- [コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する](#)
- [リンク速度と二重通信設定](#)

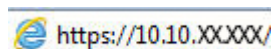
プリンタ共有の免責条項


HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティング システムの機能であり、HP プリンタ ドライバの機能ではありません。Microsoft のウェブサイト www.microsoft.com にアクセスしてください。

ネットワーク設定の表示または変更

HP 内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示または変更します。

1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、[情報] アイコン、[ネットワーク] アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。



 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

3. [ネットワーク] タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更します。


ネットワーク上でのプリンタ名の変更

プリンタを一意に識別できるようネットワーク上でプリンタ名を変更する場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用します。


1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、[情報] アイコン、[ネットワーク] アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XXXXX/>

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

3. **[一般]** タブを開きます。
4. **[デバイス情報]** ページの **[デバイス名]** フィールドにデフォルトのプリンタ名が表示されています。プリンタを一意に識別できるよう、この名前を変更できます。

 **注記:** このページの他のフィールドへの入力省略可能です。

5. 変更を保存するには、**[適用]** ボタンをクリックします。

コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する

コントロールパネルの **設定** メニューを使用して IPv4 アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **ネットワーキング**
 - b. **イーサネット**
 - c. **TCP/IP**
 - d. **IPV 4 設定**
 - e. **設定方法**
3. **手動** オプションを選択し、**OK** を選択します。
4. **手動設定** メニューを開きます。
5. **IP アドレス**、**サブネットマスク** または **デフォルトゲートウェイ** オプションを選択します。
6. 数字キーパッドを使用してフィールドに正しい数字を入力し、**[OK]** ボタンを選択します。
設定する各フィールドにこの手順を繰り返します。


コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する

コントロールパネルの **設定** メニューを使用して、IPv6 アドレスを手動で設定します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 手動設定を有効にするため、次の各メニューを開きます。


- a. ネットワーキング
 - b. イーサネット
 - c. TCP/IP
 - d. IPV6 設定
3. 有効化 を選択して、次に オン を選択し、OK を選択します。
 4. アドレス メニューを開きます。
 5. 手動設定 メニューを開き、アドレス を選択します。キーパッドを使用してアドレスを入力し、OK ボタンを選択します。

リンク速度と二重通信設定

 **注記** : この情報は、Ethernet ネットワークのみに適用されます。ワイヤレス ネットワークには適用されません。

プリント サーバのリンク速度と通信モードはネットワーク ハブと一致する必要があります。特別な場合を除き、自動モードから変更しないでください。リンク速度と二重通信設定を誤って変更すると、プリンタと他のネットワーク デバイス間の通信ができなくなります。変更する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルを使用します。

 **注記** : プリンタの設定は、ネットワークデバイス(ネットワークハブ、スイッチ、ゲートウェイ、ルーター、またはコンピュータ)の設定と一致している必要があります。

 **注記** : 設定を変更すると、プリンタがいったんオフになってから再びオンになります。変更を加える場合は、プリンタがアイドル状態のときに操作してください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. ネットワーキング
 - b. イーサネット
 - c. リンク速度
3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
 - **自動**: 使用しているネットワークで可能な最高のリンク速度と通信モードに自動的に設定されます。
 - **10T Half**: 10Mbps、ハーフ二重
 - **10T Full**: 10Mbps、フル二重
 - **10T Auto**: 10Mbps、自動二重
 - **100TX Half**: 100Mbps、ハーフ二重
 - **100TX Full**: 100Mbps、フル二重

- 100TX Auto: 100Mbps、自動二重
 - 1000T Full: 1000Mbps、フル二重
4. OK を選択します。プリンタの電源を入れ直します。

プリンタのセキュリティ機能

はじめに

プリンタには、構成設定やセキュアデータにアクセス権を持つユーザーを制限したり、重要なハードウェアコンポーネントへのアクセスを防ぐセキュリティ機能が複数搭載されています。


- [セキュリティステートメント](#)
- [HP 内蔵 Web サーバを使用してシステムパスワードを設定または変更する](#)
- [IPセキュリティ](#)
- [フォーマッタのロック](#)
- [暗号化サポート：HP ハイパフォーマンスセキュアハードディスク](#)

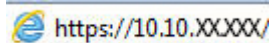
セキュリティステートメント


このプリンタでは、プリンタの安全な状態の維持、ネットワーク上の重要な情報の保護、プリンタの監視および管理方法の効率化に役立つセキュリティ規格および推奨プロトコルをサポートしています。

HP 内蔵 Web サーバを使用してシステムパスワードを設定または変更する


プリンタおよびHP 内蔵 Web サーバにアクセスするための管理者パスワードを割り当てて、権限のないユーザーがプリンタの設定を変更できないようにします。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、情報 ⓘ アイコン、ネットワーク  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。




 **注記：** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. [セキュリティ] タブをクリックします。
3. [一般セキュリティ] メニューを開きます。
4. [ローカル管理者パスワードを設定] 領域で、[ユーザー名] フィールドのパスワードに対応する名前を入力します。
5. [新しいパスワード] フィールドにパスワードを入力し、[パスワードの確認] フィールドにパスワードを再度入力します。

 **注記**：現在のパスワードを変更する際は、最初に[古いパスワード]フィールドに現在のパスワードを入力します。


6. [適用] をクリックします。

 **注記**：パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。管理者パスワードは、復元することはできません。管理者パスワードを紛失するか忘れた場合、完全にプリンタをリセットする方法については、HP サポート (support.hp.com) にお問い合わせください。

コントロールパネルの一部の機能は、権限のないユーザーが利用できないよう、保護できます。保護されている機能を利用しようとする、サインインを要求されます。プリンタのコントロールパネルで **サインイン** を選択すると、サインインを求めるプロンプトが表示される前にサインインすることもできます。

通常、プリンタへのサインインの認証情報は、ネットワークにサインインするときのものと同じです。使用する資格情報について不明な点がある場合は、このプリンタを管理しているネットワーク管理者に問い合わせてください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サインイン** を選択します。
2. プロンプトに従って認証情報を入力します。

 **注記**：プリンタのセキュリティを維持するため、プリンタ使用後に **サインアウト** を選択します。

IP セキュリティ

IP セキュリティ (IPsec) は、IP ベースのネットワーク上でプリンタの送受信トラフィックを制御するプロトコルセットです。ネットワーク通信において、ホスト間の認証、データの整合性チェック、および暗号化を行います。

ネットワーク接続されており、かつ HP Jetdirect プリント サーバを備えているプリンタの場合については、HP 内蔵 Web サーバで **[ネットワーク]** タブを使用して、IPsec を設定できます。

フォーマッタのロック

フォーマッタには、セキュリティ ケーブルを取り付けるのに使用できるスロットが付いています。フォーマッタをロックすることで、重要なコンポーネントがフォーマッタから外れるのを防ぐことができます。

暗号化サポート：HP ハイパフォーマンスセキュアハードディスク

このハードディスクではハードウェアベースの暗号化が利用できるため、プリンタの性能に影響を与えることなく、機密性のあるデータを安全に保存できます。このハードディスクは、最新の AES (Advanced Encryption Standard) を使用し、汎用性のある時間節約機能と堅牢な機能を備えています。

HP 内蔵 Web サーバの **[セキュリティ]** メニューを使用して、このディスクを設定します。

省エネ設定

はじめに

- [スリープタイマをセットし、1W以下の電力を使用するようプリンタを設定します。](#)
- [スリープスケジュールの設定](#)


プリンタがアイドル状態のときに、電力消費量を削減するスリープ設定を行います。

スリープタイマをセットし、1W以下の電力を使用するようプリンタを設定します。


スリープ設定は、プリンタの消費電力、スリープ/スリープ復帰時刻、プリンタがスリープモードに入る速度、およびスリープモードから復帰する速度に影響します。

プリンタのスリープモード時の消費電力を1ワット以下に設定するには、[アイドル状態後スリープ](#)と[スリープ後自動オフ](#)設定の両方に時間を入力します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#)アプリケーションに移動し、[設定](#)アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. [全般](#)
 - b. [エネルギー設定](#)
 - c. [スリープ設定](#)
3. 製品がスリープモードに入る前にどのくらいの時間(分)アイドル状態であるかを指定するには、[アイドル状態後スリープ](#)を選択します。適切な時間を入力します。

 **注記：**デフォルトのスリープモード時間は、0分です。ゼロ(0)の場合、プリンタは1分未満でスリープ状態になります。

4. 一定時間のスリープ後にさらに深い省電力モードに入るには、[スリープ後自動オフ](#)を選択します。適切な時間を入力します。

 **注記：**デフォルトでは、プリンタはUSBやWi-Fi以外の操作に応答して自動オフから復帰します。電力をさらに節約する設定をするには、[シャットダウン\(電源ボタンのみで復帰\)](#)を選択して、電源ボタンを押した場合のみスリープから復帰するよう設定できます。

5. [完了](#)を選択して設定を保存します。

スリープスケジュールの設定

[スリープスケジュール](#)機能は、プリンタが自動的にスリープから復帰したり、特定の曜日の特定の時間にスリープモードになるように設定する場合に使用します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#)アプリケーションに移動し、[設定](#)アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- a. 全般
 - b. 電力設定
 - c. スリープスケジュール
3. 新しいイベント ボタンを選択し、スケジュール設定するイベントの種類 (復帰イベント または スリープ イベント) を選択します。
 4. 復帰またはスリープ イベントについては、イベントの時間と曜日を設定します。設定を保存するには、保存 をクリックします。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は高い評価を得ている業界最高水準のツールで、ネットワーク接続されたさまざまな HP 製品 (例 : プリンタ、多機能プリンタ、デジタル送信装置) を効率的に管理できます。このソフトウェア 1 つで、印刷/画像処理環境におけるリモートインストール、監視、保守、トラブルシューティング、セキュリティ確保の各作業を行うことができます。これにより、時間の節約、コストの抑制、および既存資産の有効利用が可能になるので、業務の生産性が向上します。

特定のプリンタ機能をサポートする HP Web Jetadmin の更新プログラムは定期的に提供されています。詳細については、www.hp.com/go/webjetadmin をご覧ください。

ソフトウェアおよびファームウェアの更新

HP は、問題解決や機能追加のために、ソフトウェアとファームウェアを定期的に更新しています。最新の更新プログラムを利用するには、最新のドライバファイル、ファームウェアファイル、またはその両方を Web からダウンロードしてください。

www.hp.com/support/colorljM578MFP にアクセスします。[ソフトウェアとドライバ] を選択します。

9 問題の解決

- [カスタマサポート](#)
- [コントロールパネルのヘルプシステム](#)
- [出荷時の設定に戻す](#)
- [「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される](#)
- [給紙されない、または給紙ミスが発生する](#)
- [紙詰まりの解消](#)
- [印刷品質の問題を解決する](#)
- [コピーのイメージ品質を向上させる](#)
- [スキャンのイメージ品質を向上させる](#)
- [ファックスのイメージ品質を向上させる](#)
- [有線ネットワークに関する問題の解決](#)
- [ワイヤレスネットワークに関する問題の解決](#)
- [ファックスに関する問題を解決する](#)

詳細情報の入手先

以下の情報は、発行時点で正確なものです。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/LaserJet を参照してください。

最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljM578MFP を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- [設置と設定](#)
- [学習と使用](#)
- [問題の解決](#)
- [ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新](#)

- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

カスタマ サポート

表 9-1 カスタマ サポート オプション

サポートタイプ	連絡先情報
国/地域の電話サポートを受ける プリンタ名、シリアル番号、購入日、および問題の説明をご用意ください。	国/地域の電話番号については、プリンタに同梱のパンフレットまたは support.hp.com をご覧ください。
24 時間インターネットサポートの利用と、ソフトウェアユーティリティおよびドライバのダウンロード	www.hp.com/support/colorljM578MFP
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack
プリンタの登録	www.register.hp.com


コントロールパネルのヘルプシステム

このプリンタには、各画面の使い方を説明するヘルプシステムが組み込まれています。ヘルプシステムを開くには、画面の右上隅のヘルプボタン  を選択します。



一部の画面では、[ヘルプ]にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバルメニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。


一部の[ヘルプ]画面には、紙詰まりの解消などの具体的な手順を示すアニメーションが含まれています。

エラーや警告が通知されたら、ヘルプ  ボタンをタッチして、問題について説明するメッセージを表示します。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。

出荷時の設定に戻す

はじめに

プリンタを出荷時の設定に戻すには、次の方法のいずれかを実行します。

 **注記**：出荷時の設定を復元すると、ほとんどのプリンタ設定が出荷時のデフォルトに設定されます。ただし、言語、日付、時刻、一部のネットワーク設定など、一部の設定は変更できません。

方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す



1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **全般**
 - b. **出荷時の設定に戻す**
3. **リセット** を選択します。

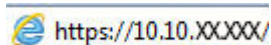
リセット機能を実行するとデータの損失が起こる可能性があることを知らせる確認メッセージが表示されます。


4. **リセット** を選択して、処理を完了します。

 **注記**：リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプリンタのみ)

1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 `https://10.10.XX.XXX/`

 **注記**：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

3. **[一般]** タブを開きます。
4. 画面左側で、**[出荷時の設定に戻す]** をクリックします。
5. **[リセット]** ボタンをクリックします。

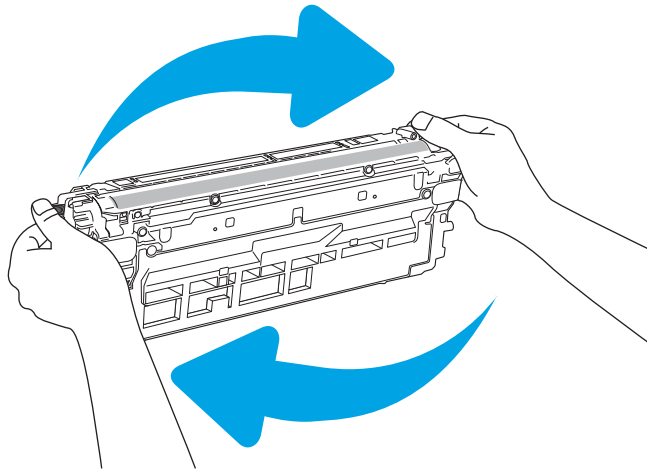
 **注記**：リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される

カートリッジ残量わずか：トナーカートリッジの残量が少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。今すぐトナーカートリッジを交換する必要はありません。

カートリッジを再分散させても、印刷品質が使用に耐えるレベルにならない場合には、プリントカートリッジを交換します。トナーを再分散させるには、プリンタからトナーカートリッジを取り出し、カートリッジを前後にゆっくりと振ります。トナーカートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。

カートリッジ残量が非常にわずか：トナーカートリッジの残量が非常に少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。トナーの寿命を延ばすには、カートリッジを端から端まで前後にゆっくりと振ります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナーカートリッジを交換する必要はありません。



HPのトナーカートリッジの残量が**非常にわずか**になったとき、このトナーカートリッジに対するHPのプレミアムプロテクション保証は終了します。

「非常にわずか」の設定の変更

サプライ品の状態が「非常にわずか」になったときのプリンタの動作方法を変更できます。これらの設定は、新しいトナーカートリッジを取り付けるときに再設定する必要はありません。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定**までスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - サプライ品の管理
 - [非常にわずか]時の動作
 - 黒カートリッジまたはカラーカートリッジ
3. 以下のオプションから1つ選択してください。

- カートリッジの残量が**非常にわずか**のしきい値に達したときに印刷を停止するようプリンタを設定するには、**停止** オプションを選択します。
- カートリッジの残量が**非常にわずか**のしきい値に達したときに印刷を続行するようプリンタを設定するには、**続行を要求** オプションを選択します。メッセージを承認するか、またはカートリッジを交換して印刷を再開することができます。
- カートリッジの残量が非常にわずかという警報を表示し、**非常にわずか**の設定を超えても操作なしで印刷を続けるようプリンタを設定するには、**継続** オプションを選択します。この場合、満足な印刷品質が得られないことがあります。

ファックス機能付きのプリンタの場合

プリンタが**停止**または**続行を要求**オプションに設定されている場合、プリンタが印刷を再開する際、一部のファックスが印刷されなくなるリスクがあります。この問題は、プリンタが、待機中にメモリに保持できる容量より多くのファックスを受信した場合に発生する可能性があります。

トナーカートリッジに対して**継続**オプションを選択した場合は、「非常にわずか」のしきい値を超えても、中断することなくファックスを印刷できますが、印刷品質は劣化する可能性があります。

サプライ品の注文

サプライ品や用紙の注文	www.hp.com
サービス代理店経由の注文	HP の正規サービス代理店問い合わせてください。
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って注文する	アクセスするには、お使いのコンピュータでサポートされている Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。EWS には HP Web サイトへのリンクがあります。このリンクを選択すると HP 純正のサプライ品の購入オプションにアクセスできます。

給紙されない、または給紙ミスが発生する

はじめに

プリンタのトレイから用紙が給紙されない場合、または同時に複数の用紙が給紙される場合は、次のソリューションが問題解決に役立ちます。次のいずれかの状況は、紙詰まりが原因となっている可能性があります。


- [用紙がピックアップされない](#)
- [複数枚の用紙がピックアップされる](#)
- [文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる](#)

用紙がピックアップされない

トレイから用紙がピックアップされない場合、次の解決策を試してください。

1. プリンタのカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。プリンタ内部に紙の切れ端が残っていないことを確認します。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. プリンタのコントロールパネルで用紙サイズと用紙タイプが正しく設定されていることを確認します。

4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

 **注記:** 用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

図 9-1 トレイ1または汎用トレイのサイズマーク

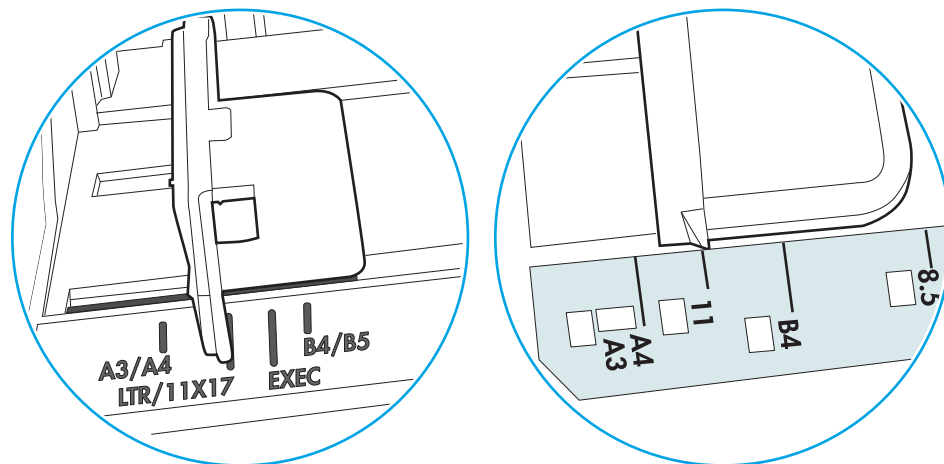
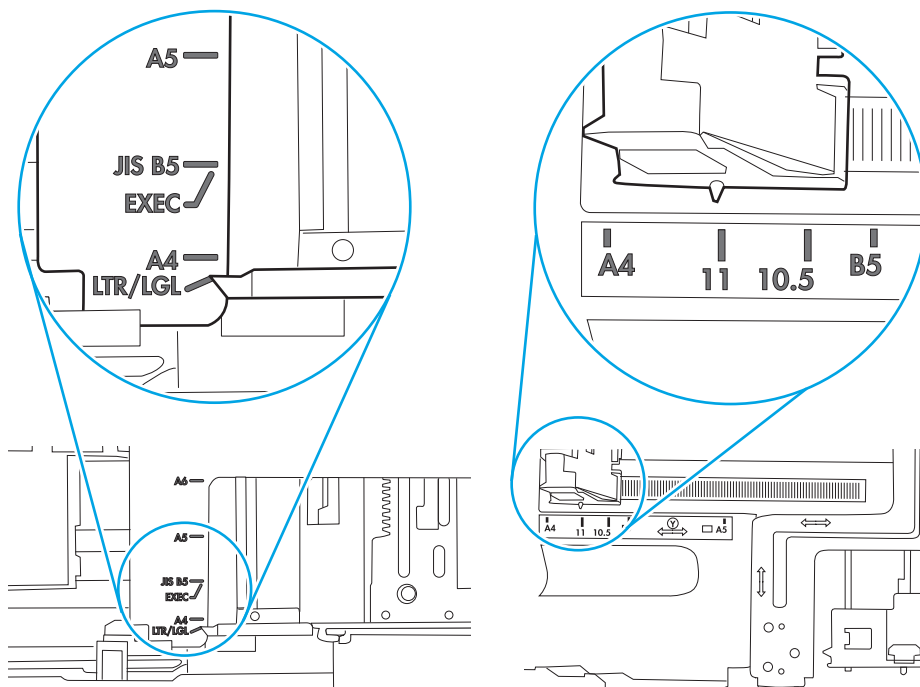


図 9-2 カセットトレイのサイズマーク

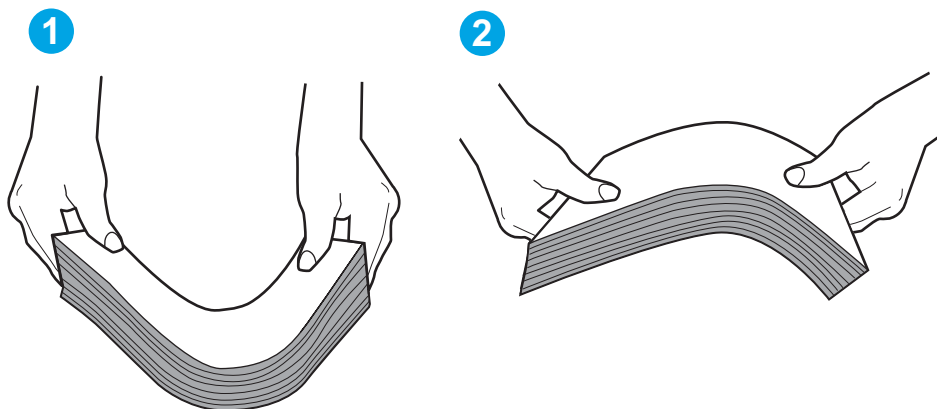


5. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙が未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から5～10枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、用紙の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-3 用紙束の曲げ方

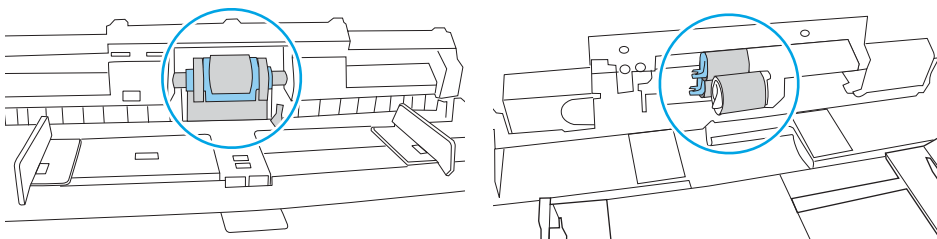


6. 手差しでの給紙が表示されているかどうかを、プリンタのコントロールパネルで確認します。用紙をセットして続行します。
7. トレイの上にあるローラーが汚れている可能性があります。水で湿らせた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。使用できる場合は蒸留水を使用します。

⚠ 注意: プリンタに直接水を吹き付けしないでください。布に水を吹き付けるか布を水に軽く浸して絞ってから、ローラーをクリーニングしてください。

下の図は、各種プリンタのローラーの場所の例です。

図 9-4 トレイ1または汎用トレイのローラーの場所



複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出し、さばき、左右を入れ替え、裏返します。用紙に風をあてないでください。用紙の束をトレイに戻します。


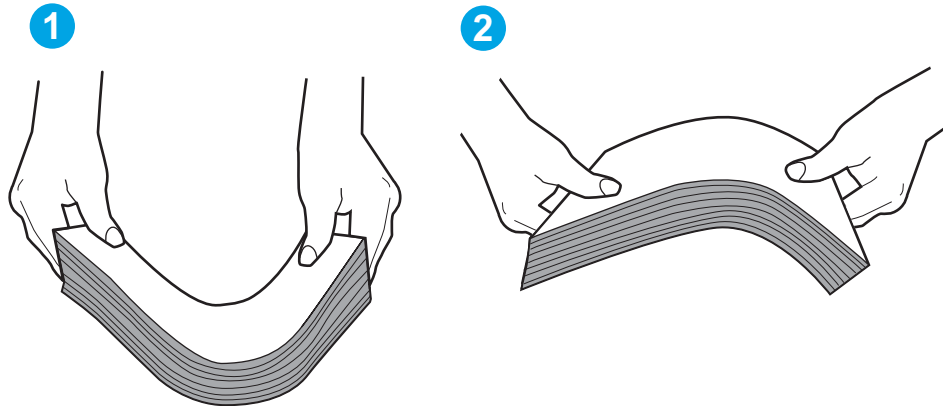
 **注記:** 用紙をあおると、静電気が発生します。用紙をあおるのではなく、用紙束の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-5 用紙束の曲げ方



2. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙は未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から 5 ~ 10 枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、前述の方法で用紙束を曲げます。

4. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。

5. トレイ内部の積載制限マークを確認して、トレイがあふれていないことを確認します。あふれている場合は、用紙束全体をトレイから取り出してまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。

下の図は、各種プリンタのトレイに付いている積載制限マークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。さらに、すべての用紙が積載制限マークの近くにあるつまみよりも下にあることを確認します。これらのつまみは、プリンタに送られる用紙を正しい位置に保持するためのものです。

図 9-6 積載制限マーク

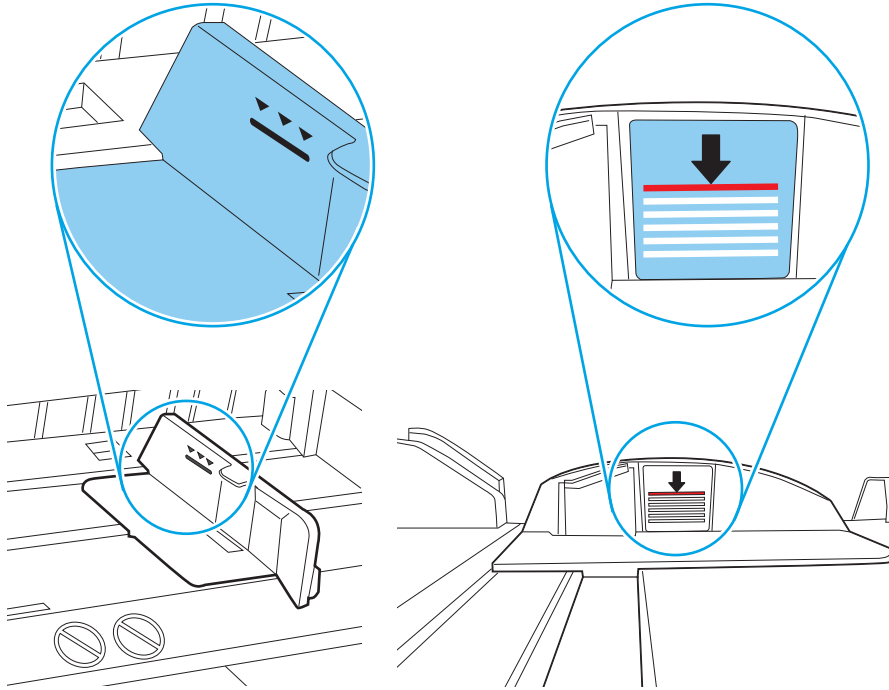
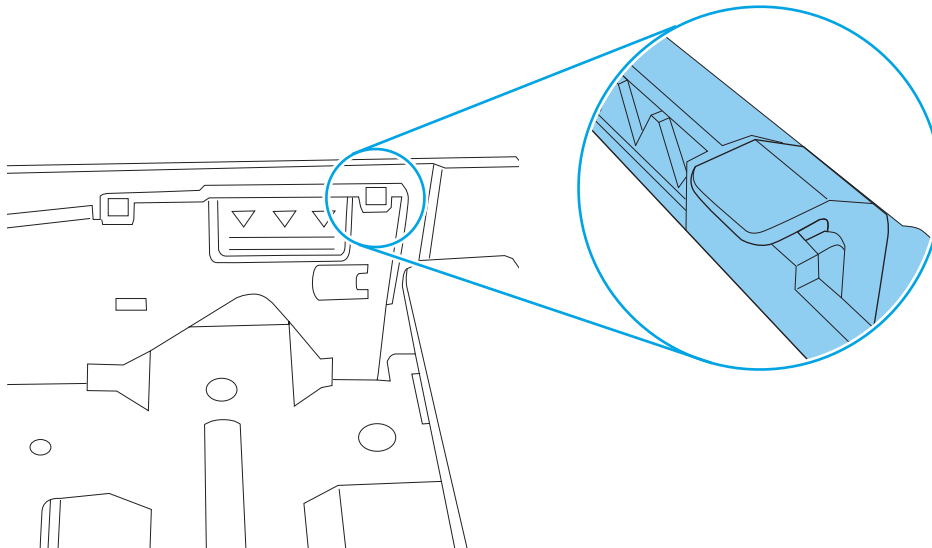



図 9-7 用紙束用のつまみ



6. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

 **注記:** 用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

図 9-8 トレイ1または汎用トレイのサイズマーク

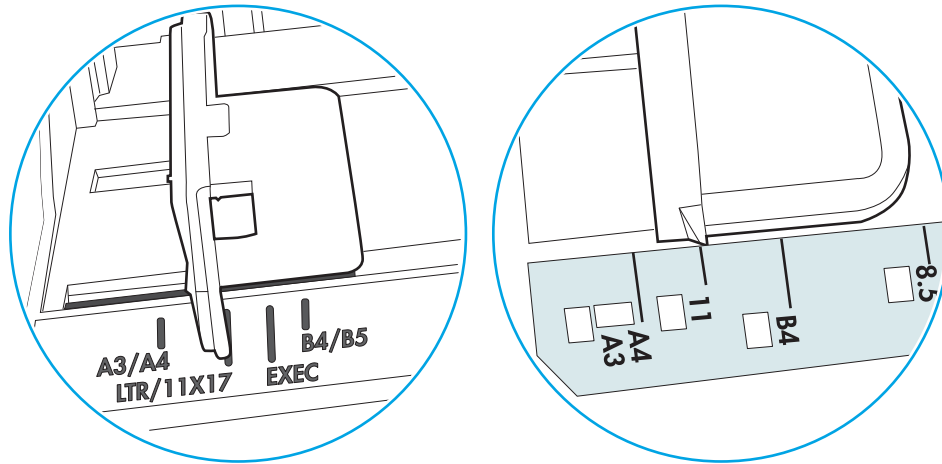
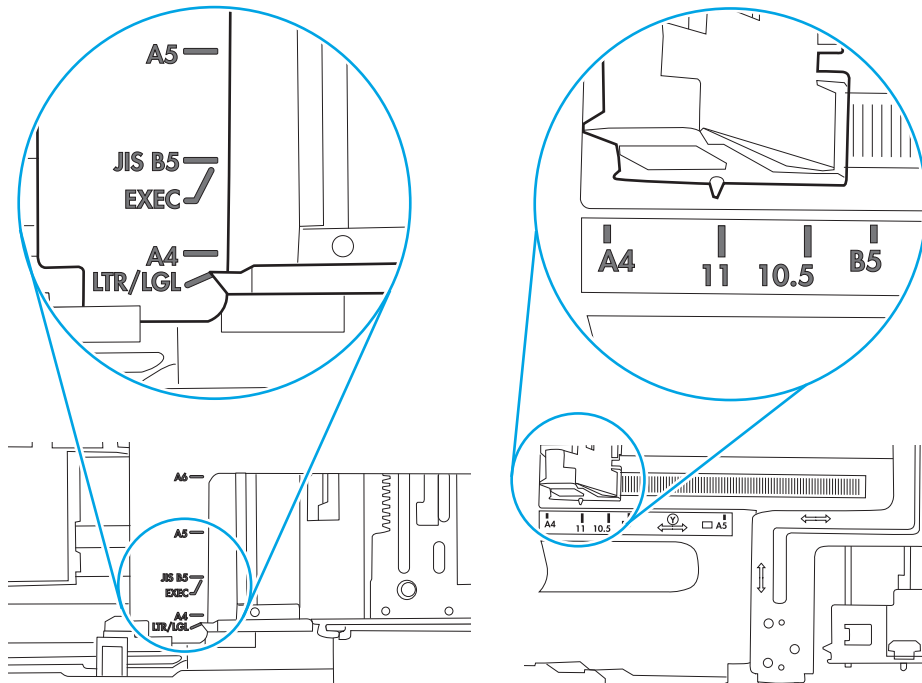


図 9-9 カセットトレイのサイズマーク



7. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる

 **注記:** この情報は、MFP プリンタのみに適用されます。

- 原稿にステイプルまたはシールなどが付着している可能性があります。これらは取り外す必要があります。
- すべてのローラーが正しい場所にあり、文書フィーダ内のローラー アクセスカバーが閉じていることを確認します。
- 文書フィーダの上部カバーが閉じていることを確認します。
- ページが正しくセットされていない可能性があります。ページをまっすぐにそろえて、スタックが中央になるように用紙ガイドを調整します。
- 用紙ガイドを適切に機能させるには、用紙ガイドが用紙スタックの両側に接触している必要があります。用紙スタックをまっすぐにそろえて、用紙ガイドを用紙スタックに合わせます。
- 文書フィーダの給紙トレイまたは排紙ビンに最大枚数を超えるページが置かれている可能性があります。用紙スタックが給紙トレイのガイドの下に収まっていることを確認し、排紙ビンからページを取り除きます。
- 紙の断片、ステイプル、クリップ、またはその他のごみが用紙経路にないことを確認します。
- 文書フィーダ ローラーと仕分けパッドをクリーニングします。エアスプレー、またはぬるま湯で湿らせた繊維の残らない布を使用します。それでも給紙ミスが解決しない場合は、ローラーを交換します。
- プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[サプライ品](#) ボタンまでスクロールしてタッチします。文書フィーダキットのステータスを確認して、必要な場合には交換します。

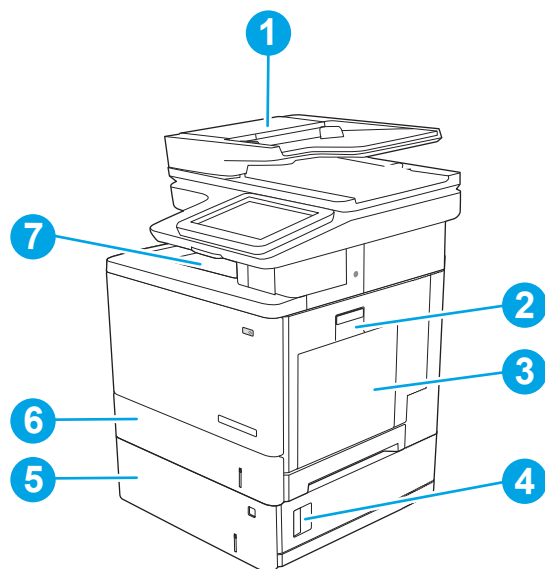
紙詰まりの解消

はじめに

次の情報には、プリンタの紙詰まりを解消する手順が含まれています。

- [紙詰まりの場所](#)
- [自動ナビゲーションによる紙詰まり解消](#)
- [紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する](#)
- [文書フィーダの紙詰まりの解消](#)
- [13.B2.D1トレイ1での紙詰まり](#)
- [13.B2.D2トレイ2での紙詰まり](#)
- [13.A3、13.A4、13.A5トレイ3、トレイ4、トレイ5での紙詰まり](#)
- [13.Bの右のドアおよびフューザ部分での紙詰まり](#)
- [13.E1 排紙ピンでの紙詰まり](#)
- [13.8 ステイプル詰まり](#)

紙詰まりの場所



1	文書フィーダ
2	右のドアおよびフューザエリア
3	トレイ1
4	右下ドア
5	オプションの550枚収納用紙トレイ


6	トレイ 2
7	排紙ピン

自動ナビゲーションによる紙詰まり解消

コントロールパネルに表示される操作手順によって、紙詰まり解消をサポートする機能です。すべての操作手順を完了するまで、1つの手順を完了すると、次の手順に関する指示が表示されます。

紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する

紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

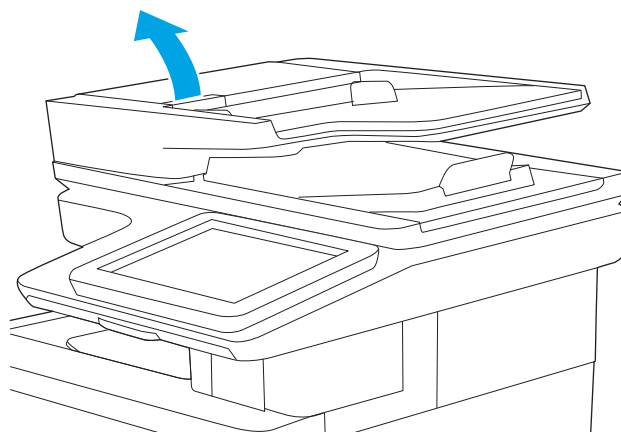
 **注記：**紙詰まりの発生回数を減らすようにする用紙のセット方法を説明するビデオを再生するには、[ここ](#)をクリックしてください。

1. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
2. しわ、折り目、損傷がない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。
3. プリントまたはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。
7. 厚紙、エンボス加工された用紙、またはミシン目が入っている用紙にプリントする場合、手動用紙送り機能を利用し、一度に1枚ずつ用紙を送ります。
8. プリンタのコントロールパネルで **トレイ** メニューを開きます。トレイが用紙のタイプとサイズに合わせて適切に設定されていることを確認します。
9. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

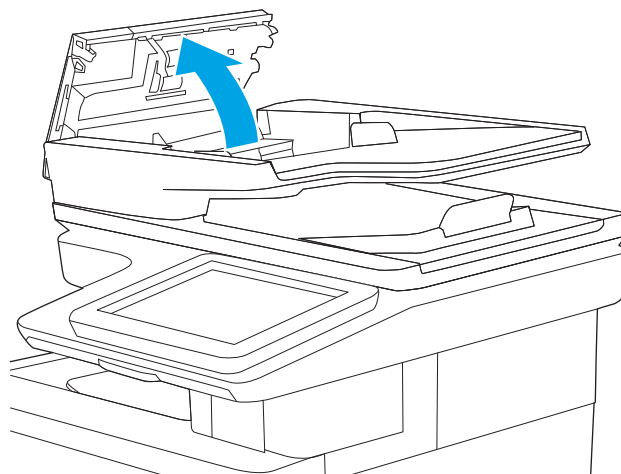
文書フィーダの紙詰まりの解消

以下の情報は、文書フィーダの紙詰まりを解消する方法について説明するものです。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

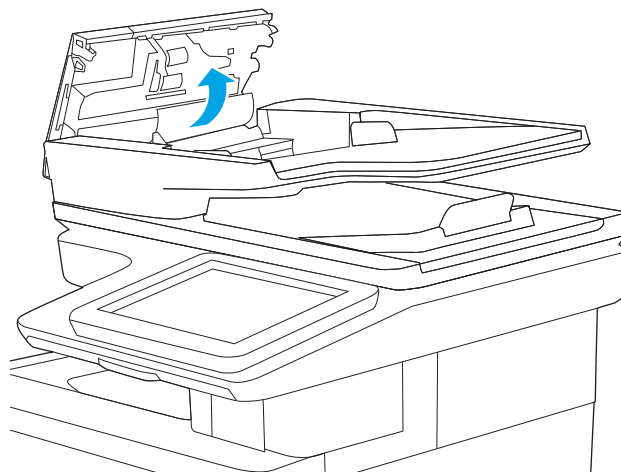
1. ラッチを持ち上げて、文書フィーダのカバーを解放します。



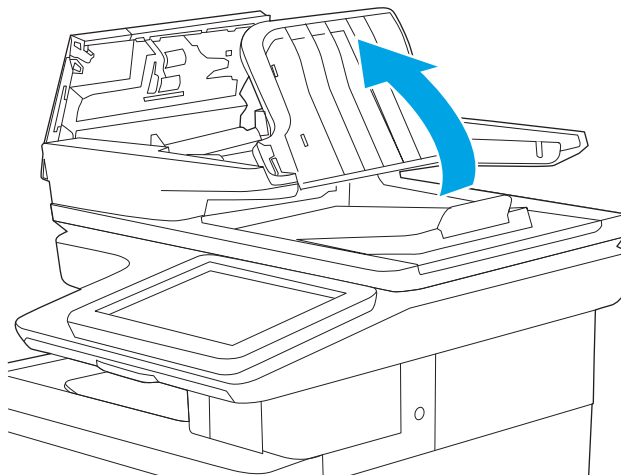
2. 文書フィーダのカバーを開けます。



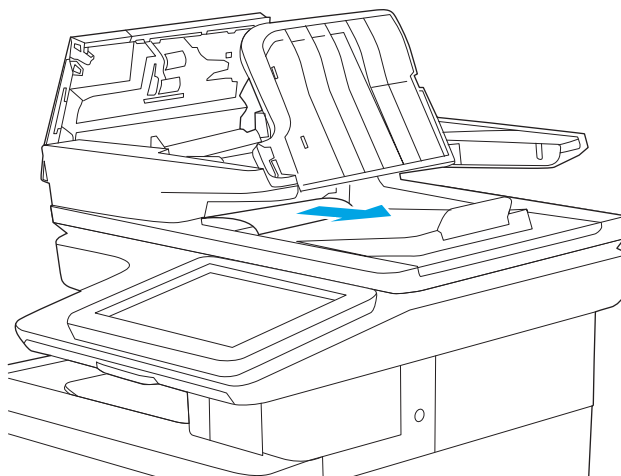
3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



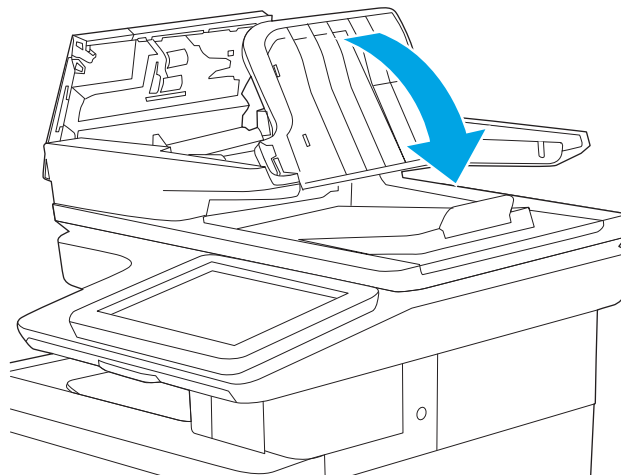
4. 文書フィーダの給紙トレイを持ち上げます。



5. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。

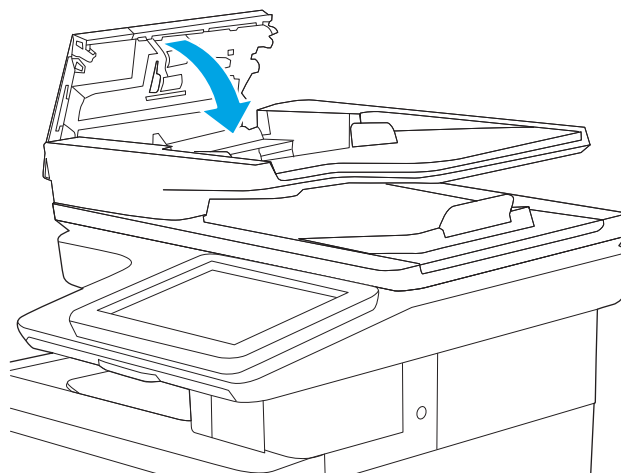



6. 文書フィーダの給紙トレイを下げます。




7. 文書フィーダのカバーを閉じます。

注記：文書フィーダのカバーの上部に付いているラッチが完全に閉じていることを確認します。



 **注記：**紙詰まりを防ぐため、文書フィーダ給紙トレイのガイドが文書に合わせて調整されており、文書が曲がっていないことを確認します。幅の狭い文書をコピーする場合は、フラットベッド スキャナを使用します。ステイプルや用紙クリップはすべて原稿から取り外してください。

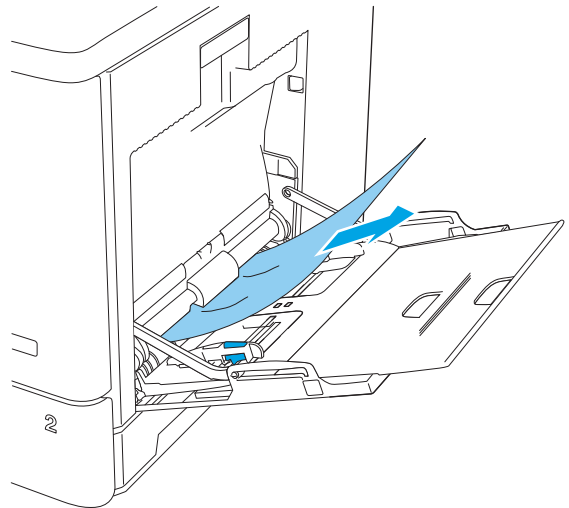
 **注記：**原稿を厚手光沢紙に印刷する場合は、普通紙に印刷するよりも紙詰まりが発生しやすくなります。

13.B2.D1 トレイ 1 での紙詰まり

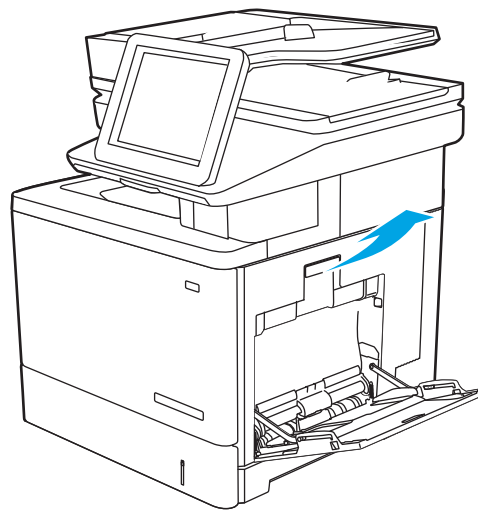
以下の手順を使用して、トレイ 1 に関連する場所で詰まりが発生している可能性があるすべての場所の用紙を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. 用紙のほぼ全体がトレイに見える場合は、詰まった用紙をゆっくりとプリンタから引き抜きます。用紙全体が取り除かれていることを確認します。詰まった用紙が破れた場合は、続けて次の手順を実行し、残った用紙を見つけてみます。

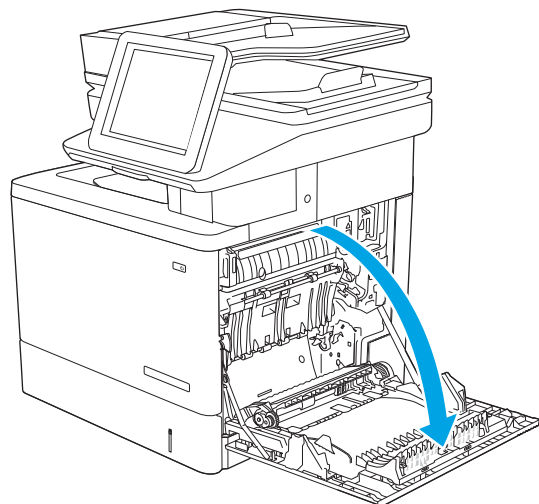
用紙の大部分がプリンタ内部に引き込まれている場合は、次の手順を続行します。



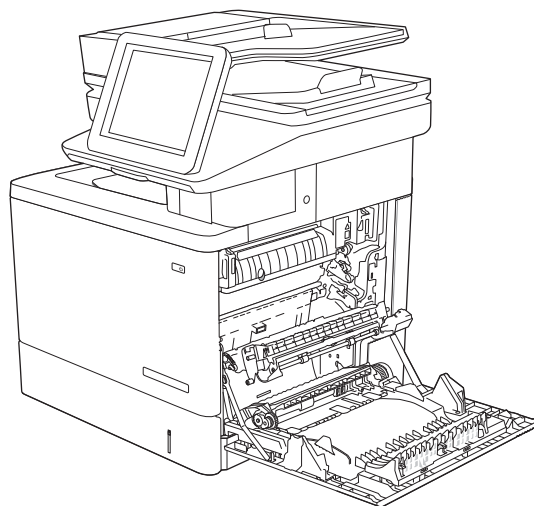
2. 右ドアのラッチを持ち上げて外します。



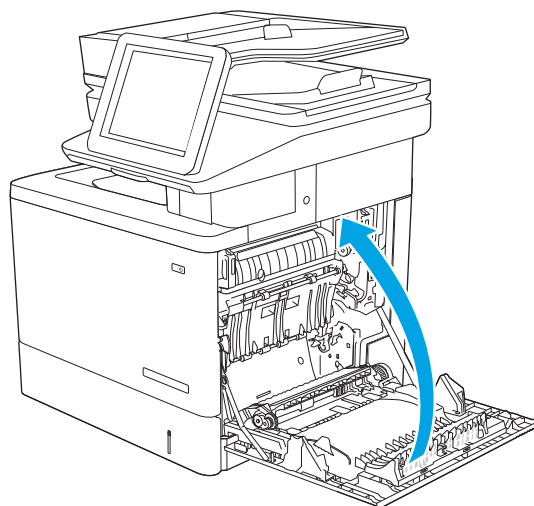
3. 右のドアを開きます。



4. 詰まった用紙があれば、丁寧に引き抜きます。



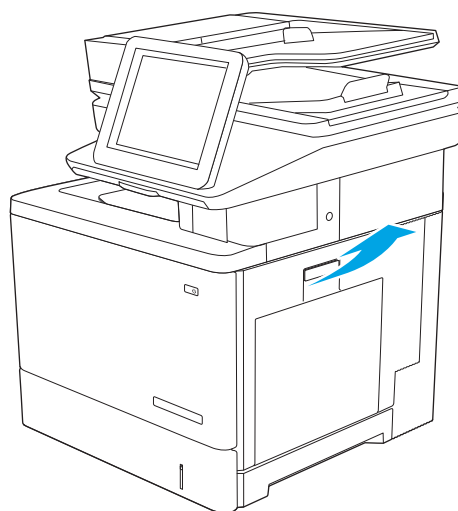
5. 右のドアを開めます。



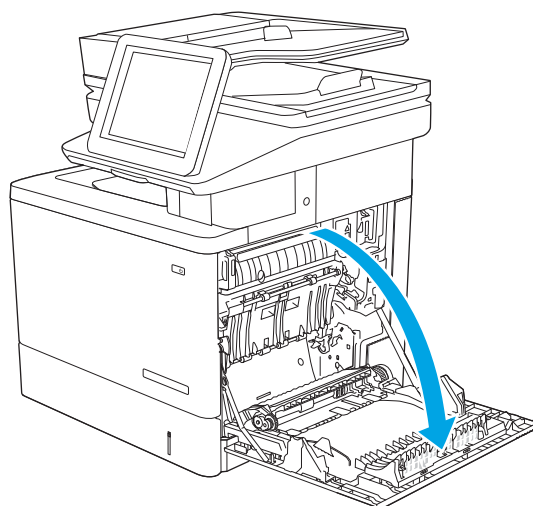
13.B2.D2 トレイ 2 での紙詰まり

以下の手順を使用して、トレイ 2 に関連する場所で詰まりが発生している可能性があるすべての場所の用紙を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

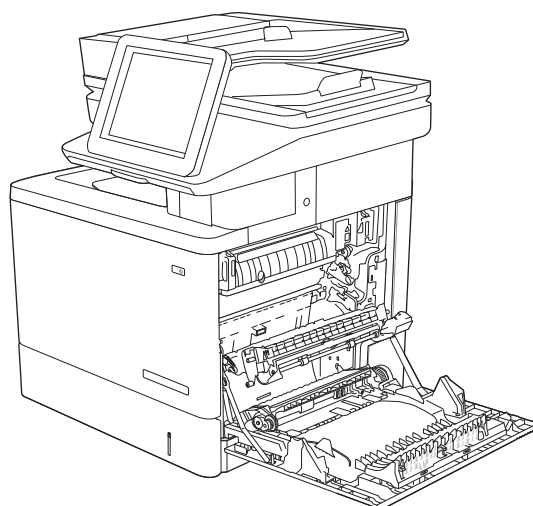
1. 右ドアのラッチを持ち上げて外します。



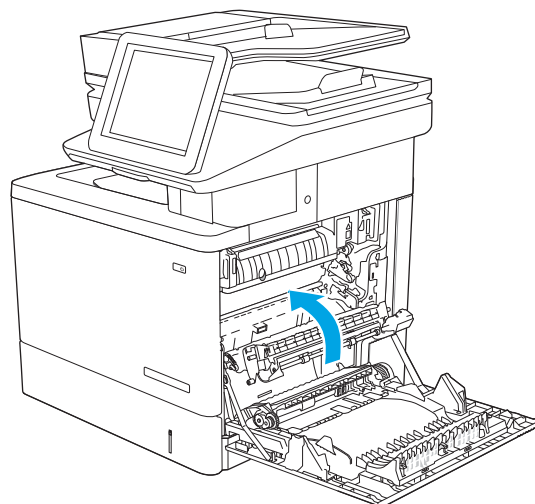
2. 右のドアを開きます。



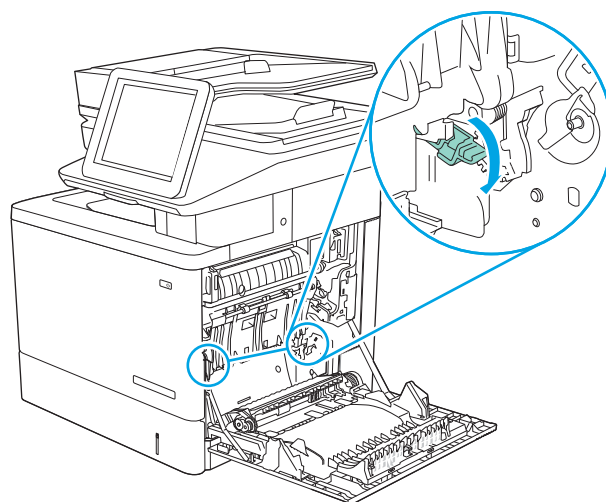
3. ピックアップエリアから詰まった用紙を丁寧に引き抜きます。



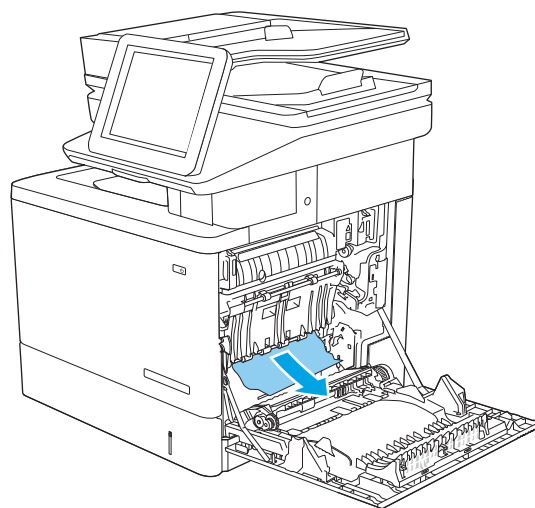
4. トランスファー アセンブリを閉じます。



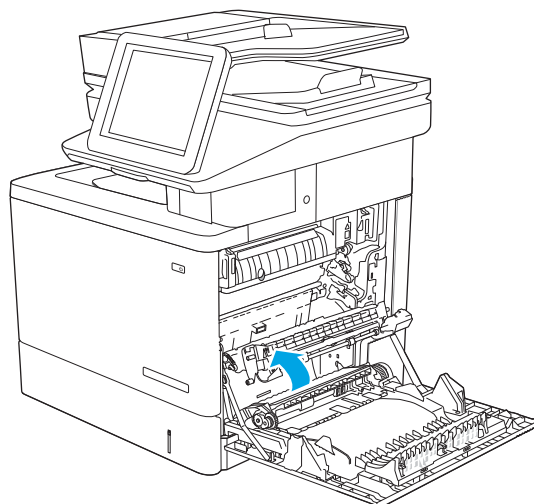
5. 緑色のレバーを押し下げて、紙詰まりアクセスカバーを解除します。



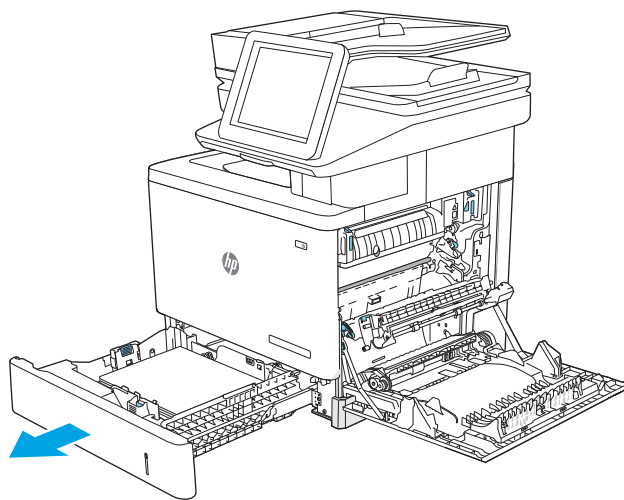
6. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。用紙が破れる場合は、残っているものをすべて取り除きます。



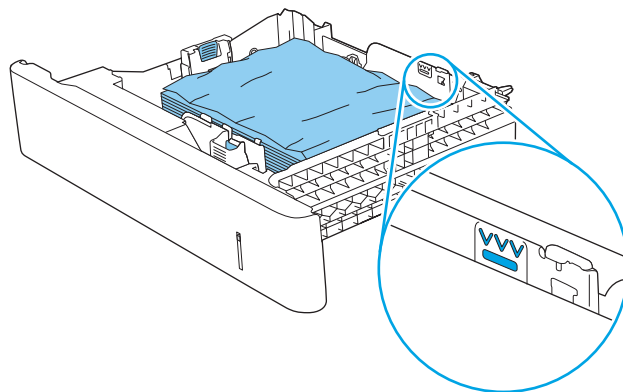
7. 紙詰まりアクセスカバーを閉じて、トランスファアセンブリを下げます。



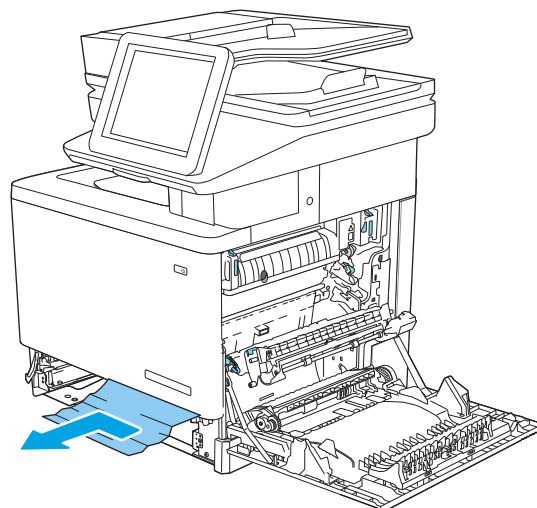
8. トレイを引き出し、少し持ち上げてプリンタから完全に取り出します。



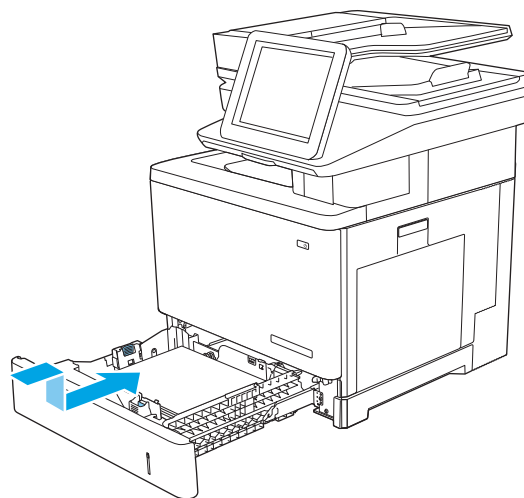
9. 詰まっている用紙や傷んだ用紙があれば取り除きます。トレイにセットされている用紙が多すぎないか、用紙ガイドが適切に設定されているかを確認してください。



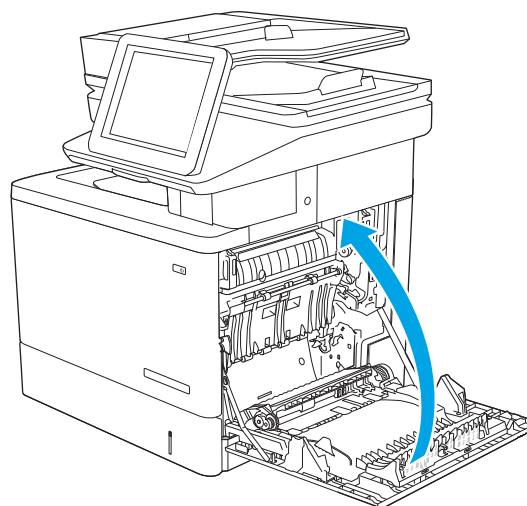
10. プリンタ内部のフィードローラーから用紙をすべて取り除きます。まず用紙を左側に引いて解放し、次に前方に引いて取り除きます。



11. トレイを再度取り付けて閉じます。



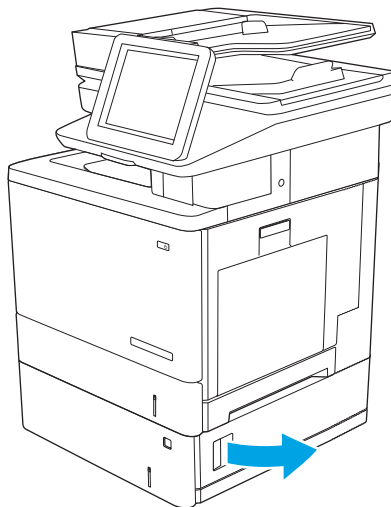
12. 右のドアを開めます。



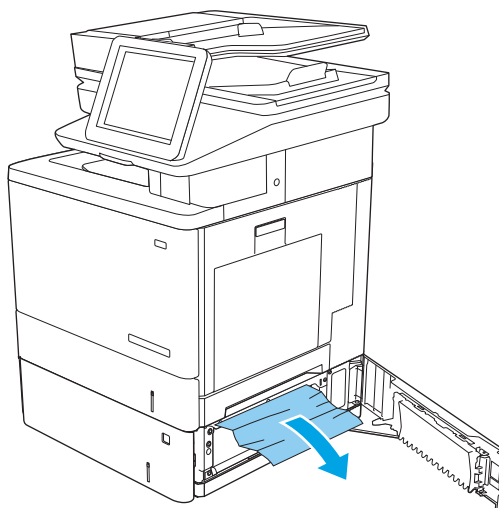
13.A3、13.A4、13.A5 トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 での紙詰まり

以下の手順に従って、オプションの 550 枚用紙フィーダに関連する、紙詰まりが発生している可能性があるすべての場所に用紙が詰まっていないか確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

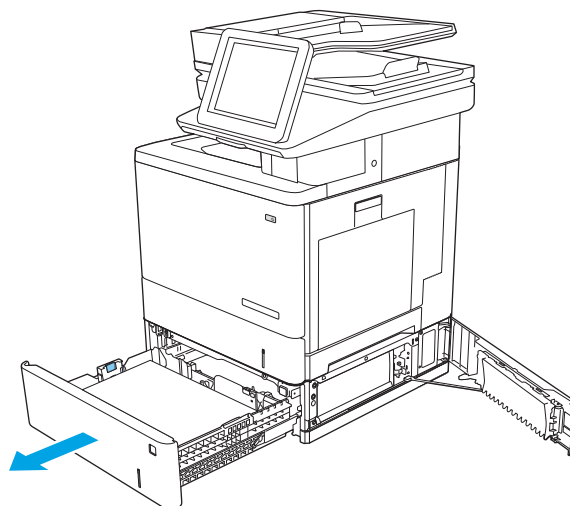
1. 右下のドアを開きます。



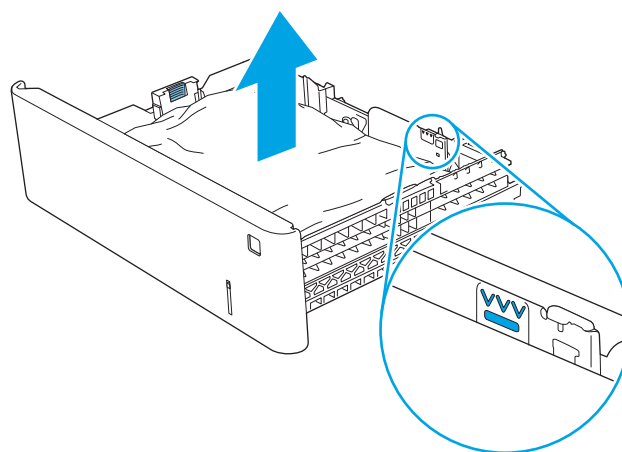
2. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。



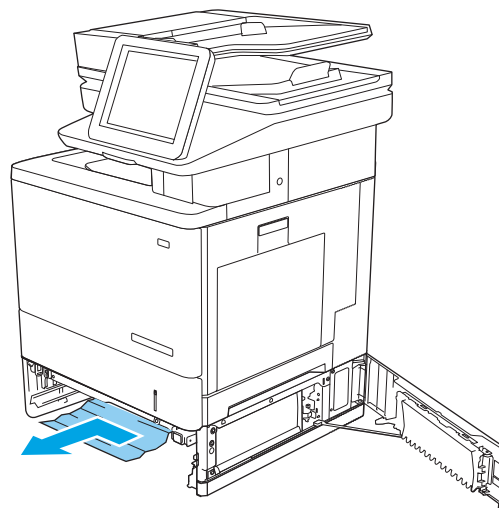
3. トレイを引き出し、少し持ち上げてプリンタから完全に取り出します。



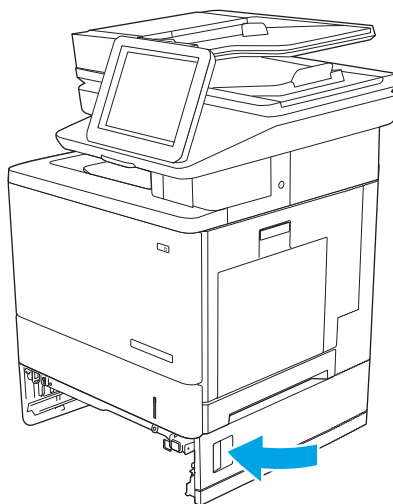
4. 詰まっている用紙や傷んだ用紙があれば取り除きます。トレイにセットされている用紙が多すぎないか、用紙ガイドが適切に設定されているかを確認してください。



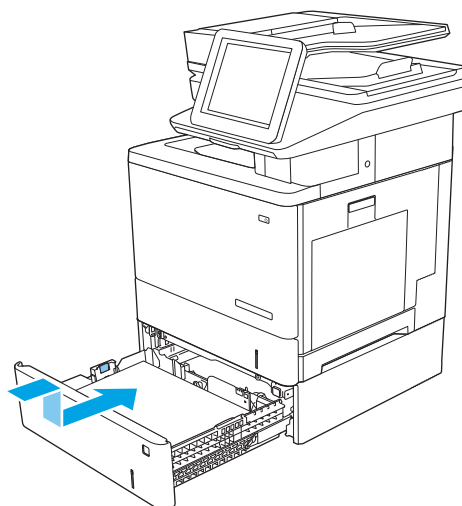
5. プリンタ内部のフィードローラーから用紙をすべて取り除きます。まず用紙を左側に引いて解放し、次に前方に引いて取り除きます。



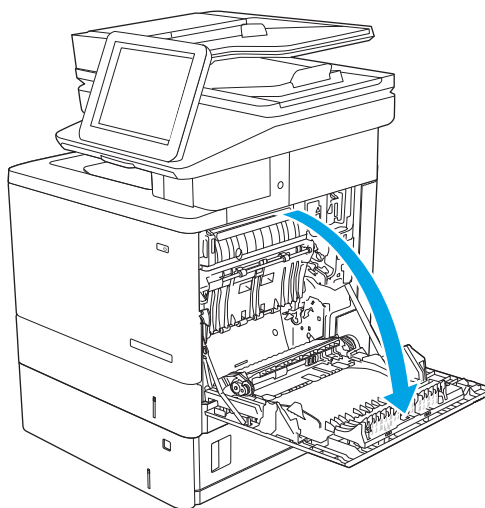
6. 右下のドアを閉じます。



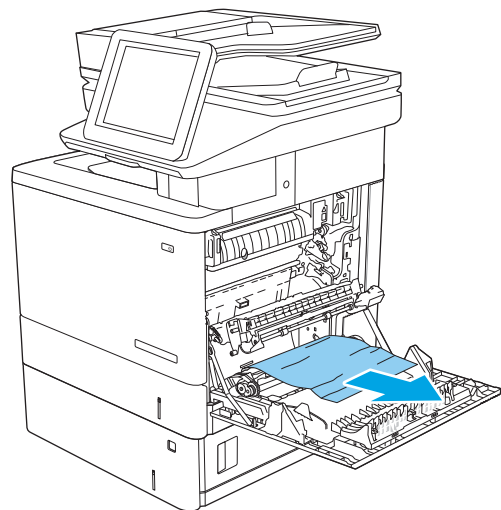
7. トレイを再度取り付けて閉じます。



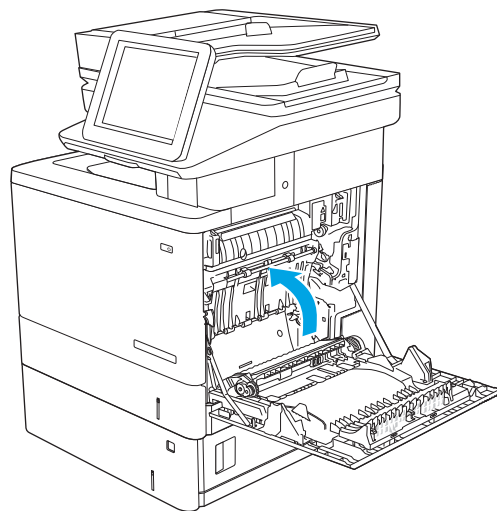
8. 右のドアを開きます。



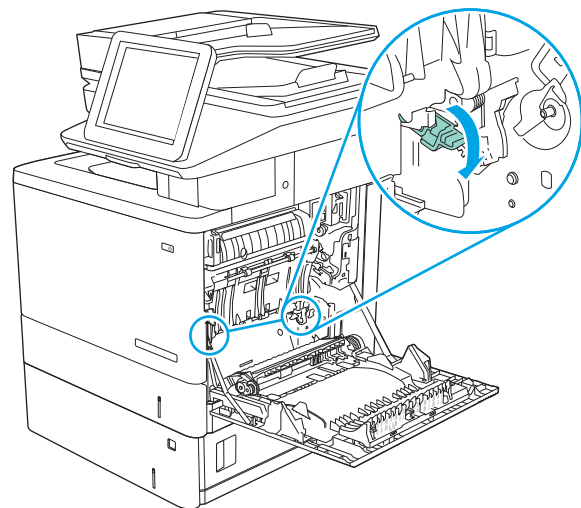
9. ピックアップエリアから詰まった用紙を丁寧に引き抜きます。



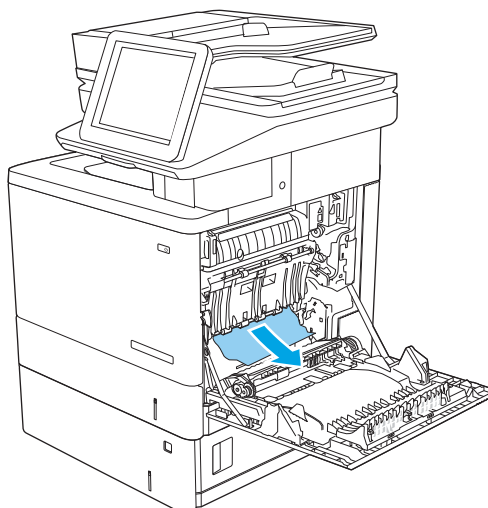
10. トランスファー アセンブリを閉じます。



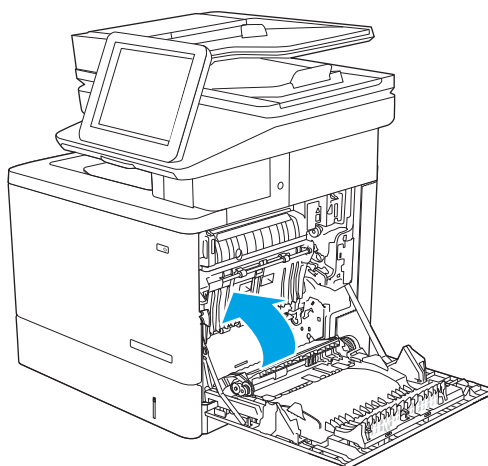
11. 緑色のレバーを押し下げて、紙詰まりアクセスカバーを解除します。



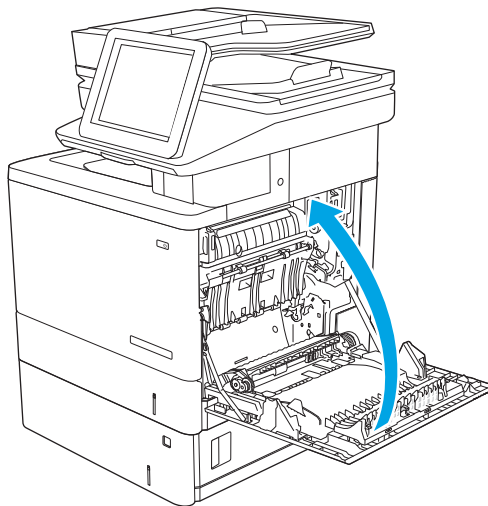
12. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。
用紙が破れる場合は、残っているものをすべて取り除きます。



13. 紙詰まりアクセスカバーを閉じて、トランスファーアセンブリを下げます。



14. 右のドアを閉めます。

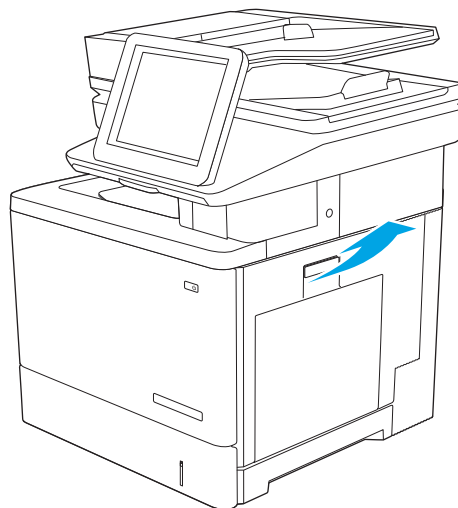


13.B の右のドアおよびフューザ部分での紙詰まり

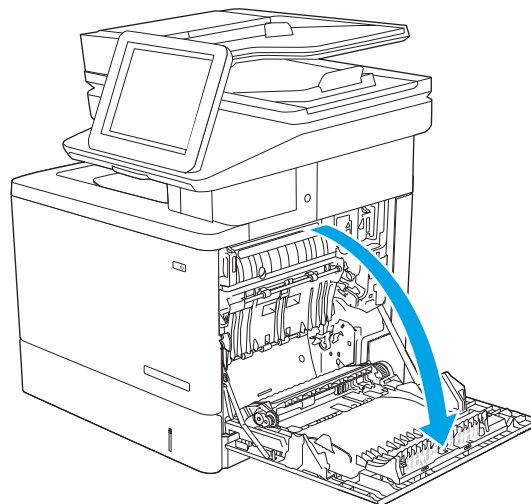
以下の手順を使用して、右のドア内部で詰まりが発生している可能性があるすべての場所の用紙を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

⚠ 注意 : フューザは、製品の使用中高温になっている可能性があります。フューザが冷めるまで待つてから作業を行ってください。

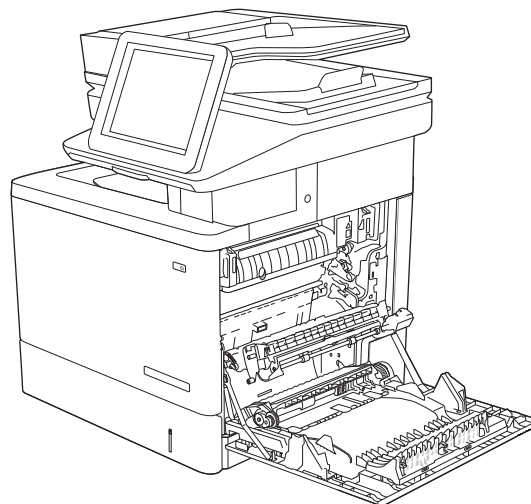
1. 右ドアのラッチを持ち上げて外します。



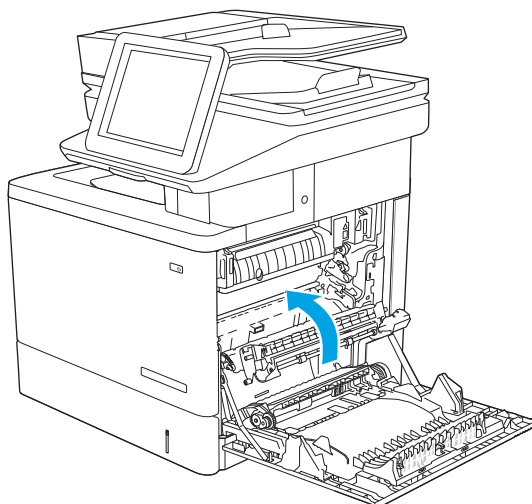
2. 右のドアを開きます。



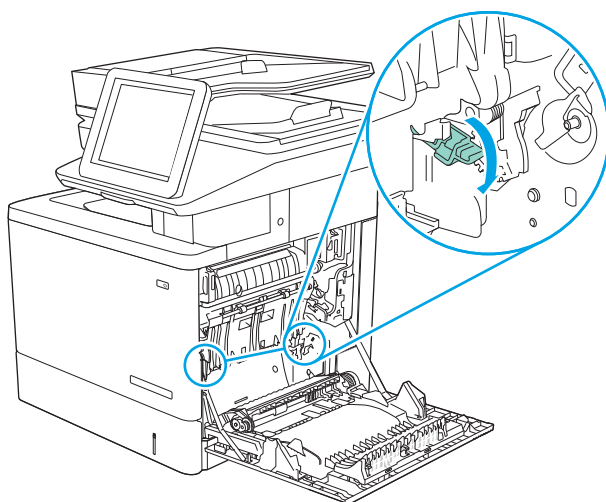
3. ピックアップエリアから詰まった用紙を丁寧に引き抜きます。



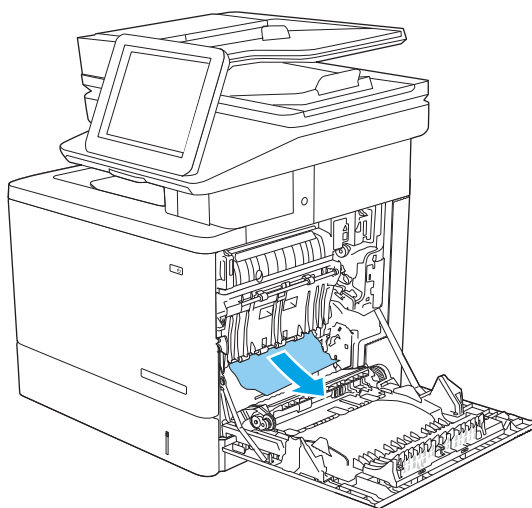
4. トランスファー アセンブリを閉じます。



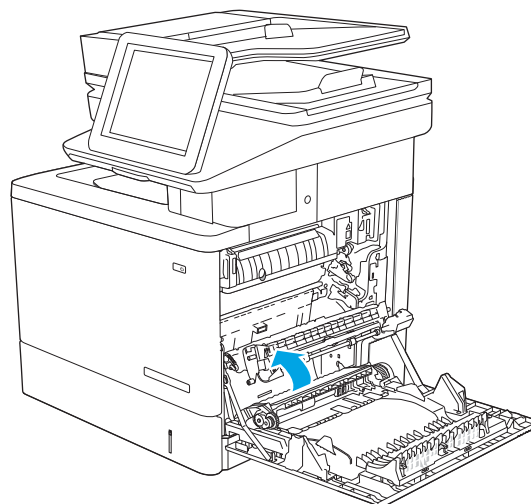
5. 緑色のレバーを押し下げて、紙詰まりアクセスカバーを解除します。



6. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。用紙が破れる場合は、残っているものをすべて取り除きます。

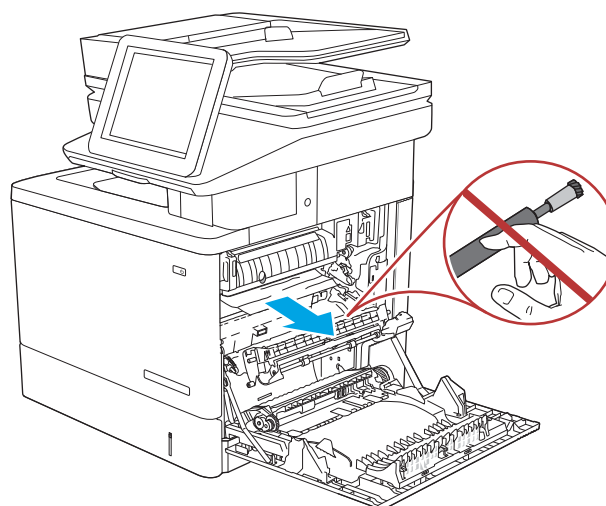


7. 紙詰まりアクセスカバーを閉じて、トランスファーアセンブリを下げます。

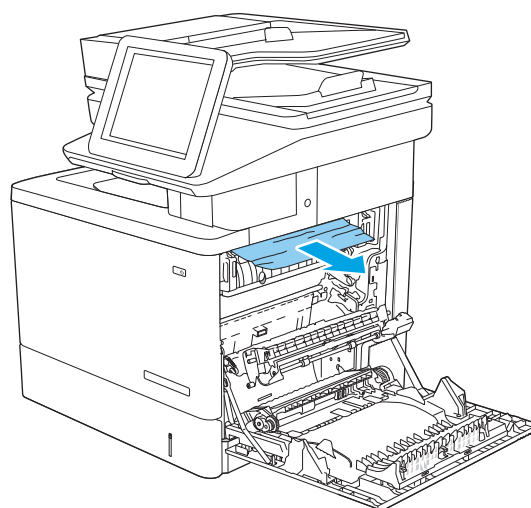


8. フューザの下部に詰まっている用紙が見える場合は、下方方向にゆっくりと引いて取り除きます。

注意：トランスファーローラーの発泡体に触らないようにしてください。汚れると印刷品質が低下するおそれがあります。

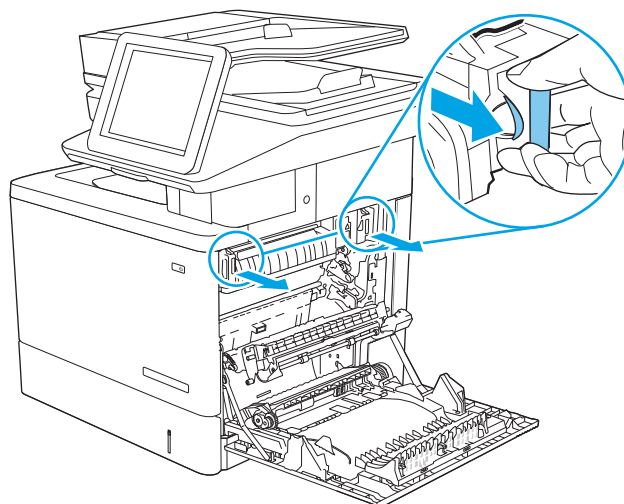


9. 排紙ビンに入りかけた用紙がある場合は、丁寧に引き出して取り除きます。



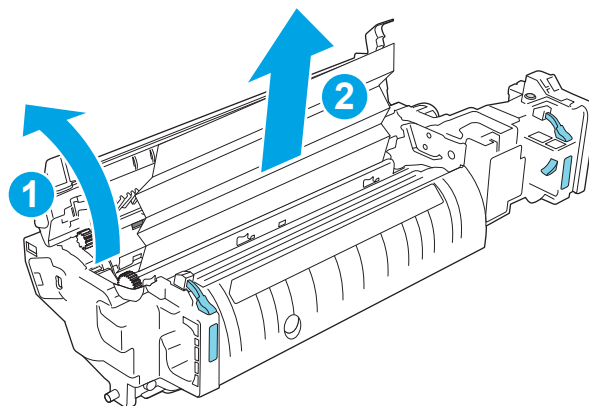
10. フューザ内部の見えないところに用紙が詰まっている場合があります。フューザハンドルをつかんで少し持ち上げてからまっすぐに引き、フューザを取り外します。

注意：フューザは、製品の使用中高温になっている可能性があります。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。

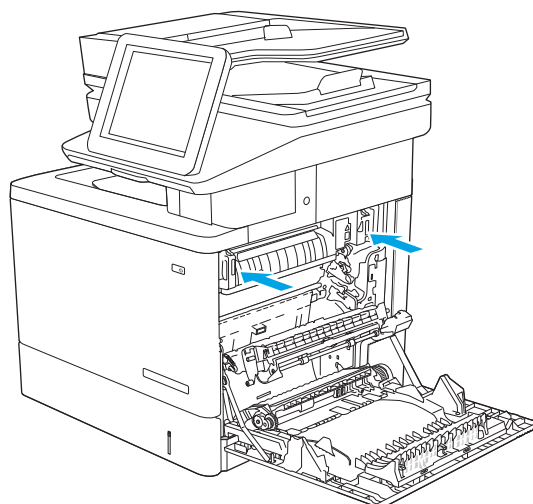


11. 紙詰まりアクセスドアを開きます。フューザ内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりとまっすぐに引いて取り除きます。用紙が破れた場合は、紙片をすべて取り除いてください。

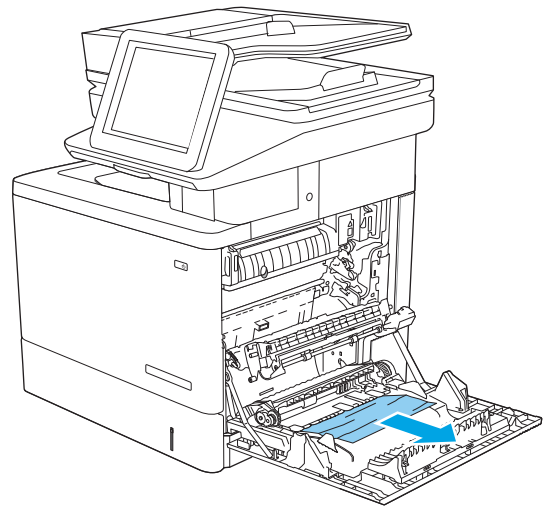
注意：フューザ本体が冷めていても、内部のローラーがまだ熱いことがあります。フューザローラーが冷めるまで、触らないようにしてください。



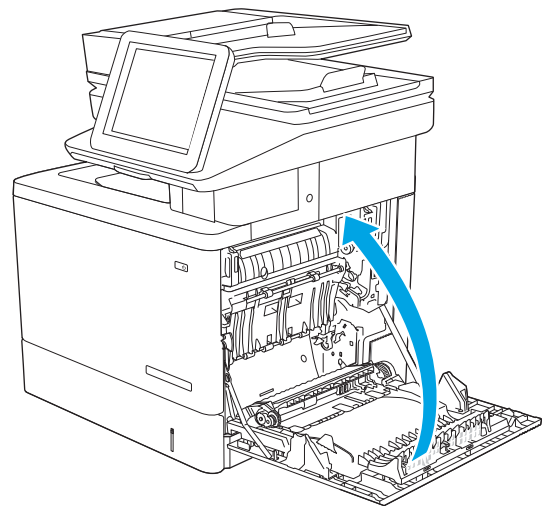
12. 紙詰まりアクセスドアを閉じ、フューザをカチッと音がして固定されるまでプリンタに完全に押し込みます。



13. 右ドア内側の両面印刷経路に詰まった用紙がないか確認します。詰まっている場合は取り除きます。



14. 右のドアを閉めます。



13.E1 排紙ビンでの紙詰まり

以下の手順を使用して、排紙ビンの紙詰まりを解消します。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. 排紙ビン内の用紙が見える場合は、上端をつかんで取り除きます。

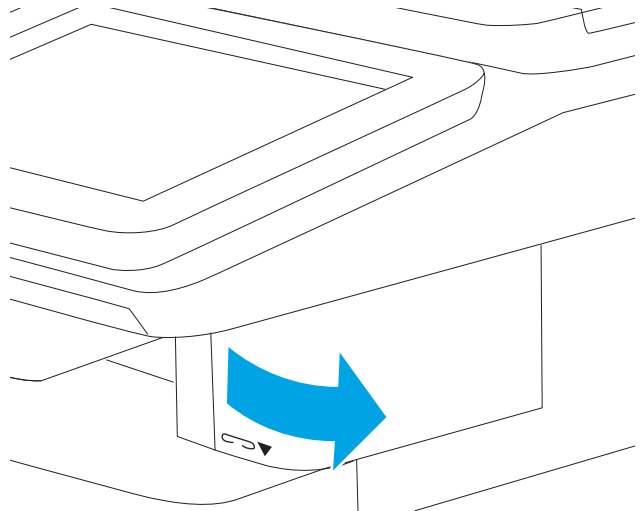


13.8 スティプル詰まり

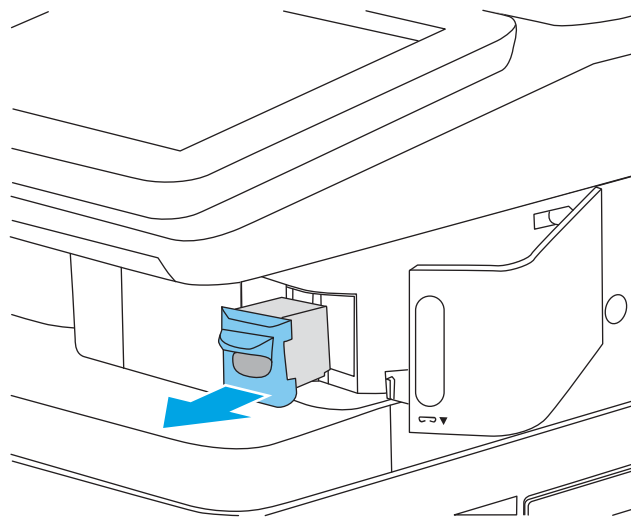
以下の手順を使用して、スティプラに詰まっている紙を取り除いてください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. スティプラのドアを開きます。

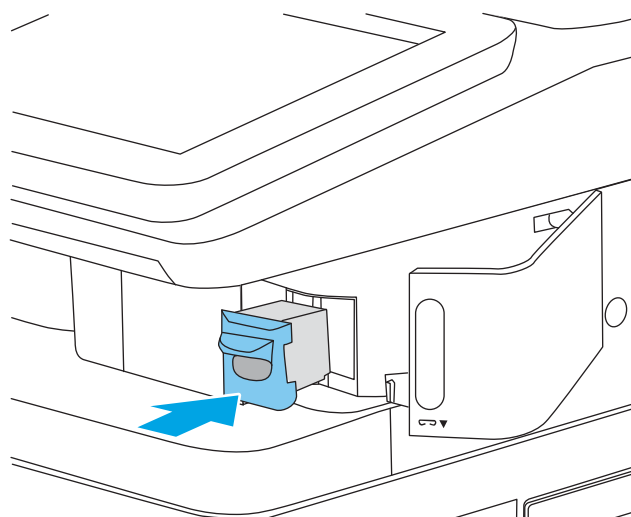
注記：スティプラのドアを開くとスティプラが使用できなくなります。



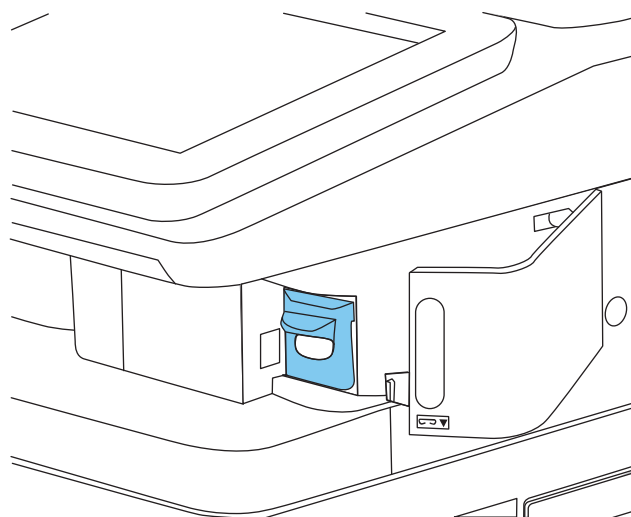
2. プリンタからステイプルカートリッジを取り外します。



3. ステイプラのドアの内側にある開口部にステイプルカートリッジを再度挿入します。



4. ステイプラのドアを閉じます。



印刷品質の問題を解決する

はじめに

画像品質およびカラー品質の問題を含め、印刷品質の問題を解決するには、次の情報を使用します。
トラブルシューティングの手順は、次の問題の解決に役立ちます。

- 空白ページ
- 黒いページ
- カラーの位置が合わない
- 丸まった用紙
- 濃いまたは薄い縞
- 濃いまたは薄い縦線
- 不鮮明な印刷
- 灰色の背景または印刷が濃い
- 薄い印刷
- トナーが落ちやすい
- トナーがない
- トナーの汚れが点在している
- ゆがんだイメージ
- 汚れ
- 縞模様

印刷品質のトラブルシューティング

印刷品質の問題を解決するには、指示された順に以下の手順を試してください。

画像の特定の不具合に関するトラブルシューティングを行うには、「画像の不具合のトラブルシューティング」を参照してください。

プリンターのファームウェアをアップデートする

プリンタファームウェアのアップグレードを試行します。

別のソフトウェアプログラムからの印刷

別のソフトウェアプログラムを使って印刷してみます。ページが正しく印刷された場合は、印刷したソフトウェアプログラムに問題があります。

印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認

ソフトウェアプログラムから印刷し、印刷したページに汚れがある、印刷が不鮮明または濃い、用紙が丸まる、トナーの汚れが点在している、トナーが落ちやすい、またはトナーが印刷されない個所がある場合には、用紙タイプ設定を確認します。

プリンタでの用紙タイプ設定の確認

1. トレイを引き出します。
2. トレイに正しい種類の用紙がセットされていることを確認します。
3. トレイを閉じます。
4. トレイの用紙タイプ設定を確認または変更するには、コントロールパネルの手順に従います。

用紙タイプ設定の変更 (Windows)

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから、**[詳細...]** オプションをクリックします。
5. **[用紙の種類 :]** オプションのリストを展開します。
6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。
7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、**[OK]** ボタンをクリックします。
8. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。


用紙タイプ設定の確認 (macOS)

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** メニューで、プリンタを選択します。
3. デフォルトで、プリントドライバに **[部数とページ]** メニューが表示されます。メニューのドロップダウン リストを開いて、**[レイアウト]** メニューをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストからタイプを選択します。
5. **[印刷]** ボタンをクリックします。

トナーカートリッジステータスの確認

次の手順に従って、トナーカートリッジの推定残量を確認し、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

手順1：サプライ品ステータスページの印刷

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**レポート**メニューを選択します。
2. **設定/ステータスページ**メニューを選択します。
3. **サプライ品ステータスページ**を選択し、**[印刷]**  を選択してページを印刷します。

手順2：サプライ品ステータスのチェック

1. サプライ品ステータスのレポートを確認して、トナーカートリッジの残量の割合をチェックし、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

推定寿命に達したトナーカートリッジを使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。サプライ品の残量が非常に少なくなると、サプライ品ステータスページに表示されます。HPのサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対するHPのプレミアムプロテクション保証は終了します。

適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナーカートリッジを交換する必要はありません。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。

トナーカートリッジまたは他の交換可能なメンテナンス部品の交換が必要だと考えられる場合、**[サプライ品ステータスページ]**にHP純正品の部品番号が一覧表示されます。

2. HP純正のカートリッジを使用しているかどうかを確認します。

HP純正のトナーカートリッジには、「HP」という文字、またはHPのロゴがプリントされています。HP製カートリッジの確認方法については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。

クリーニングページの印刷

印刷処理中に紙くず、トナー、埃がプリンタ内部にたまり、これが原因でトナーの染みやはね、汚れ、かすれ、筋、同じ汚れの繰り返しなどの印刷品質の問題が発生することがあります。

次の手順に従って、プリンタの用紙経路をクリーニングします。

1. トレイ1に普通紙をセットします。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サポートツール**メニューを選択します。
3. 以下のメニューを選択します。
 - **メンテナンス**
 - **校正/クリーニング**
 - **クリーニングページ**
4. **[印刷]** を選択して、ページを印刷します。

プリンタのコントロールパネルに**クリーニング中...**のメッセージが表示されます。クリーニングプロセスは数分で完了します。クリーニングプロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

トナーカートリッジを目視で検査します。

次の手順に従って、各トナーカートリッジを確認します。

1. プリンタからトナーカートリッジを取り外し、密閉テープがはがされていることを確認します。
2. メモリチップに損傷がないか確認します。
3. 緑色のイメージングドラムの表面を確認します。

△注意：イメージングドラムには触れないでください。イメージングドラムに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。

4. イメージングドラムに傷、指紋、またはその他の損傷が見られる場合は、トナーカートリッジを交換します。
5. トナーカートリッジを再度取り付け、試しに印刷を行い、問題が解決されているかどうか確認します。

用紙および印刷環境の確認

手順 1：HP 仕様を満たす用紙の使用

HP の仕様を満たしていない用紙を使用すると、次のような印刷品質の問題が発生する場合があります。

- タイプと重量がこのプリンタでサポートされている用紙を必ず使用してください。
- 傷、裂け目、しみ、ほぐれ、ほこり、しわなどがなく、端がめくれていたり折れたりしていない良質の用紙を使用します。
- 未印刷の用紙を使用します。
- グリッターなどの金属素材を含まない用紙を使用します。
- レーザープリンタ用の用紙を使用します。インクジェット式プリンタ専用の用紙は使用しないでください。
- あまりしわのない用紙を使用します。一般に、用紙にしわが少ないほど、印刷品質が良好になります。

手順 2: 環境の確認

環境は印刷品質に直接影響する可能性があり、印刷品質や給紙の問題の原因になることがよくあります。次のソリューションを実行してみてください。

- 開け放した窓やドア、空調システムの排気口などの空気の流れが生じる場所から離れたところにプリンタを設置し直します。
- 温度または湿度がプリンタの仕様を超える環境にプリンタが設置されていないことを確認します。
- プリンタをキャビネットなどの密閉された場所に設置しないようにします。
- プリンタを平らで安定した面に設置します。
- プリンタの通気孔をふさがないようにします。上部も含めて、プリンタのすべての面の周囲に十分な空気が流れている必要があります。
- 空気中のごみ、ほこり、蒸気、油脂、またはその他の物質がプリンタ内部に蓄積しないようプリンタを保護します。

手順3：各トレイ位置の設定

特定のトレイから印刷したときに、印刷されたページでテキストやイメージが用紙の中心にない場合や適切な位置に調整されていない場合は、次の手順に従います。

1. トレイ 1 に普通紙をセットします。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** メニューを選択します。
3. 以下のメニューを選択します。
 - **コピー/印刷** または **印刷**
 - **印刷品質**
 - **イメージレジストレーション**
4. **トレイ** ボタンを選択し、調整するトレイを選択します。
5. **テストページの印刷** に選択してから、印刷したページに表示されている指示に従います。
6. **テストページの印刷** を再度選択して結果を確認し、必要に応じて、さらに調整します。
7. **完了** を選択して新しい設定を保存します。

別のプリントドライバで試行

ソフトウェア プロファイルから印刷しているときに、印刷ページのグラフィックスに予期しない線が印刷されている、テキストやグラフィックスが印刷されない、誤った形式または代替フォントが使用されている場合には、別のプリントドライバを試してください。

次のいずれかのドライバを HP の Web サイトからダウンロードします。www.hp.com/support/colorijM578MFP。

HP PCL 6 V3 ドライバ	このプリンタ固有のプリントドライバは、Windows 7 およびバージョン 3 のドライバをサポートする新しいオペレーティングシステムをサポートしています。対応オペレーティングシステムの一覧は、 www.hp.com/go/support を参照してください。
HP PCL-6 V4 ドライバ	このプリンタ固有のプリントドライバは、Windows 8 およびバージョン 4 のドライバをサポートする新しいオペレーティングシステムをサポートしています。対応オペレーティングシステムの一覧は、 www.hp.com/go/support を参照してください。
HP UPD PS ドライバ	<ul style="list-style-type: none">● Adobe® ソフトウェア プログラム、または他の高グラフィックス集約型ソフトウェア プログラムを使用して印刷する場合に推奨● PostScript エミュレーションからの印刷、または PostScript フラッシュ フォントをサポート
HP UPD PCL 6	<ul style="list-style-type: none">● すべての Windows 環境での印刷に推奨● ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、印刷機能サポートが最適● Windows グラフィック デバイス インタフェース (GDI) を使用することで Windows 環境で最高の速度を実現● PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムと完全な互換性がない場合がある

カラー品質のトラブルシューティング

プリンタを校正してカラーを調整

校正は、印刷品質を最適化するプリンタ機能です。

カラーの位置不良、カラーのシャドウ、ぼやけたグラフィックスなどの印刷品質の問題を解決するには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サポート ツール** メニューを選択します。
2. 以下のメニューを選択します。

- **メンテナンス**
- **校正/クリーニング**
- **完全校正**

3. **スタート** ボタンを選択して、校正処理を開始します。

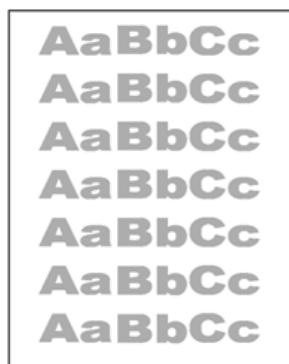
校正中 のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示されます。校正プロセスは2 ~ 3分で完了します。校正プロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。

4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度印刷してみます。

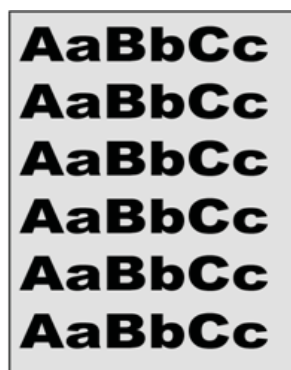
画像の不具合のトラブルシューティング

表 9-2 画像の不具合一覧のクイック リファレンス

[214 ページの表 9-10 「薄い印刷」](#)



[213 ページの表 9-8 「灰色の背景または印刷が濃い」](#)



[210 ページの表 9-5 「空白ページ印刷されない」](#)



表 9-2 画像の不具合一覧のクイックリファレンス(続き)

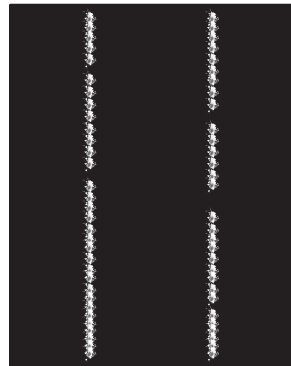
210 ページの表 9-4 「黒いページ」



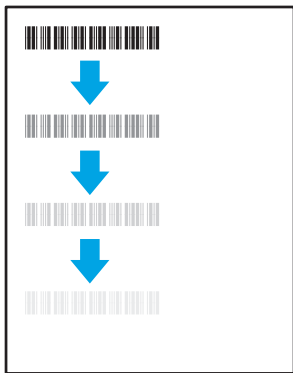
209 ページの表 9-3 「バンディングの発生」



216 ページの表 9-12 「縦線の不具合」



212 ページの表 9-7 「定着/フューザの不具合」



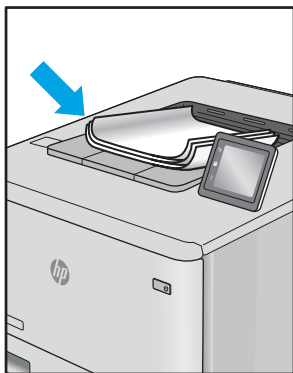
213 ページの表 9-9 「画像位置の不具合」



211 ページの表 9-6 「カラープレーンの見当不良(カラーモデルのみ)」




215 ページの表 9-11 「排紙の不具合」



画像の不具合は、どのような原因であれ、多くの場合同じ手順により解決できます。画像の不具合の問題を解決する最初の段階として、次の手順を実行します。

1. 文書を印刷します。印刷品質の不具合は、断続的に発生するものか、印刷を続けることで解決するものがあります。
2. カートリッジの状態を確認します。カートリッジが**非常にわずか**になっている場合 (製品寿命期を経過した場合)、カートリッジを交換します。
3. ドライバとトレイの印刷モード設定がトレイにセットされているメディアと一致していることを確認します。異なるメディアや別のトレイを使用してみます。別の印刷モードを使用してみます。
4. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。
5. 用紙のタイプ、サイズ、および重量がプリンタでサポートされていることを確認します。プリンタでサポートされる用紙のサイズやタイプの一覧については、プリンタのサポートページ (support.hp.com) を参照してください。

 **注記** : 「溶解」とは、トナーを用紙に定着させる印刷処理のことを意味しています。

以下の例は、プリンタの短辺を最初に移動するレターサイズ用の紙について説明しています。

表 9-3 バンディングの発生

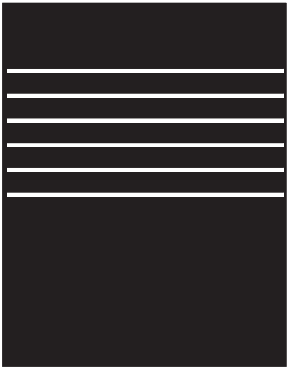
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページの長さ方向に向かって繰り返し現れる暗色または明色の線で、幅は広かったり、非常に細かったりします。これらの線は、くっきりしていたり、曖昧だったりします。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 別のトレイから印刷してみます。 3. カートリッジを交換します。 4. 異なるタイプの用紙を使用します。 5. エンタープライズモデルのみ : プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、用紙タイプの調整 メニューに移動し、使用しているメディアよりも少し厚手のメディアに対応する印刷モードを選択します。これにより、印刷速度が低下して印刷品質が向上する可能性があります。 6. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-4 黒いページ


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>印刷されたページ全体が黒くなります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カートリッジが損傷していないか目視で確認します。 2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 3. カートリッジを交換します。 4. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-5 空白ページ印刷されない


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページが完全に空白で、何も印刷されていません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カートリッジがHP 純正カートリッジであることを確認します。 2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 3. 別のカートリッジで印刷します。 4. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-6 カラー プレーンの見当不良 (カラー モデルのみ)


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>1つまたは複数のカラー プレーンと、他のカラー プレーンとの位置調整が不良です。この見当エラーは通常、イエローで発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. プリンタのコントロールパネルで、プリンタを校正します。 3. カートリッジが、非常にわずかになっている、または印刷物が激しく色あせている場合、カートリッジを交換してください。 4. プリンタのコントロールパネルから、校正の復元機能を使用して、プリンタの校正設定を出荷時のデフォルトにリセットします。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.comを参照してください。

表 9-7 定着/フューザの不具合

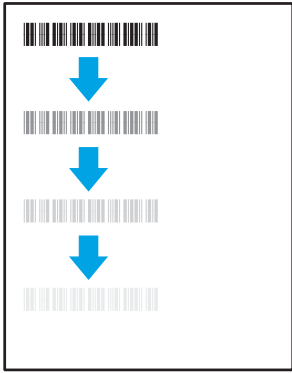
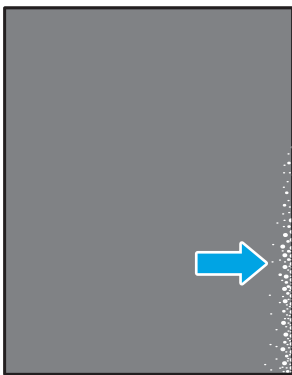
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>わずかなシャドウ(オフセット)のある画像が用紙に沿って繰り返し現れます。この画像は、繰り返すごとに徐々に消えていきます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。 3. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。
	<p>トナーがページの端に沿って付着します。この問題は多くの場合、印刷量の多いジョブのフチの部分に、薄いメディアを使用する場合に発生しますが、ページのどの部分でも発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、厚手の用紙に変えてみてください。 3. エンタープライズモデルのみ：プリンタのコントロールパネルから、最小マージンメニューに移動し、標準を選択します。文書を印刷します。 4. エンタープライズモデルのみ：プリンタのコントロールパネルで、自動的にマージンを含むを選択し、文書を再印刷します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-8 灰色の背景または印刷が濃い


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>画像やテキストが期待より暗かったり、背景がグレーになったりします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. トレイの用紙がプリンタで使用済みでないことを確認します。 2. 異なるタイプの用紙を使用します。 3. 文書を印刷します。 4. モノクロモデルのみ: プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、トナー濃度の調整メニューに移動し、トナー濃度のレベルを下げます。 5. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。 6. カートリッジを交換します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-9 画像位置の不具合


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>画像が中心に位置していない、またはページ上で傾いています。この不具合は、用紙がトレイから引き出された用紙が用紙経路を通るように適切に配置されていない場合に発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 用紙を取り出し、トレイをセットし直します。すべての用紙の端がすべての辺で平らになっていることを確認します。 3. 用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。トレイに用紙を入れすぎないでください。 4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙に適したサイズに合わせて調整します。用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-10 薄い印刷


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページ全体の印刷内容が薄く、色あせています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。 3. モノクロモデルのみ: コントロールパネルおよびプリンタドライバの両方で EconoMode の設定が無効になっていることを確認します。 4. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 5. サプライ品ステータスページを印刷し、カートリッジの寿命と使用状況を確認します。 6. カートリッジを交換します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-11 排紙の不具合

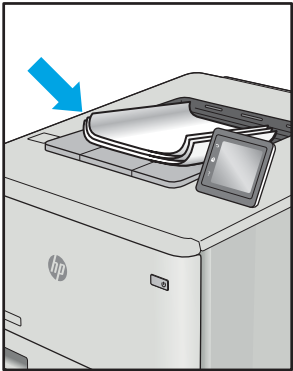
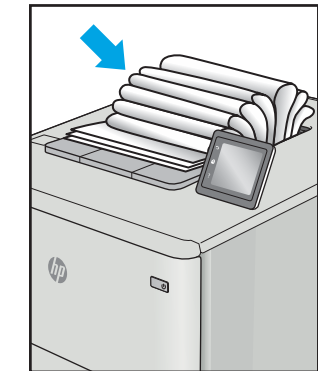
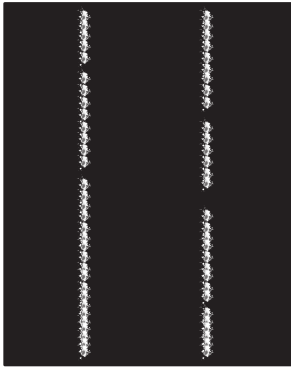
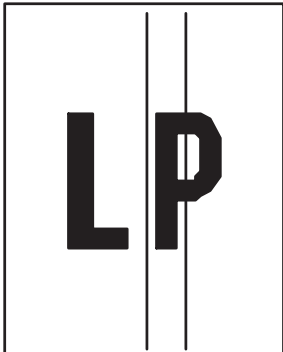
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>印刷された用紙の端が反り返っています。反り返りは、用紙の短辺または長辺に沿って発生します。反り返りには2つのタイプがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 正の反り返り：用紙が印刷面に向かって反り返ります。この不具合は、乾燥した環境で、または印刷量の多いページを印刷すると発生します。 ● 負の反り返り：用紙が印刷面とは反対方向に反り返ります。この不具合は、湿度の高い環境で、または印刷量の少ないページを印刷すると発生します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 正の反り返り：プリンタのコントロールパネルで、厚手の用紙タイプを選択します。厚手の用紙タイプでは、印刷時に温度が上がります。 負の反り返り：プリンタのコントロールパネルで、薄い用紙タイプを選択します。薄い用紙タイプでは、印刷時に温度が下がります。事前に用紙を乾燥した環境で保管するか、新たに開封した用紙を使用します。 3. 両面モードで印刷します。 4. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。
	<p>用紙が排紙トレイにきちんと積まれません。紙積みが平らにならずに傾むく、またはページがトレイから押し出されて床に落ちる場合があります。この不具合は、次のいずれかの条件が原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 極端に反り返った用紙 ● トレイの用紙のしわや変形 ● 標準ではない用紙タイプ (封筒など) ● 排紙トレイがいっぱいになっている 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 排紙ビンの延長トレイを伸ばします。 3. 極端に反り返った用紙が原因の場合、用紙の反り返りのトラブルシューティング手順を参照します。 4. 異なるタイプの用紙を使用します。 5. 新たに開封した用紙を使用してください。 6. トレイがいっぱいになる前に、排紙トレイから用紙を取り出します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-12 縦線の不具合

サンプル	説明	実行できる処置
	<p>明るい縦方向の線が、通常はページの長さ全体にわたって現れます。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。 3. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。 <p>注記: 印刷環境が仕様の温度または湿度の範囲外の場合、薄い縦線または濃い縦線の両方が現れます。許容される温度や湿度レベルについては、プリンタの環境仕様を参照してください。</p>
	<p>用紙の長さに沿って発生する濃い垂直の線。この不具合は、どのようなページでも (塗りつぶしや印刷内容のないページ) 発生する可能性があります。カラーモデルでは、これらの線または縞模様は中間転写ベルトのクリーニングページにも現れます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。 3. クリーニングページを印刷します。 4. カートリッジのトナー残量を確認します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

コピーのイメージ品質を向上させる

プリンタのコピー品質に問題がある場合、以下に示すソリューションを順番に実行して問題を解決してください。

- [スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [スキャナの校正](#)
- [用紙設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する](#)
- [最小マージンコピー](#)

まずは、以下の簡単な手順を試してください。

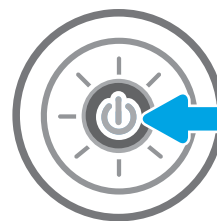
- 文書フィーダではなくフラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合、用紙ガイドを使用して原稿をフィーダに正しくセットして、不鮮明なイメージやイメージのゆがみが発生しないようにします。

問題が解決しない場合は、以下の追加のソリューションを試してください。それでも問題が解決しない場合は、さらに追加のソリューションについて、「印刷品質の改善」を参照してください。

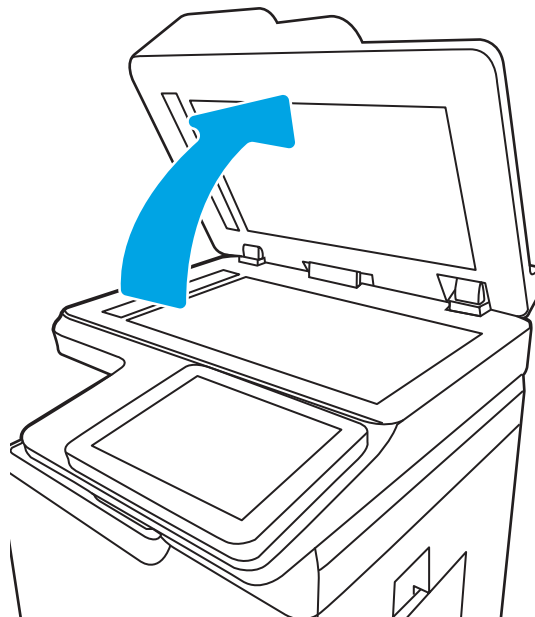
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



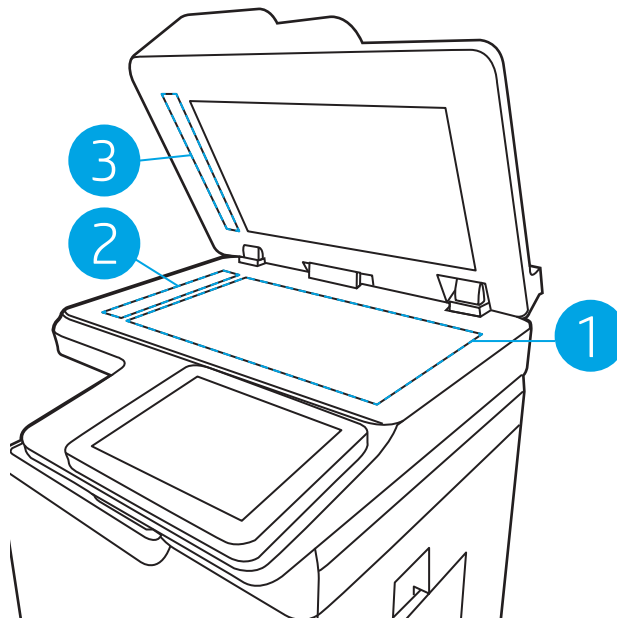
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローズ スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

スキャナの校正

イメージがページの正しい位置にコピーされない場合は、次の手順に従ってスキャナを校正します。

 **注記：** 文書フィーダを使用する場合には、給紙トレイのガイドを原稿に合わせて調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サポート ツール** アプリケーションに移動し、次に **サポート ツール** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **メンテナンス**
 - b. **校正/クリーニング**
 - c. **スキャナの校正**
3. **[スタート]** ボタンを選択して、校正処理を開始します。画面の指示に従います。
4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度コピーを試します。

用紙設定を確認する

コピーしたページに汚れがある、印刷が不鮮明または濃い、用紙が丸まる、または顔料が印刷されない箇所がある場合には、次の手順に従います。

用紙選択オプションを確認します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
2. **オプション** を選択し、**用紙の選択** までスクロールして選択します。
3. **用紙サイズ** を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
4. **用紙タイプ** を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
5. **用紙トレイ** を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
6. **完了** を選択し、用紙選択オプションを保存します。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、コピー品質を改善します。

- **シャープネス**：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - **濃度**：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - **コントラスト**：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - **背景の除去**：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - **自動トーン**：Flow プリンタのみ。**濃さ**、**コントラスト**、および **背景の除去** の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
 2. **オプション** を選択し、**イメージ調整** までスクロールして選択します。


3. スライドを調節してレベルを設定し、**完了** を選択します。
4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する

コピー中の次の画像タイプに合わせてコピー ジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
2. **オプション** を選択し、**テキスト/画像の最適化** を選択します。
3. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

最小マージンコピー

原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、この機能を使用して、コピーの端にシャドウが印刷されるのを防ぎます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** を選択します。
2. **オプション** を選択し、**Edge-To-Edge** を選択します。
3. 原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、**最小マージン出力** を選択します。
4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

スキャンのイメージ品質を向上させる

- [スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [解像度設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する](#)
- [出力品質設定を確認する](#)

まずは、以下の簡単な手順を試してください。

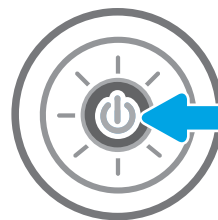
- 文書フィーダではなくフラットベッドスキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合、用紙ガイドを使用して原稿をフィーダに正しくセットして、不鮮明なイメージやイメージのゆがみが発生しないようにします。

問題が解決しない場合は、以下の追加のソリューションを試してください。それでも問題が解決しない場合は、さらに追加のソリューションについて、「印刷品質の改善」を参照してください。

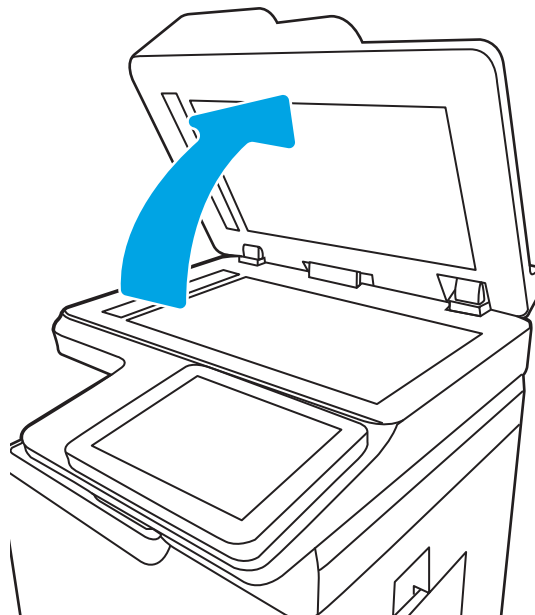
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



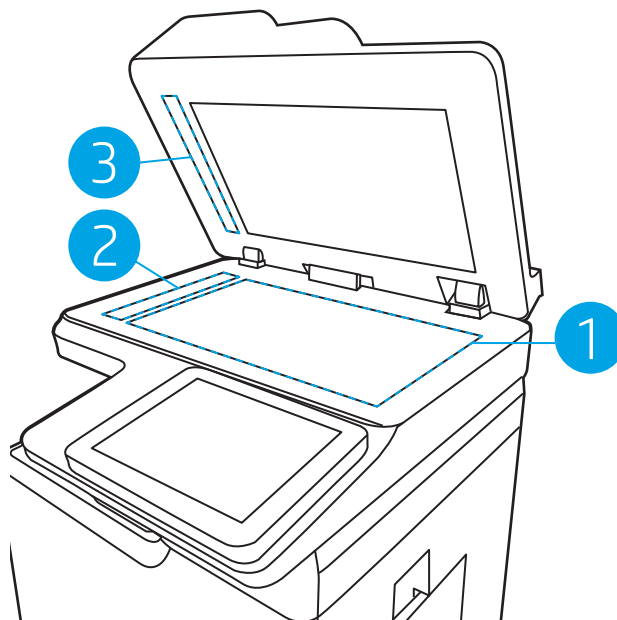
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。


注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローズ スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

解像度設定を確認する

 **注記：**解像度を高い値に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、スキャン時間が長くなります。

次の手順に従って解像度設定を調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#) を選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
 - [電子メールにスキャン](#)
 - [スキャンデータをネットワークフォルダに送信](#)
 - [スキャンしてUSBドライブに保存](#)
 - [スキャンしてSharePoint®に保存](#)
3. [オプション](#) を選択し、[ファイルのタイプと解像度](#) を選択します。
4. 事前定義済みの [解像度](#) オプションのいずれかを選択し、[完了](#) を選択します。
5. [送信](#) または [保存](#) を選択してスキャンを開始します。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、スキャン品質を改善します。

- [シャープネス](#)：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - [濃度](#)：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - [コントラスト](#)：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - [背景の除去](#)：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - [自動トーン](#)：Flow プリンタのみ。[濃さ](#)、[コントラスト](#)、および [背景の除去](#) の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#) を選択します。
 2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
 - [スキャンして電子メールで送信](#)
 - [スキャンデータをネットワークフォルダに送信](#)
 - [スキャンしてUSBドライブに保存](#)
 - [スキャンしてジョブ保存](#)
 - [スキャンしてSharePoint®に保存](#)
 3. [オプション](#) を選択し、[イメージ調整](#) を選択します。
 4. スライダを調節してレベルを設定し、[完了](#) を選択します。
 5. [送信](#) または [保存](#) を選択してスキャンを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する

スキャン中の次の画像タイプに合わせてスキャン ジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** を選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
 - **スキャンして電子メールで送信**
 - **スキャンデータをネットワーク フォルダに送信**
 - **スキャンして USB ドライブに保存**
 - **スキャンしてジョブ保存**
 - **スキャンして SharePoint® に保存**
3. **オプション** を選択し、**テキスト/画像の最適化** を選択します。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. **送信** または **保存** を選択してスキャンを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

出力品質設定を確認する

この設定では、ファイル保存時の圧縮レベルを調整します。最高の品質を確保するには、最高値の設定を選択します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** を選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
 - **電子メールにスキャン**
 - **スキャンデータをネットワーク フォルダに送信**
 - **スキャンして USB ドライブに保存**
 - **スキャンして SharePoint® に保存**
3. **オプション** を選択し、**ファイルのタイプと解像度** を選択します。
4. 事前定義済みの **品質およびファイルサイズ** オプションのいずれかを選択し、**完了** を選択します。
5. **送信** または **保存** を選択してスキャンを開始します。

ファックスのイメージ品質を向上させる

プリンタのファックス品質に問題がある場合は、次のソリューションを記載されている順に実行して問題を解決してください。

- [スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [送信ファックスの解像度設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のファックス品質を最適化する](#)
- [エラー修正設定を確認する](#)
- [用紙の大きさに合わせる設定を確認する](#)
- [異なるファックス機に送信する](#)
- [送信側のファックス機を確認する](#)

まずは、以下の簡単な手順を試してください。

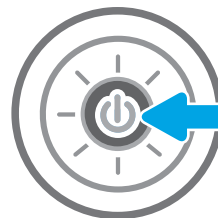
- 文書フィーダではなくフラットベッドスキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合、用紙ガイドを使用して原稿をフィーダに正しくセットして、不鮮明なイメージやイメージのゆがみが発生しないようにします。

問題が解決しない場合は、以下の追加のソリューションを試してください。それでも問題が解決しない場合は、さらに追加のソリューションについて、「印刷品質の改善」を参照してください。

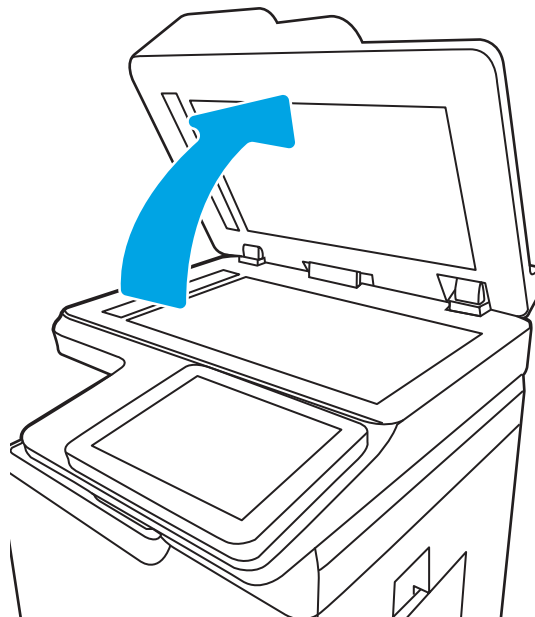
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



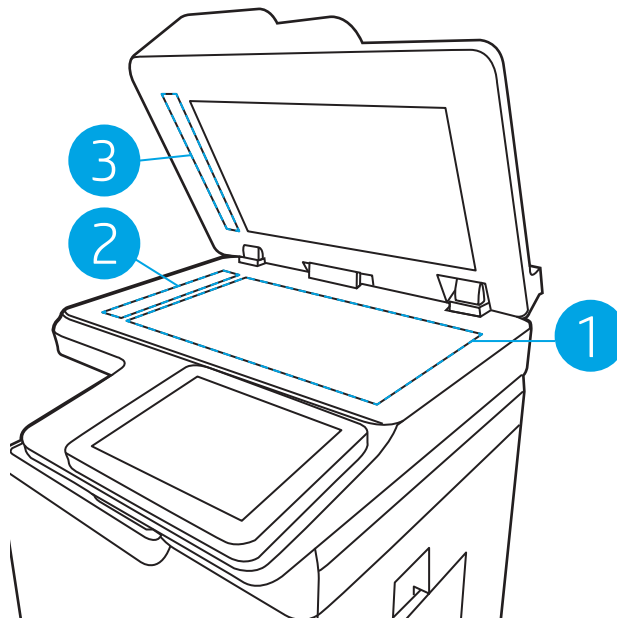
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローススポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

送信ファックスの解像度設定を確認する

次の手順に従って送信ファックスの解像度を調整します。

 **注記：**解像度を上げると、ファックスのサイズが大きくなり、送信時間が長くなります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** を選択します。
2. **オプション** を選択します。
3. [オプション] ペインで、**解像度** までスクロールして選択します。
4. 事前定義オプションの1つを選択してから、**送信** を選択してファックスを送信します。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、送信ファックスの品質を改善します。

- **シャープネス**：イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
- **濃度**：スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
- **コントラスト**：ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
- **背景の除去**：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
- **自動トーン**：Flow プリンタのみ。**濃さ**、**コントラスト**、および **背景の除去** の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** を選択します。
2. **オプション** を選択します。
3. [オプション] ペインで、**イメージ調整** までスクロールして選択します。
4. スライダを調節してレベルを設定し、**完了** を選択します。
5. **送信** を選択するとファックスが送信されます。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のファックス品質を最適化する

スキャン中の次の画像タイプに合わせてファックスジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** を選択します。
2. **オプション** を選択します。
3. [オプション] ペインで、**テキスト/画像の最適化** までスクロールして選択します。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. **送信** を選択するとファックスが送信されます。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

エラー修正設定を確認する

[エラー修正モード]設定が無効になっている可能性があり、それが原因で印刷品質が低下している可能性があります。この設定を再度有効にするには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **ファクス**
 - b. **ファックス送信設定**
 - c. **全般的なファックス送信設定**
3. **エラー修正モード** オプションを選択します。**[完了]** ボタンを選択します。

用紙の大きさに合わせる設定を確認する

用紙の大きさに合わせる設定が有効になっており、受信したファックスがデフォルト ページサイズよりも大きい場合は、イメージがページに収まるように縮小されます。この設定が無効になっていると、サイズの大きいイメージが複数のページに分割されます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. **ファクス**
 - b. **ファックス受信設定**
 - c. **デフォルト ジョブ オプション**
 - d. **用紙の大きさに合わせる**
3. 設定を有効にするには、**オン** オプションを選択し、無効にするには、**オフ** オプションを選択します。

異なるファックス機に送信する

異なるファックス機にファックス送信を試行します。ファックス品質が良好な場合、問題は最初の受信者のファックス機の設定またはサプライ品の状態に関係しています。

送信側のファックス機を確認する

送信側に別のファックス機から送信するように依頼します。ファックス品質が向上する場合は、送信側のファックス機に問題があります。別のファックス機を使用できない場合は、送信側に次の変更を検討するよう依頼します。


- 原稿を白地 (色付きでなく) にする。
- ファックスの解像度、品質レベル、またはコントラストの設定を高くする。
- 可能な場合には、コンピュータのソフトウェア プログラムからファックスを送信する。

有線ネットワークに関する問題の解決

はじめに


問題の特定のタイプにより、ネットワーク通信に問題があることが示されます。これらの問題には、次のような問題が含まれます。

- プリンタとの通信機能の断続的な喪失
- ドライバのインストール時にプリンタを検出できない
- 断続的な印刷エラー

 **注記：**断続的にネットワークの接続性が失われる場合、まずプリンタのファームウェアをアップデートします。プリンタのファームウェアのアップデート手順については、<http://support.hp.com> にアクセスし、お使いのプリンタを検索して、[ファームウェアのアップデート]を検索してください。

次の項目を確認し、プリンタがネットワークと通信しているかどうかを確認します。ネットワーク接続を確認する前に、プリンタのコントロールパネルから設定ページを印刷し、このページに印刷されるこのプリンタのIPアドレスを確認します。

- [物理接続が不適切である](#)
- [コンピュータ側で、誤ったIPアドレスを使用している](#)
- [コンピュータがプリンタと通信できない](#)
- [プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある](#)
- [新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある](#)
- [コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある](#)
- [プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある](#)

 **注記：**HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティングシステムの機能であり、HP プリント ドライバの機能ではありません。詳細については、Microsoft Web サイト (www.microsoft.com) にアクセスしてください。

物理接続が不適切である

1. プリンタが適切な長さのケーブルで適切なネットワーク ポートに接続されているかどうかを確認します。
2. ケーブルが確実に接続されているかどうかを確認します。
3. プリンタ背面のネットワーク ポート接続を見て、黄色の動作ランプが点滅してネットワークトラフィックを示し、緑のリンク ステータスランプが点灯してネットワークリンクを示していることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、別のケーブルを試すか、または、ハブの別のポートに接続してみます。

コンピュータ側で、誤ったIPアドレスを使用している

1. プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスを開き、**[ポート]** タブをクリックします。このプリンタの現在の IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。プリンタの IP アドレスは設定 ページに記載されています。
2. HP 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合は、**[IP アドレスが変更された場合でも常にこのプリンタに印刷する]** と示されているボックスを選択します。
3. Microsoft 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、IP アドレスではなくホスト名を使用します。
4. IP アドレスが正しい場合は、プリンタをいったん削除し、再度追加します。

コンピュータがプリンタと通信できない

1. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。
 - a. コンピューターでコマンドライン プロンプトを開きます。
 - Windows の場合は、**[スタート]** メニューの **[ファイル名を指定して実行]** をクリックし、「cmd」と入力し、**Enter** キーを押します。
 - macOS の場合は、**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順に進んで、**[ターミナル]** を開きます。
 - b. ping と入力し、その後にプリンタの IP アドレスを入力して、実行します。
 - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼動しています。
2. ping コマンドが失敗した場合は、ネットワーク ハブの電源が入っているかどうかを確認してから、プリンタとコンピュータが同じネットワーク (サブネットとも呼ばれています) に対して設定されているかどうかを確認します。
3. プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスを開き、**[ポート]** タブをクリックします。このプリンタの現在の IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。プリンタの IP アドレスは設定 ページに記載されています。
4. HP 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合は、**[IP アドレスが変更された場合でも常にこのプリンタに印刷する]** と示されているボックスを選択します。
5. Microsoft 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、IP アドレスではなくプリンタのホスト名を使用します。
6. IP アドレスが正しい場合は、プリンタをいったん削除し、再度追加します。

プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある

HP では、これらの設定を自動モード (デフォルト設定) のままにすることをお勧めしています。これらの設定を変更した場合、ネットワーク側でも変更する必要があります。

新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある

新規に導入したすべてのソフトウェアプログラムが正しくインストールされているかどうか、およびそれらのソフトウェアプログラムで正しいプリントドライバが使用されているかどうかを確認します。

コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある

1. ネットワークドライバ、プリントドライバ、およびネットワークのリダイレクト設定を確認します。
2. OSが正しく設定されているかどうかを確認します。

プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある


1. プリンタの設定/ネットワークのページを確認して、ネットワーク設定とプロトコルのステータスを確認します。
2. 必要があれば、ネットワーク設定をやり直します。


ワイヤレスネットワークに関する問題の解決

- [はじめに](#)
- [ワイヤレス接続チェックリスト](#)
- [ワイヤレス設定が完了しても印刷されない](#)
- [印刷されない\(コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールされている場合\)](#)
- [ワイヤレスルーターまたはプリンタの移動後、ワイヤレス接続が上手くいかない](#)
- [ワイヤレスプリンタにコンピュータを追加接続できない](#)
- [VPN に接続すると、ワイヤレス製品の通信が切断される](#)
- [対象のネットワークが、ワイヤレスネットワークリストに表示されていない](#)
- [ワイヤレスネットワークが機能していない](#)
- [ワイヤレスネットワークの干渉の軽減](#)

はじめに

問題を解決するには、トラブルシューティング情報を使用します。

 **注記:** HP NFC と Wi-Fi Direct 印刷がプリンタで有効になっているかどうかを確認するには、プリンタのコントロールパネルから設定ページを印刷します。

 **注記:** 断続的にネットワークの接続性が失われる場合、まずプリンタのファームウェアをアップデートします。プリンタのファームウェアのアップデート手順については、<http://support.hp.com> にアクセスし、お使いのプリンタを検索して、[ファームウェアのアップデート]を検索してください。

ワイヤレス接続チェックリスト

- 有線および無線接続を同時にサポートしないプリンタについては、ネットワークケーブルが接続されていないことを確認します。
 - プリンタおよびワイヤレスルーターがオンになっていて、電源が供給されていることを確認します。また、プリンタのワイヤレス通信機がオンになっていることも確認します。(ネットワークのワイヤレスインジケータは、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されている場合には点灯し、ワイヤレスネットワークの検索中には点滅します。)
 - SSID (Service Set Identifier) が正しいことを確認します。
 - ネットワークにワイヤレス接続している場合、モバイルデバイスが、適切なルータ/アクセスポイントに接続されていることを確認します。
 - Wi-fi Direct 接続の場合に、プリンタの SSID を確認するには、設定ページを印刷します。
- SSID が正しいかどうか不明な場合は、ワイヤレスセットアップをもう一度実行する。
- セキュリティで保護されたネットワークについて、セキュリティ情報が正しいことを確認する。セキュリティ情報が正しくない場合は、ワイヤレスセットアップをもう一度実行する。

- ワイヤレス ネットワークが正しく動作している場合は、同じワイヤレス ネットワークの他のコンピュータにアクセスしてみる。ネットワークがインターネットに接続されている場合は、ワイヤレス接続経由でインターネットに接続してみる。
- プリンタの暗号化方法 (AES または TKIP) が、WPA セキュリティを使用しているネットワーク上のワイヤレス アクセス ポイントと同じであることを確認する。
- プリンタがワイヤレス ネットワークの範囲内にあることを確認する。大半のネットワークでは、ワイヤレス アクセス ポイント (ワイヤレス ルーター) の 30m 以内にプリンタを設置する必要があります。
- 障害物がワイヤレス信号を妨害していないことを確認する。アクセス ポイントとプリンタの間にある大きな金属製物体をすべて取り除きます。金属やコンクリートを含む柱や壁、支柱により、プリンタとワイヤレス アクセス ポイントが隔てられていないことを確認します。
- プリンタが、ワイヤレス信号に干渉する可能性のある電子装置から離れたところにあることを確認する。モーター、コードレスフォン、監視カメラ、ワイヤレス ネットワーク、一部の Bluetooth デバイスなどがワイヤレス信号に干渉する可能性があります。
- コンピュータにプリント ドライバがインストールされていることを確認する。
- 正しいプリンタ ポートが選択されていることを確認する。
- コンピュータとプリンタが同じワイヤレス ネットワークに接続されていることを確認する。
- お使いの環境に複数のワイヤレス信号が存在し、2.4GHz および 5GHz 帯の両方でデュアルバンド ネットワークをサポートするプリンタが必要な場合は、HP Jetdirect 2900nw プリント サーバのアクセサリを取り付けます。
- macOS の場合は、ワイヤレス ルーターで Bonjour がサポートされていることを確認します。

ワイヤレス設定が完了しても印刷されない

1. プリンタの電源が入っていて準備完了状態になっていることを確認します。
2. コンピュータでサードパーティのファイアウォールをすべてオフにします。
3. ワイヤレス ネットワークが正しく動作していることを確認します。
4. コンピュータが正常に動作していることを確認します。必要に応じて、コンピュータを再起動します。
5. ネットワーク上にあるコンピュータから、プリンタの HP 内蔵 Web サーバが開けることを確認します。

印刷されない(コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールされている場合)

1. 製造元から最新の更新プログラムを入手し、ファイアウォールを更新します。
2. プリンタをインストールまたは印刷しようとしたときにプログラムからファイアウォールへのアクセスが要求された場合は、必ずプログラムに実行を許可してください。
3. 一時的にファイアウォールをオフにし、コンピュータにワイヤレス プリンタをインストールします。ワイヤレス インストールが完了したら、ファイアウォールを有効にします。

ワイヤレスルーターまたはプリンタの移動後、ワイヤレス接続が上手くいかない

1. ルーターまたはプリンタが、コンピュータと同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. 設定ページを印刷します。
3. 設定ページの SSID (Service Set Identifier) を、コンピュータのプリンタ設定の SSID と比較します。
4. 数値が異なる場合、これらのデバイスは同じネットワークに接続されていません。プリンタのワイヤレスセットアップを再設定してください。

ワイヤレスプリンタにコンピュータを追加接続できない

1. 他のコンピューターがワイヤレス範囲内にあり、信号をさえぎる障害物がないことを確認してください。大半のネットワークでは、ワイヤレス範囲はワイヤレスアクセスポイントから 30m の範囲です。
2. プリンタの電源が入っていて準備完了状態になっていることを確認します。
3. 1 度に 5 人を超えるワイヤレスダイレクト印刷ユーザーが接続していないか確認します。
4. コンピューターでサードパーティのファイアウォールをすべてオフにします。
5. ワイヤレスネットワークが正しく動作していることを確認します。
6. コンピューターが正常に動作していることを確認します。必要に応じて、コンピュータを再起動します。

VPN に接続すると、ワイヤレス製品の通信が切断される

- 通常、VPN とその他のネットワークに同時に接続することはできません。

対象のネットワークが、ワイヤレスネットワークリストに表示されていない

- ワイヤレスルーターがオンになっていて、電源が供給されていることを確認してください。
- ネットワークが非表示になっている可能性があります。ただし、非表示のネットワークでも接続は可能です。モバイルデバイスで検出された使用可能なネットワークの SSID を確認することにより、ルーター/アクセスポイントが SSID を通知していることを確認します。

ワイヤレスネットワークが機能していない

1. ワイヤード/ワイヤレス接続を同時にサポートしないプリンタの場合は、ネットワークケーブルが接続されていないことを確認します。
2. ネットワークの通信が切断されているかどうかを確認するには、他のデバイスをネットワークに接続してみます。
3. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。
 - a. コンピューターでコマンドラインプロンプトを開きます。

- Windows の場合は、[スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
 - macOS の場合は、[アプリケーション]、[ユーティリティ]の順に進んで、[ターミナル]を開きます。
- b. 「ping」の後にルーターのIPアドレスを入力します。
 - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼動しています。
4. ルーターまたはプリンタが、コンピュータと同じネットワークに接続されていることを確認します。
- a. 設定ページを印刷します。
 - b. 設定レポートのSSID (Service Set Identifier) を、コンピュータのプリンタ設定のSSIDと比較します。
 - c. 数値が異なる場合、これらのデバイスは同じネットワークに接続されていません。プリンタのワイヤレスセットアップを再設定してください。

ワイヤレスネットワークの干渉の軽減

次のヒントを実践することで、ワイヤレスネットワークの干渉は軽減できます。


- ワイヤレスデバイスを、ファイルキャビネットなど、金属製の大きな物体、あるいは、電子レンジやコードレス電話など、その他の電子機器から遠ざけます。こうした機器は、無線信号を混乱させる可能性があります。
- ワイヤレスデバイスを、石造りの大きな構造物やその他の建造物から遠ざけます。こうした建造物は、無線電波を吸収したり、信号の強度を減衰させたりする可能性があります。
- ワイヤレスルーターは、ネットワーク上のワイヤレスプリンタとの遮るもののない通信路の中央に配置します。

ファックスに関する問題を解決する


- [ファックスの問題を解決するためのチェックリスト](#)
- [一般的なファックスの問題](#)

ファックスの問題を解決するためのチェックリスト

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。

- **ファックスアクセサリに付属のファックスケーブルを使用していますか？** このファックスアクセサリは、付属のファックスケーブルを使用して RJ11 仕様および機能仕様への準拠がテストされています。その他のファックスケーブルは使用しないでください。アナログファックスアクセサリにはアナログのファックスケーブルが必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
 - **ファックス/電話線コネクタがファックスアクセサリの差し込み口に接続されていますか？** 電話ジャックが差し込み口にしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタをカチッと音がするまで差し込み口に挿入します。
-
-  **注記：** フォンジャックがネットワークポートではなくファックスポートに接続されていることを確認してください。これらのポートは類似しています。
-
- **壁の電話ジャックは正常に機能していますか？** 壁のジャックに電話を接続して、ダイアルトーンが聞こえることを確認してください。ダイアルトーンが聞こえて、電話をかけたり受けたりできますか？

どのような種類の電話回線を使用していますか？

- **専用回線：** ファックスの送受信に標準的なファックス/電話回線が割り当てられています。
-
-  **注記：** 電話回線はプリンタファックス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けます。
-
- **PBX システム：** ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファックスアクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部の PBX システムはデジタルであるため、ファックスアクセサリと互換性がない場合があります。ファックス機をデジタル PBX システムに接続するには、インタフェースのアナログ電話アダプタ (ATA) が必要になる場合があります。
 - **ロールオーバー回線：** 最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にプリンタを接続してください。ファックスアクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファックスアクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を通る電流からファックスアクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファックス通信に問題が発生する場合があります。ファックスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにプリンタを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージサービスの呼び出し回数設定がファックスアクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージサービスが呼び出しに回答するため、ファックスアクセサリでファックスを受信できません。ファックスアクセサリの呼び出し回数設定がメッセージサービスの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、ファックスアクセサリですべての呼び出しに回答します。

電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックスコールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。

ファックスアクセサリのステータスの確認

アナログファックスアクセサリが機能していないと思われる場合は、[設定ページ](#) レポートを印刷してステータスを確認します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[レポート](#) アプリケーションに移動し、次に [レポート](#) アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - a. [設定/ステータスページ](#)
 - b. [設定ページ](#)
3. [印刷](#) ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、[表示](#) ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

 **注記：** プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、[Jetdirect](#) ページに記載されています。

設定ページのファックスアクセサリ ページで、[ハードウェア情報] という見出しの下にある [モデムステータス] を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。


 **注記：** ファックスアクセサリ ページが印刷されない場合は、アナログファックスアクセサリに問題がある可能性があります。LAN ファックスまたはインターネットファックスを使用している場合には、それらの設定によって機能が無効になっている可能性があります。

表 9-13 ファックスアクセサリ ステータスソリューション

ステータス	定義/解決方法
動作中/使用可能 ¹	アナログファックスアクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。

表 9-13 ファックス アクセサリ ステータス ソリューション (続き)

ステータス	定義/解決方法
動作中/使用不可 ¹	<p>ファックス アクセサリは取り付けられていますが、必要なファックス設定がまだ指定されていません。</p> <p>ファックス アクセサリが取り付けられており、動作していますが、HP Digital Sending コーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックス機能は無効になります。LAN ファックスとアナログ ファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。</p> <p>注記: LAN ファックスが有効になっていると、プリンタのコントロールパネルの ファックスをスキャン 機能を利用できません。</p>
停止中/使用可能/使用不可 ¹	<p>ファームウェアの障害が検出されました。ファームウェアをアップグレードします。</p>
破損/使用可能/使用不可 ¹	<p>ファックス アクセサリでエラーが発生しました。ファックス アクセサリ カードを再度取り付けて、ピンが曲がっていないか確認します。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログ ファックス アクセサリ カードを交換してください。</p>

¹ 「使用可能」は、アナログ ファックス アクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LAN ファックスが使用可能であることを示します (アナログ ファックスはオフ)。

一般的なファックスの問題

ファックスに関する一般的な問題の一部を以下に示します。

ファックスを送信できない

JBIG が有効になっていますが、受信ファックス機に JBIG 機能がありません。

[JBIG] 設定をオフにします。

プリンタのコントロールパネルに[メモリ不足です]というステータスメッセージが表示される

プリンタのストレージディスクが満杯になっています。

ディスクから保存ジョブをいくつか削除します。プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**デバイスメモリから取得** ボタンをタッチします。保存ジョブまたは保存ファックスのリストを開きます。削除するジョブを選択し、**削除** ボタンをタッチします。

写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される

間違ったページコンテンツ設定または解像度設定を使用しています。

テキスト/画像の最適化 オプションを **フォト** に設定して試してください。

停止ボタンをタッチしてファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された

送信プロセスのジョブが長すぎると、ジョブをキャンセルできません。

これは正常な動作です。

ファックスアドレス帳ボタンが表示されない

選択した連絡先リスト内のどの連絡先にも、ファックス情報が関連付けられていません。

HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない

HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウン メニューにあります。

ドロップダウン メニューから **[デジタル送信とファックス]** を選択します。

オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される

すべての転送されるファックスのページ上部にオーバーレイヘッダが付加されます。

これは正常な動作です。

受信者ボックスに名前と番号が混在している

ソース データに応じて、名前と数字の両方が表示される場合があります。ファックスアドレス帳は名前を示し、他のすべてのデータベースは数字を示します。

これは正常な動作です。

1 ページのファックスが2 ページにわたって印刷される

ファックスヘッダがファックスの上部に付加されると、テキストが2 ページ目に押し出されます。

1 ページのファックスを1 ページに印刷するには、オーバーレイ ヘッダをオーバーレイ モードに設定するか、用紙の大きさに合わせる設定を調整します。

ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる

文書フィーダで紙詰まりしています。

詰まった紙を取り除いてから、もう一度ファックスします。

ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる

音量設定を調整する必要があります。

[ファックスの送信設定](#) メニューおよび [ファックスの受信設定](#) メニューで音量を調整します。

索引

記号/数字

- 1 枚の用紙に印刷するページ数
 - 選択 (Windows の場合) 52
- 1 枚の用紙に複数ページ印刷 (Windows の場合) 52
- 1 枚の用紙に印刷するページ数
 - 選択 (Mac の場合) 55
- 1 枚の用紙に複数ページ印刷 (Mac の場合) 55
- 550 枚給紙トレイ
 - 製品番号 36
- 550 枚トレイ
 - 詰まり 190

A

- AirPrint 63
- Android デバイス
 - 印刷元 63

B

- Bonjour
 - 識別 145

E

- Ethernet (RJ-45)
 - 位置 6
- Explorer、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 144

H

- HP ePrint 62
- HP JetAdvantage ビジネスソリューション 131
- HP Web Jetadmin 163
- HP Web サービス
 - 有効化 151
- HP カスタマ ケア 167

- HP 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - 機能 144
- HP 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - ネットワーク接続 145
- HP 内蔵 Web サーバ
 - HP Web サービス 151
 - 印刷設定 147
 - コピー設定 147
 - サプライ品の設定 150
 - 情報ページ 146
 - スキャン設定 148
 - セキュリティ設定 151
 - 全般的な設定 146
 - [その他のリンク] リスト 154
 - デジタル送信設定 148
 - トラブルシューティング用ツール 150
 - ネットワーク設定 152
 - ネットワーク設定の変更 155
 - 開く 155
 - ファックス設定 149
 - プリンタ名の変更 155

I

- Internet Explorer、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 144
- IPsec 160
- IPv4 アドレス 156
- IPv6 アドレス 156
- IP セキュリティ 160

J

- Jetadmin、HP Web 163
- JetAdvantage 131

L

- LAN ポート
 - 位置 6

M

- Mac ドライバ設定
 - ジョブ保存 58

N

- ニア フィールド通信印刷 61
- Netscape Navigator、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 144
- NFC アクセサリ
 - 製品番号 36
- NFC 印刷 61

O

- OHP フィルム
 - 印刷 (Windows) 52
- OS (オペレーティング システム)
 - 対応 10

R

- RJ-45 ポート
 - 位置 6

T

- TCP/IP
 - IPv4 パラメータの手動設定 156
 - IPv6 パラメータの手動設定 156

U

- USB ドライブ
 - 送信先 126

USB ストレージアクセサリ
印刷元 64

USB ポート
位置 6
有効化 64, 66

USB ポート、オプション
製品番号 36

W

Web サイト
HP Web Jetadmin、ダウンロード 163

Web サイト
カスタマサポート 167

Web ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバ 144

Wi-Fi Direct 印刷 15

Wi-Fi Direct 印刷 61

あ

アクセサリ
製品番号 36
注文 36

い

印刷ジョブの保存 57

印刷設定
HP 内蔵 Web サーバ 147

印刷、両面
Windows 51

両面印刷
手差し、Windows 51

印刷
USB ストレージアクセサリから 64

保存ジョブ 59
インタフェースポート
位置 6

イージー アクセス USB 印刷 64

え

エネルギー使用、最適化 161

お

オペレーティングシステム、対応 13

オン/オフ ボタン
位置 4

オンラインサポート 167

オンラインヘルプ、コントロール
パネル 168

か

解像度
コピーとスキャン 10

稼動音仕様 18

カスタマサポート
オンライン 167

イメージ品質
トナーカートリッジステータスの確認 203

紙詰まり
550 枚トレイ 190
自動ナビゲーション 180

トレイ 1 183

トレイ 2 185

排紙ビン 199

場所 179

フューザ 194

文書フィーダ 180

右のドア 194

ガラス、クリーニング 217, 221, 225

カラー
校正 207

カートリッジ
交換 40
注文番号 40

き

技術サポート
オンライン 167

給紙トレイ
製品番号 36

給紙の問題 238

キーパッド
位置 4

く

クリーニング
ガラス 217, 221, 225
用紙経路 204

け

ゲートウェイ、デフォルトの設定 156

こ

交換部品
製品番号 38

交換
ステイプル 47
トナー回収ユニット 44
トナーカートリッジ 40

校正

カラー 207
スキャナ 218

高速 USB 2.0 ポート USB ポート
位置 6

[コピー開始] ボタン
位置 6

コピー

解像度 10
単一コピー 68
テキストまたは画像の最適化 220
複数コピー 68
両面 70

コピー設定
HP 内蔵 Web サーバ 147

コントロールパネル
位置 4
機能の位置 6
ヘルプ 168

さ

最小マージン コピー 220

最小マージン 220

最適化、コピー結果 220

サインアウト ボタン
位置 6

サインイン ボタン
位置 6

削除

保存ジョブ 59

サブネットマスク 156

サブライ品

残量わずかのしきい値に達した
ときの設定 170

残量わずかのしきい値に達して
も使用する 170

ステイプルの交換 47

製品番号 38
注文 36

- トナー回収ユニットの交換 44
- トナーカートリッジの交換 40
- サポート
 - オンライン 167
- サプライ品の設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 150
- し**
- システム要件
 - HP 内蔵 Web サーバ 144
 - 最小 15
- 仕様
 - 電気および稼働音 18
- 重量、プリンタ 16
- 出荷時の設定に戻す 169
- 情報ページ
 - HP 内蔵 Web サーバ 146
- ジョブ保存
 - Windows の場合 57
- ジョブ、保存
 - 印刷 59
 - 削除 59
 - 作成 (Windows の場合) 57
- ジョブ、保存
 - Mac 設定 58
- シリアル番号
 - 位置 5
- す**
- スキャナ
 - 校正 218
- スキャナ
 - ガラスのクリーニング 217, 221, 225
- スキャンした画像の最適化 224
- スキャンして USB ドライブに保存 126
 - 有効化 111
- スキャンして USB に保存 126
- スキャンして電子メール送信
 - 文書を送信 115
- スキャンしてフォルダに保存 121
- スキャン
 - 解像度 10
- スキャン
 - テキストまたは画像の最適化 224
- スキャン設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 148
- スキャンデータをネットワークフォルダに送信 121
 - 初期セットアップ 94
- スキャンをプリンタのフォルダに保存 118
- スキャンをプリンタのメモリに保存 118
- スタンド
 - 製品番号 36
- ステイプラ
 - 紙詰まりの解消 200
 - 使用 33
 - トラブルシューティング 33, 200
- ステイプル
 - 交換 47
- ステータス、ファックス アクセサリ ページ 237
- スリープモード 161
- 寸法、プリンタ 16
- せ**
- 製品番号
 - アクセサリ 36
 - 位置 5
 - 交換部品 38
 - サプライ品 38
 - トナーカートリッジ 38
- セキュリティ
 - 暗号化されたハードディスク 160
- セキュリティ設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 151
- 設定
 - 出荷時に戻す 169
 - ファックス 135
- セット
 - トレイ 1 の用紙 22
 - トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙 26
- 一般的な設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 146
- そ**
- 速度、最適化 161
- [その他のリンク] リスト
 - HP 内蔵 Web サーバ 154
- た**
- オペレーティング システム (OS)
 - 対応 10
- 代替レターヘッドモード 25, 29
- タッチスクリーン
 - 機能の位置 6
- ち**
- チェックリスト
 - ワイヤレス接続 232
- 注文
 - サプライ品とアクセサリ 36
- つ**
- 詰まり
 - 550 枚トレイ 190
 - 場所 179
 - 右のドア 194
- 紙詰まり
 - 原因 180
 - トレイ 1 183
 - トレイ 2 185
 - 排紙ビン 199
 - フューザ 194
- て**
- 手差し両面印刷
 - Windows 51
- デジタル送信設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 148
- 電気仕様 18
- デジタル送信
 - USB 126
 - フォルダ 121
 - プリンタのメモリ 118
 - 送信、文書 115
- デフォルト ゲートウェイ、設定 156
- 電源スイッチ
 - 位置 4
- 電源接続
 - 位置 5
- 電力
 - 消費 18
- 電子メールへの送信
 - 文書を送信 115
- 電力の使用
 - 1W 以下 161

- と
 - 特殊用紙
 - 印刷 (Windows) 52
 - トナー回収ユニット
 - 位置 5
 - 交換 44
 - トナーカートリッジ
 - 交換 40
 - コンポーネント 40
 - 残量わずかのしきい値に達したときの設定 170
 - 残量わずかのしきい値に達しても使用する 170
 - 製品番号 38
 - 注文番号 40
 - ドライバ、対応 13
 - トラブルシューティング
 - 給紙に関する問題 172
 - 紙詰まり 180
 - トナーカートリッジステータスの確認 203
 - ネットワークに関する問題 229
 - 有線ネットワーク 229
 - ワイヤレスネットワーク 232
 - トラブルシューティング用ツール
 - HP 内蔵 Web サーバ 150
 - トレイ 1
 - 紙詰まり 183
 - 封筒のセット 30
 - 用紙の向き 23, 24
 - トレイ 2 および 550 枚トレイ
 - セット 26
 - 用紙の向き 28
 - トレイ 2
 - 紙詰まり 185
 - トレイ
 - 位置 4
 - 収容枚数 10
 - 付属 10
- な
 - 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - 機能 144
 - パスワードの割り当て 159
 - 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - ネットワーク接続 145
 - 内蔵 Web サーバ
 - ネットワーク設定の変更 155
- 開く 155
 - プリンタ名の変更 155
- ね
 - ネットワーク
 - HP Web Jetadmin 163
 - ネットワーク設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 152
 - ネットワーク二重通信設定、変更 157
 - ネットワーク
 - IPv4 アドレス 156
 - IPv6 アドレス 156
 - サブネットマスク 156
 - 設定、表示 155
 - 設定、変更 155
 - 対応 10
 - デフォルトゲートウェイ 156
 - プリンタ名、変更 155
 - ネットワークの管理 155
 - ネットワークフォルダ、保存先 121
 - ネットワークリンク速度、変更 157
- は
 - 排紙ピン
 - 位置 4
 - 紙詰まりの解消 199
 - ハードディスク
 - 暗号化 160
 - ハードドライブ
 - 製品番号 36
- ひ
 - 必須設定
 - ファックス 134
 - ピン、排紙
 - 位置 4
- ふ
 - ファックスイメージの最適化 227
 - ファックス設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 149
 - 必須 134
 - ファックス
 - 設定 135
- セットアップ 134
 - 必須設定 134
- ファックス
 - 給紙の問題 238
 - テキストまたは画像の最適化 227
- ファックスポート
 - 位置 6
- 封筒、セット 30
- 封筒
 - トレイ 1 にセット 22
- フォルダ
 - 送信先 121
- フォーマッタ
 - 位置 5
- 部数、変更 68
- フューザ
 - 紙詰まり 194
- プライベート印刷 57
- ブラウザ要件
 - HP 内蔵 Web サーバ 144
- プリンタのメモリに保存 118
- プリンタのメモリ
 - 保存先 118
- プリンタのメモリ、保存先 118
- プリンタドライバ、対応 13
- 文書フィーダ
 - 紙詰まり 180
 - 給紙の問題 178
 - 容量 10
- へ
 - ヘルプ、コントロールパネル 168
 - ヘルプボタン
 - 位置 6
 - ページ数/分 10
- ほ
 - 保存ジョブ
 - 印刷 59
 - 削除 59
 - 作成 (Windows の場合) 57
 - ポート
 - 位置 6
 - ホームボタン
 - 位置 6

ま

マージン、最小
コピー 220

み

右のドア
詰まり 194

め

メモリチップ(トナー)
位置 40
メモリ
付属 10

も

モバイル印刷ソリューション 10
モバイル印刷
Android デバイス 63
モバイル印刷、対応ソフトウェア 15

よ

用紙タイプ
選択 (Windows) 52
用紙のピックアップに関する問題
解決 172, 174
用紙、注文 36
用紙
選択 205
紙詰まり 180
トレイ 1 の向き 23, 24
トレイ 1 への用紙のセット 22
トレイ 2 および 550 枚トレイの
セット 26
トレイ 2 および 550 枚トレイの
向き 28

ら

ラベル
印刷 (Windows) 52
印刷用紙 31

り

両面印刷
Windows 51
手動 (Windows) 51
設定 (Windows の場合) 51
両面に印刷する
設定 (Windows の場合) 51

ろ

ローカルエリア ネットワーク
(LAN)
位置 6
フォーマッタ
ロック 160

わ

ワイヤレス ネットワークの干渉
235
ワイヤレス ネットワーク
トラブルシューティング 232
ワイヤレス プリント サーバ
製品番号 36

ん

印刷、両面
Mac 54
印刷、両面
Mac 54
手差し両面印刷
Mac 54
保存ジョブ
作成 (Mac) 58
保存、ジョブ
Mac 設定 58
用紙タイプ
選択 (Mac) 55
両面印刷
Mac 54
両面印刷
Mac 54
手動 (Mac) 54

